

岡崎消防

令和6年 消防年報



令和7年 刊行

岡崎 市 消 防 本 部

はじめに

この年報は、岡崎市の消防の現況と令和6年及び令和6年度中における火災予防消防活動のあらましをまとめたもので、これを比較検討し将来における消防行政の参考資料に供する目的をもって編集しました。

令和7年7月

岡崎市消防長

稲垣 和人





岡崎市消防本部

～ 一目統計 ～

令和7年4月1日現在

面積・人口等 自然環境	面積	人口	世帯	気象(令和5年)
	 岡崎市			
	387.20km ²	男 193,275 人 女 188,363 人 計 381,638 人	171,844 世帯	年平均気温 17.7℃ 年平均湿度 69.5% 総降水量 1548.5mm

消防予算 構成・人員	消防費予算	署所数	消防職員数	消防団員数
				
	46億3,780万円	1 本部 3 本署 2 分署 5 出張所	403人 平均年齢(36.9歳)	1,459人 平均年齢(42.7歳)

消防車両 水利	ポンプ車等	特殊車両等	救急車	消防水利
				
	化学消防ポンプ車2台 ポンプ車4台・タンク車10台 小型動力ポンプ付水槽車4台	救助工作車3台・消防二輪車3台 はしご車4台・高所活動車1台 大型水陸両用車1台・支援車1台	救急車15台	消火栓 4,040基 防火水槽 903基

災害件数 (令和6年)	火災	救急	救助	119番受付
				
	89件	出場件数 19,204件 搬送人員 17,731人	出場件数 228件 救助人員 103人	25,875件

予 防	防火対象物数 (令和6年12月末現在)	危険物施設数 (令和6年12月末現在)	消防同意数 (令和6年中)	外郭団体
				女性防災クラブ 29クラブ 499人
	13,758件	製造所 5 件 貯蔵所 378 件 取扱所 272 件 計 655 件	573件 (敷地別)	危険物保安連絡協議会 219会員
				少年消防クラブ 21中学校 11,079人 48小学校 7,095人
				幼年消防クラブ 78園 8,268人

目 次

岡崎消防の概況	-----	1 頁
岡崎消防の沿革	-----	2
岡崎市及び岡崎消防のあらまし	-----	16
消 防 庁 舎	-----	17
1 消防本部・中消防署本署	-----	17
2 中消防署北分署	-----	18
3 中消防署花園出張所	-----	18
4 東消防署本署	-----	19
5 東消防署南分署	-----	20
6 東消防署青野出張所	-----	20
7 東消防署額田出張所	-----	21
8 東消防署本宿出張所	-----	21
9 東消防署形埜出張所	-----	22
10 西消防署本署	-----	23
令和6年度消防のあゆみ	-----	24
消 防 予 算	-----	30
消 防 機 構	-----	31
事 務 分 掌	-----	32
消 防 現 勢	-----	33
1 職員現有人員	-----	33
2 職員の配置状況	-----	34
3 消防吏員の勤務年数状況	-----	35
4 消防吏員の年齢状況	-----	35

5 消防吏員の免許等資格所有状況 -----	36 頁	
消防機械配備状況 -----	37	
1 配備状況一覧表 -----	37	
2 消防本部・消防署機械配備 -----	38	
3 消防団機械配備 -----	42	
消 防 水 利 -----	50	
さく泉防火水槽 -----	51	
耐震性貯水槽 -----	51	
消防音楽隊 -----	52	
1 隊員の編成 -----	52	
2 編成 -----	53	
3 音楽隊参加行事 -----	53	
消防職員教養実施状況 -----	54	
1 一般教養 -----	54	
2 委託教養 -----	54	
令和6年度消防訓練状況 -----	55	
協定・協約等 -----	56	
1 消防相互応援協定 -----	56	
2 協定 -----	56	
3 業務協約 -----	56	
出動状況 -----	57	
<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td>予 防 業 務</td></tr></table> -----	予 防 業 務	58
予 防 業 務		
火災の実態 -----	59	

1	令和6年中の火災状況と前年との比較	59 頁
2	出火率（人口1万人あたりの出火件数）	59
3	月別出火状況	60
4	曜日・時間別出火状況	61
5	建物火災火元用途別焼損状況	62
6	原因別出火状況	63
7	最近10年間の推移	64
8	管轄区域別出火状況	65
9	最近5年間の主要火災	66
10	高速道路火災	67
	(1) 東名高速道路	67
	ア 区間別火災状況	67
	イ 月別火災状況	67
	ウ 原因別等状況	67
	(2) 新東名高速道路	68
	ア 区間別火災状況	68
	イ 月別火災状況	68
	ウ 原因別等状況	68
予	防	69
1	防火管理	69
	(1) 防火対象物の状況	69
	(2) 管轄区域別予防査察等状況	70
	(3) 防火管理者を必要とする防火対象物の状況	71
	(4) 防火管理講習等の状況	72
	(5) 消防用設備等の点検報告の状況	73
	(6) 階別防火対象物状況（3階建以上）	74
	(7) 高さ31mをこえる建築物又は11階以上の建築物	75
	(8) 火災予防条例諸届出状況	76
	(9) 消防訓練等実施状況	77
	(10) 起震車稼働状況	77
	(11) 月別消防訓練等実施状況	78
2	消防同意	79

(1) 管轄区域別建築物同意状況（敷地別）	-----	79 頁
(2) 建築物構造別同意状況（棟別）	-----	80
(3) 建築物工事別同意状況（棟別）	-----	81
3 危険物規制	-----	82
(1) 管轄区域別危険物施設状況	-----	82
(2) 危険物施設の推移	-----	83
(3) 月別危険物施設許可・検査状況	-----	84
(4) 危険物施設許可件数等の推移状況	-----	85
(5) 危険物施設等届出状況	-----	85
外 郭 団 体	-----	86
1 岡崎市危険物保安連絡協議会	-----	86
2 岡崎市女性防災クラブ連絡協議会	-----	88
3 岡崎市少年消防クラブ運営指導協議会	-----	90
4 岡崎市幼年消防クラブ運営指導協議会	-----	91
通 信	-----	92
消 防 通 信	-----	93
1 通信施設状況	-----	94
2 緊急通報覚知別月別状況	-----	97
3 119番月別受信状況	-----	98
(1) 指令台	-----	98
(2) 他都市転送	-----	99
4 緊急通報装置月別受信状況	-----	99
5 第三者緊急通報月別受信状況	-----	99
6 聴覚・言語機能障がい者用緊急通報 各通報月別受信状況	-----	100
(1) メール119・FAX119月別受信状況	-----	100
(2) Net119（令和元年10月1日運用開始）	-----	100
(3) 最近5年間の聴覚・言語障がい者用緊急通報システムの通報件数の推移	-----	100
7 最近5年間119番通報件数の推移	-----	101
(1) 固定電話	-----	101
(2) 携帯電話	-----	101
(3) IP電話	-----	101

気 象	-----	102 頁
1 月別気象状況	-----	102
2 月別降水量	-----	102
3 最近5年間の気象状況	-----	102
救急・救助	-----	103
救 急 出 場	-----	104
1 事故種別出場状況（前年との比較）	-----	104
2 管内、管外別出場状況	-----	105
3 管外出場状況	-----	105
4 事故種別不搬送理由	-----	106
5 時間帯別出場状況	-----	106
6 最近10年間における管轄区域別救急出場状況	-----	107
傷病者の搬送	-----	108
1 年齢別搬送人員	-----	108
2 収容所要時間	-----	109
3 医療機関別搬送状況	-----	109
4 傷病程度別搬送状況	-----	110
5 時間帯別搬送状況	-----	110
6 救急隊員の行った応急処置	-----	111
救 助 出 動	-----	112
1 管内、管外事故種別出動状況	-----	112
2 発生場所別出動状況	-----	113
3 発生場所別活動状況	-----	113
4 発生場所別救助人員	-----	114
5 最近10年間における出動状況	-----	114
6 時間帯別出動状況	-----	115
7 救助工作車事故種別出動件数	-----	115
高速道路救急救助出場	-----	116

1 東名高速道路 -----	116 頁	
(1) 救急出場状況（前年との比較） -----	116	
(2) 区間別救急出場状況 -----	116	
(3) 最近10年間の救急、救助出場件数 -----	117	
2 新東名高速道路 -----	118	
(1) 救急出場状況（前年との比較） -----	118	
(2) 区間別救急出場状況 -----	118	
(3) 最近5年間の救急、救助出場件数 -----	119	
救急法の講習会 -----	120	
<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="padding: 2px 10px;">消 防 団</td></tr></table> -----	消 防 団	121
消 防 団		
消 防 団 -----	122	
1 消防団現勢 -----	122	
2 消防団員階級別勤務年数調 -----	123	
3 消防団員階級別年齢調 -----	123	
消防団員報酬 -----	124	
出 動 報 酬 -----	124	
消防団員退職報償金 -----	124	
公務災害補償基礎額 -----	125	
消防団員等救慰金 -----	125	
1 障害者救慰金 -----	125	
2 負傷者等救慰金 -----	126	
3 殉職者救慰金 -----	126	
4 殉職者特別救慰金 -----	126	

岡崎消防の概況



岡崎消防の沿革

徳川末期から明治の中期まで消防組の制度が続いた。

明治32年	岡崎に1組3部112人の公設消防組を設置した。
明治39年	三島村などを合併して5部制とした。
大正3年	広幡町の合併で6部制となる。
大正5年	7月1日市制施行、岡崎市消防組 1組 6部定員 270人となる。
昭和3年	町村の合併によって3組14部定員 406人となる。 消防ポンプ自動車4台、手引ガソリンポンプ4台、腕用ポンプ13台とする。
昭和6年	岡崎消防組9部198人、南消防組3部115人、東消防組5部181人に改編した。
昭和14年	従来の組織を改組統合し、岡崎市警防団が発足する。
昭和19年	分団制を廃止し、7警防団1,260人に改める。 大東亜戦争激しく、消防も戦時体制に入る。
昭和20年	空襲により市街地の大半を焼失した。
昭和22年	警防団を廃止し、9消防団1,145人に改める。
昭和23年	消防組織法が制定され、警察機関から分離して、岡崎市消防本部、消防署を設置する。(職員18人、ポンプ自動車1台) 6月三島消防団から六名消防団が分離し、各小学校単位に消防団を置き、10消防団1,185人となる。
昭和24年	10消防団1,213人、ポンプ自動車13台、三輪ポンプ車1台、手引動力ポンプ2台、腕用ポンプ49台となった。
昭和25年	職員28人に増員する。
昭和26年	消防庁舎を新築し、機構を改めて、消防本部に3課、7係を設置、職員69人とする。救急業務を開始する。
昭和30年	隣接8か町村(福岡町、岩津町、竜谷村、藤川村、山中村、本宿村、河合村常磐村)を合併、18消防団2,795人となる。 矢作町を合併、19消防団3,038人となる。
昭和35年	機構の一部改正により消防本部に3課、7係を設け、消防署に2係を併設する。職員を75人とする。
昭和37年	六ッ美町合併によって、20消防団 2,083人、ポンプ自動車29台、三輪ポンプ車2台、小型動力ポンプ79台、積載車9台、腕用ポンプ20台となる。
昭和38年	救急自動車及び消防自動車(各1台)の特別寄贈を受ける。
昭和39年	屈折はしご付消防ポンプ自動車(1台)を購入する。
昭和40年	消防署北部出張所を開設する。
昭和41年	消防署南部出張所開設、職員96人とする。救急自動車及び広報車(各1台)の特別寄贈を受ける。

昭和42年	救急自動車、救助器具等の特別寄贈を受ける。
昭和43年	水槽付消防ポンプ自動車（1台）を購入する。 救急自動車及び救助車（各1台）の特別寄贈を受ける。
昭和44年	消防署東部出張所用地を購入する。 北部、南部出張所に赤バイ（各1台）を購入する。 山林火災用超小型ポンプを配備する。
昭和45年	常備消防は、消防本部1、消防署1、出張所2、職員121人となる。 広報車（1台）の特別寄贈を受け、救急自動車（1台）を購入する。
昭和46年	消防署東部出張所開設、職員15人を増員する。 岡崎市消防音楽隊を設置する。 32mはしご付消防ポンプ自動車（1台）を購入する。 消防ポンプ自動車及び連絡車（各2台）を購入する。 消防署東部出張所に赤バイ（1台）を購入する。
昭和47年	職員19人増員に伴い、消防本部の機構改正をする。 予防課（調査係を廃止し、危険物係、指導係を新設）消防本部3課8係とする。 消防署南部出張所に救急自動車（1台）を購入する。 広報車（1台）の特別寄贈を受ける。 連絡車（1台）を購入する。
昭和48年	消防署組織の改正に伴い、東部出張所を東分署に昇格させる。 南部、北部出張所を南出張所、北出張所と名称を改め、西出張所を開設、職員30人に増員する。 救急自動車（2台）及び広報車（1台）の特別寄贈を受ける。 消防ポンプ自動車（1台）、救急自動車（3台）及び連絡車（3台）を購入する。
昭和49年	職員30人を増員、消防署組織の一部を改正する。 本署に通信第1、第2係を設置する。 西出張所を西分署に昇格、救急自動車（1台）、ラジコン飛行機（1機）、水槽付消防ポンプ自動車（1台）及び消防ポンプ自動車（2台）を購入する。 ラジコンヘリコプター（2機）の特別寄贈を受ける。 照明車及び指揮車各（1台）を購入する。
昭和50年	4月 職員10人増員、定員210人とする。 5月 40mはしご付消防ポンプ自動車の特別寄贈を受ける。 8月 消防ポンプ自動車（1台）南出張所へ更新配備する。
昭和51年	3月 広報車（1台）の特別寄贈を受ける。 8月 アクアラング（2組）の特別寄贈を受ける。 10月 水槽付消防ポンプ自動車（1台）及び消防ポンプ自動車（1台）を購入する。
昭和52年	2月 救急自動車（1台）、防災車（1台）の特別寄贈を受ける。 7月 救助工作車（1台）の特別寄贈を受ける。

昭和52年	10月	新消防本部庁舎を（昭和52～53年度継続事業）建設する。
	11月	大型化学消防自動車（1台）及び小型動力ポンプ付大型水槽車（1台）を購入する。 岡崎市防火防犯協会連絡会を岡崎市防災防犯協会連絡会に改組する。
昭和53年	1月	耐震性貯水槽（飲料水兼用100m ³ ）が完成する。
	4月	消防団再編成により定員1,777人とする。（甲種略衣支給）
	7月	防災連絡車（1台）の特別寄贈を受ける。
	10月	新消防本部庁舎竣工、業務を開始する。
	11月	水槽付消防ポンプ自動車（1台）を購入する。
昭和54年	3月	新北出張所庁舎を建設する。 耐震性貯水槽（飲料水兼用100m ³ ）が完成する。
	4月	北出張所を分署に昇格させ、業務を開始する。 職員10人増員、定員220人とする。 本署に救急第1、第2係を設置する。 高圧ガス製造事業所（空気）を設置する。
	12月	レンジャー用舟形担架（1台）の特別寄贈を受ける。 水槽付消防ポンプ自動車（1台）を購入する。 小型動力ポンプ付大型水槽車（1台）を購入、岡崎市消防のあゆみを発刊する。
昭和55年	3月	耐震性貯水槽（飲料水兼用100m ³ ）が完成する。
	12月	防災用小型動力ポンプ（1台）を購入する。 水槽付消防ポンプ自動車（1台）を購入する。 救急自動車（1台）を購入する。
昭和56年	1月	25m級屈折（3節）はしご付消防ポンプ自動車（1台）を購入する。
	2月	耐震性貯水槽（飲料水兼用100m ³ ）が完成する。
	3月	消防署南分署竣工、業務を開始する。
	4月	職員7人増員、定員227人とする。
	6月	人員輸送車（マイクロバス 1台）の特別寄贈を受ける。
	9月	広報連絡車（2台）を購入する。 広報車（1台）を購入する。
	10月	化学消防ポンプ自動車（1台）の特別寄贈を受ける。 小型動力ポンプ（8台）を購入する。 小型動力ポンプ積載車（5台）を購入する。 消防ポンプ自動車（BS-I型 2台）を購入する。
	11月	起震車（マグマ号 1台）を購入する。
	12月	救急自動車（2B型 2台）を購入する。 消防ポンプ自動車（CD-II型ホースカー付 1台）を購入する。 化学消防ポンプ自動車（I型 1台）を購入する。 耐震性貯水槽（飲料水兼用100m ³ ）が完成する。
昭和57年	1月	消防ポンプ自動車（BS-I型 3台）を購入する。

昭和57年	3月	広報連絡車（2台）を購入する。 耐震性貯水槽（飲料水兼用100m ³ ）が完成する。
	4月	救急自動車（2B型 1台）を購入する。
	10月	小型動力ポンプ積載車（6台）を購入する。 小型動力ポンプ車台付（6台）を購入する。 岡崎市婦人自主防災クラブ連絡協議会を（5クラブ、105人）発足する。 小型動力ポンプ車台付（ラビットP205A型 5台）を婦人自主防災クラブへ特別寄贈を受ける。
	11月	広報車（2台）の特別寄贈を受ける。
	12月	消防ポンプ自動車（CD-II型ホースカー付 1台）を購入する。
昭和58年	5月	広報連絡車（1台）を購入する。
	8月	防災用小型動力ポンプ（1台）を購入する。
	10月	小型動力ポンプ付積載車（1台）を購入する。
	11月	小型動力ポンプ車台付（B-3級 5台）を購入する。 小型動力ポンプ車台付（ラビットP 205B型 5台）を購入する。 婦人自主防災クラブ結成（5クラブ）10クラブ 205人となる。 小型動力ポンプ車台付（トーハツV 10 D 5台）を婦人自主防災クラブへ特別寄贈を受ける。
	12月	小型動力ポンプ積載車（6台）を購入する。
昭和59年	2月	消防ポンプ自動車（BS-I型 1台）を購入する。
	3月	救急自動車（2B型 1台）を購入する。 電源照明車（1台）を購入する。 耐震性貯水槽（飲料水兼用100m ³ ）が完成する。
	6月	連絡車（1台）を購入する。
	8月	小型動力ポンプ積載車（7台）を購入する。
	10月	小型動力ポンプ（B-3級 5台）を購入する。 防災用小型動力ポンプ（C-1級 1台）を購入する。 小型動力ポンプ車台付（D-1級 5台）を婦人自主防災クラブへ特別寄贈を受ける。
昭和60年	1月	消防ポンプ自動車（BS-I型 1台）を購入する。
	2月	婦人自主防災クラブ結成（5クラブ）15クラブ305人となる。
	3月	救急自動車（2B型 1台）を購入する。 水槽付消防ポンプ自動車（高圧ポンプ付 1台）を購入する。 耐震性貯水槽（飲料水兼用100m ³ ）が完成する。
	9月	小型動力ポンプ（B-3級 1台）を購入する。
	11月	小型動力ポンプ積載車（22台）を購入する。
	12月	高発泡車（1台）を購入する。
昭和61年	1月	救急自動車（2B型 1台）を購入する。 連絡車（1台）を購入する。

昭和61年	2月	婦人自主防災クラブ結成（5クラブ）20クラブ405人となる。
	3月	小型動力ポンプ車台付（D-1級 10台）を婦人自主防災クラブへ特別寄贈を受ける。 消防署青野出張所の庁舎竣工。
	4月	消防署青野出張所の業務を開始する。 消防署組織規程を改正する。（消防署の構成を本署、分署、出張所とする。 救急第1、第2係を改め救助救急第1、第2係とする。） 職員5人増員、定員232人とする。
	8月	広報車（1台）の特別寄贈を受ける。 小型動力ポンプ（B-3級 2台）を購入する。
	12月	小型動力ポンプ積載車（16台）を購入する。 救急自動車（2B型 1台）を購入する。
昭和62年	2月	婦人自主防災クラブ結成（4クラブ）24クラブ485人となる。
	3月	広報車（1台）を購入する。
	5月	広報車（1台）の特別寄贈を受ける。 指揮車（1台）を購入する。
	7月	小型動力ポンプ（B-3級 4台）を購入する。
	8月	救急自動車（2B型 1台）の特別寄贈を受ける。
	12月	小型動力ポンプ積載車（5台）を購入する。
昭和63年	1月	消防ポンプ自動車（BS-I型 3台）を購入する。 消防ポンプ自動車（水I-A型 1台）を購入する。
	2月	婦人自主防災クラブ結成（6クラブ）30クラブ605人となる。
	12月	小型動力ポンプ（B-3級 4台）を購入する。 小型動力ポンプ積載車（3台）を購入する。
平成元年	3月	消防ポンプ自動車（BS-I型 3台）を購入する。 救急自動車（2B型 1台）の特別寄贈を受ける。
	8月	発動発電機（1.2kw 20台）を購入する。 広報車（1台）を購入する。 防災車（1台）を購入する。
	9月	小型動力ポンプ（B-3級 4台）を購入する。
	12月	防火広報車（1台）の特別寄贈を受ける。
平成2年	1月	30m級はしご付消防自動車（1台）を購入する。
	2月	小型動力ポンプ積載車（2台）を購入する。
	3月	消防ポンプ自動車（BS-I型 2台）を購入する。
	7月	消防広報車（1台）の特別寄贈を受ける。
	8月	消防指揮広報車（1台）の特別寄贈を受ける。
	9月	小型動力ポンプ（B-3級 4台）を購入する。 小型動力ポンプ積載車（1台）を購入する。
平成3年	1月	消防ポンプ自動車（CD-II型 1台）を購入する。

平成3年	2月	消防ポンプ自動車（BS-I型 2台）を購入する。
	5月	人員輸送車（1台）の特別寄贈を受ける。
	12月	小型動力ポンプ（B-3級 4台）を購入する。 小型動力ポンプ積載車（1台）を購入する。 消防ポンプ自動車（CD-II型 1台）を購入する。
平成4年	3月	消防広報車（1台）の特別寄贈を受ける。 救急自動車（2B型 1台）を購入する。 消防ポンプ自動車（BS-I型 2台）を購入する。 市町村波を1波増波し、2波とする。
	5月	消防広報車（1台）の特別寄贈を受ける。
	8月	救急自動車（2B型 1台）の特別寄贈を受ける。
	12月	小型動力ポンプ積載車（2台）を購入する。 小型動力ポンプ（B-3級 5台）を購入する。 広報連絡車（1台）を購入する。 救助工作車（1台）を購入する。
平成5年	2月	消防ポンプ自動車（BS-I型 2台）を購入する。
	3月	水槽付消防ポンプ自動車（I-A型 1台）を購入する。 救急自動車（高規格 1台）の特別寄贈を受ける。
	4月	職員8人を増員、定員240人とする。 女性消防吏員2人を採用する。
	8月	小型動力ポンプ（B-3級 2台）を購入する。 広報連絡車（1台）を購入する。 消防広報車（1台）を購入する。
	11月	高規格救急資器材（1台分）を購入する。 救急資器材（II課程 2台分）を購入する。
	12月	消防ポンプ自動車（CD-II型 1台）を購入する。 化学消防ポンプ自動車（II型 1台）を購入する。
平成6年	3月	消防ポンプ自動車（BS-I型 2台）を購入する。
	4月	女性消防吏員1人を採用する。 本署に救助救急司令を設ける。
	7月	小型動力ポンプ（B-2級 1台）を購入する。
	8月	広報連絡車（1台）を購入する。 救急資器材（II課程 2台分）を購入する。
	11月	小型動力ポンプ（B-3級 1台）を購入する。 はしご付消防自動車（50m級 1台）を購入する。 水槽付消防ポンプ自動車（IA型 1台）を購入する。
平成7年	3月	救急自動車（2B型 II課程対応車両 1台）を購入する。 消防ポンプ自動車（BD-I型 1台）を購入する。 小型動力ポンプ積載車（1台）を購入する。

平成7年	4月	本署に本署司令長を設ける。 分署に分署長補佐を設ける。 救助救急司令を救急救助司令に改める。 救助救急係を救急係及び救助係とする。
	7月	小型動力ポンプ（B-3級 4台）を購入する。
	9月	広報連絡車（1台）を購入する。
	12月	水槽付消防ポンプ自動車（I B型 2台）を購入する。 救助工作車（II型 1台）の特別寄贈を受ける。
平成8年	3月	救急自動車（高規格 1台）を購入する。 消防ポンプ自動車（BD-I型 1台）を購入する。 消防用救助器具115セットを消防団へ配備する。 消防用無線機21基を消防団車庫警備室へ配備する。 消防用無線機21基を消防団車両へ配備する。
	4月	職員7人を増員、定員247人とする。 予防課に調査係を設ける。 消防署の通信係を廃止し、消防本部通信課とする。 分署に救急係を設ける。 新通信指令システムの運用を開始する。
	6月	広報連絡車（1台）を購入する。
	8月	新東分署庁舎を建設する。
	10月	小型動力ポンプ（B-3級 3台）を購入する。
	11月	クローラ式大量送水システムを開発する。
	12月	消防ポンプ自動車（BD-I型 1台）を購入する。
平成9年	3月	救急自動車（2B II課程対応車両 1台）を購入する。 化学消防ポンプ自動車（II型 1台）を購入する。 水槽付消防ポンプ自動車（水I-B型 1台）を購入する。
	4月	東分署を消防署に昇格させ2署制とし、業務を開始する。 職員14人を増員、定員261人とする。
	5月	消防広報車の特別寄贈を受ける。
	6月	小型動力ポンプ（B-2級 1台）を購入する。
	10月	小型動力ポンプ（B-3級 4台）を購入する。 消防ポンプ自動車（BD-I型 2台）を購入する。
	11月	小型動力ポンプ積載車（4台）を購入する。
	12月	消防広報車（1台）を購入する。 広報連絡車（1台）を購入する。
平成10年	1月	はしご付消防ポンプ自動車（40m級 1台）を購入する。 化学消防ポンプ自動車（II型 1台）を購入する。
	3月	救急自動車（2B II課程対応車両 1台）を購入する。
	4月	岡崎市東消防署額田出張所を開設し出張所長以下17人配置、額田町の消防

平成10年	4月	事務の受託業務を開始する。 職員9人を増員、定員270人とする。 出張所に出張所長補佐を設ける。
	5月	岡崎市危険物安全協会を岡崎市危険物防火安全協会に改組する。
	8月	消防広報車（1台）を購入する。 小型動力ポンプ（B-3級 4台）を購入する。
	11月	小型動力ポンプ付水槽車（Ⅱ型 1台）を購入する。 小型動力ポンプ積載車（5台）を購入する。
	12月	消防ポンプ自動車（CD-I型 2台）購入する。
平成11年	3月	高規格救急自動車（1台）を購入する。 水槽付消防ポンプ自動車（水I-B型 1台）を購入する。 消防広報用連絡車（1台）を購入する。 中消防署花園出張所の庁舎完工。
	4月	中消防署花園出張所の業務を開始する。 職員11人を増員、定員281人とする。 予防課に主幹を設ける。
	11月	小型動力ポンプ（B-3級 5台）を購入する。 消防ポンプ自動車（CD-I型 1台）を購入する。
	12月	水槽付消防ポンプ自動車（水I-B型 1台）を購入する。 小型動力ポンプ付水槽車（Ⅱ型 1台）を購入する。
平成12年	2月	小型動力ポンプ積載車（5台）を購入する。
	3月	はしご付消防ポンプ自動車（40m級 1台）を購入する。 高規格救急自動車（1台）を購入する。
	4月	小型動力ポンプ積載車（1台）を購入する。 職員5人を増員、定員286人とする。 消防本部に班体制を導入する。 庶務課、消防課、通信課に主幹を設ける。 分署の分署長補佐を廃止し、警防司令を設ける。 被服の点数制を導入する。
	10月	小型動力ポンプ（B-3級 5台）を購入する。 消防広報車1台を購入する。
	11月	小型動力ポンプ積載車（7台）を購入する。 消防ポンプ自動車（CD-II型 1台）を購入する。 消防ポンプ自動車（CD-I型 1台）を購入する。 高規格救急自動車（1台）購入する。
平成13年	4月	市役所に防災課が設けられ消防職員2人出向する。 通信課を通信指令室に改める。 予防課の予防班、調査班を統合し予防調査班とする。 中消防署本署に予防係を設ける。

平成13年	7月	I S O 1 4 0 0 1 を認証取得する。
	10月	消防ポンプ自動車（CD－Ⅱ型 1台）を購入する。 消防ポンプ自動車（CD－Ⅰ型 1台）を購入する。
	12月	はしご付消防ポンプ自動車（40m級 1台）を購入する。
平成14年	2月	高規格救急自動車（1台）を購入する。 新西分署の庁舎を建設する。 消防広報車の特別寄贈を受ける。
	4月	西分署を消防署に昇格させ3署制とし、業務を開始する。 職員10人を増員、定員294人とする。 消防団再編成により定員1,479人とする。 耐震性貯水槽完成（飲料水兼用100m ³ ）がシビックセンターから移管される。
	12月	救助工作車（Ⅱ型 1台）を購入する。
平成15年	1月	高規格救急自動車（2台）を購入する。
	4月	職員14人を増員、実員308人とする。 救急救助司令を救急司令、救助司令とする。 消防団組織を再編成し94部、定員1,268人とする。
	5月	岡崎市危険物防火安全協会と岡崎市自衛消防隊連絡協議会が合併し岡崎市危険物保安連絡協議会となる。
	10月	全自動小型動力ポンプ付積載車（B－2級 5台）を購入する。 小型動力ポンプ積載車（12台）を購入する。
	11月	防火広報車（1台）を購入する。
	12月	消防ポンプ自動車（CD－Ⅰ 1台）を購入する。
平成16年	2月	高規格救急自動車（1台）を購入する。 人員輸送車（1台）を購入する。
	4月	職員12人を増員、実員320人とする。 各消防署本署に救急救助司令長を設ける。 東消防署本署に予防係を設ける。
	10月	小型動力ポンプ積載車（11台）を購入する。
	11月	全自動小型動力ポンプ付積載車（B－2級 5台）を購入する。
	12月	消防広報車（1台）を購入する。
平成17年	3月	高規格救急自動車（1台）を購入する。 東消防署本宿出張所の庁舎完工。
	4月	東消防署本宿出張所の業務を開始する。 職員9人を増員、実員329人とする。 各消防署本署に担当署長を設ける。 出張所の出張所長補佐を廃止し、警防司令を設ける。
	9月	連絡車（1台）を購入する。 小型動力ポンプ（B－3級 2台）を購入する。 小型動力ポンプ積載車（12台）を購入する。

平成17年	10月	全自動小型動力ポンプ付積載車（B-2級 6台）を購入する。
	11月	起震車（1台）を購入する。
	12月	水槽付消防ポンプ自動車（水I-B型 2台）を購入する。
平成18年	1月	平成18年1月1日額田町との合併により消防団21団、定員1,517人となる。
		防火広報車（1台）を購入する。
	3月	高規格救急自動車（2台）を購入する。
	4月	職員9人を増員、実員338人とする。 庶務課を総務課に改める。 予防課予防調査班を予防班に改める。 中消防署本署及び東消防署本署の予防係を廃止し、中消防署本署に指揮調査係を設置、指揮調査司令長、指揮調査司令を設ける。
	7月	消防広報車（1台）を購入する。
	12月	小型動力ポンプ（B-3級 4台）を購入する。
平成19年	1月	全自動小型動力ポンプ付積載車（B-2級 4台）を購入する。
	2月	高規格救急自動車（2台）を購入する。
	3月	指揮指令車（1台）を購入する。
	4月	職員5人を増員、実員343人とする。 各消防署本署の担当署長を本署長に改める。 市役所東庁舎7階にて新通信指令システムの運用を開始する。
	9月	小型動力ポンプ積載車（3台）を購入する。 小型動力ポンプ（B-3級 3台）を購入する。
	10月	広報連絡車（1台）を購入する。
平成20年	1月	小型動力ポンプ軽積載車（1台）を購入する。
	3月	高規格救急自動車（1台）を購入する。 高規格救急自動車（1台）の特別寄贈を受ける。 消防用無線機3基を消防団車庫警備室へ配備する。
	4月	職員7人を増員、実員350人とする。 各分署に救急司令を設ける。
	8月	岡崎市消防支援隊を発足する。
	9月	広報車（2台）を購入する。
	10月	小型動力ポンプ積載車（2台）を購入する。
	11月	小型動力ポンプ（B-3級 5台）を購入する。 広報車（1台）を購入する。
	12月	消防二輪車（3台）を購入する。
平成21年	1月	全自動小型動力ポンプ付積載車（1台）を購入する。 小型動力ポンプ軽積載車（1台）を購入する。 化学消防ポンプ自動車（1台）を購入する。
	3月	高規格救急自動車（1台）を購入する。 水槽付消防ポンプ自動車（水I-A型1台）を購入する。

平成21年	3月	救助工作車（Ⅲ型 1台）を購入する。 東消防署形埜出張所の庁舎完工。
	4月	東消防署形埜出張所の業務を開始する。 職員14人を増員、実員364人とする。 各消防署本署の本署長を廃止し、本署課長を設ける。
	9月	救助用資機材、テロ対策用特殊救助資機材、高度救助用資機材（一式）を購入する。
	10月	高度救助隊「岡崎スーパーレスキュー」を発隊する。
	11月	小型動力ポンプ（B-3級 3台）を購入する。
平成22年	2月	高規格救急自動車（2台）を購入する。 全自動小型動力ポンプ付積載車（B-2級 1台）を購入する。 高所活動車（1台）を購入する。
	3月	小型動力ポンプ付水槽車（I型 1台）を購入する。
	4月	各消防署本署の警防司令長及び救急救助司令長を廃止し司令長とする。
	5月	消防本部旗の寄贈を受ける。
	10月	消防団協力事業所表示制度を導入する。
	12月	高規格救急自動車（1台）を購入する。 小型動力ポンプ軽積載車（B-2級 1台）の特別寄贈を受ける。 水槽付消防ポンプ自動車（水I-A型 1台）を購入する。
平成23年	1月	小型動力ポンプ（B-3級 2台）を購入する。 小型動力ポンプ積載車（1台）を購入する。 全自動小型動力ポンプ付積載車（B-2級 1台）を購入する。
	2月	支援車（I型 1台）が総務省から無償で配備される。
	4月	中消防署本署に管理司令長及び管理司令を設ける。 機能別消防団員制度を岩津消防団の一部地域と額田消防団に導入する。
平成24年	1月	小型動力ポンプ（B-3級 2台）を購入する。
	3月	全自動小型動力ポンプ付積載車（B-2級 1台）を購入する。 救助工作車（Ⅱ型 1台）を購入する。 水槽付消防ポンプ自動車（水I-A型 2台）を購入する。
	8月	消防旗の寄贈を受ける。
	10月	「メール119」の運用を開始する。
	12月	消防ポンプ自動車（CD-I型 1台）を購入する。 全自動小型動力ポンプ付積載車（B-2級 1台）を購入する。
平成25年	1月	高規格救急自動車（1台）を購入する。 小型動力ポンプ（B-3級 2台）を購入する。
	2月	資機材搬送車（1台）が総務省から無償で配備される。
	3月	大型水陸両用車（1台）が総務省から無償で配備される。 大型水陸両用車専用搬送車（1台）が総務省から無償で配備される。 可搬型衛星地球局「VSAT」（1台）が総務省から無償で配備される。
	7月	岡崎市消防団員応援事業所制度を導入する。

平成25年	10月	消防ポンプ自動車（CD-I型 1台）を購入する。
	12月	全自動小型動力ポンプ付積載車（B-2級 2台）を購入する。
平成26年	1月	高規格救急自動車（2台）を購入する。
	2月	小型動力ポンプ（B-3級 2台）を購入する。 救助資機材搭載型車両（1台）及び消防団拠点資機材（一式）が 総務省から無償で貸付される。
	3月	小型動力ポンプ付水槽車（I型 1台）を購入する。
	4月	通信指令室にシステム担当を設ける。 各消防署本署の警防司令を警防救助司令に改める。 指揮調査司令を廃止する。
	5月	幼年消防クラブを発足する。
	9月	消防広報車（1台）を購入する。
	12月	小型動力ポンプ付水槽車（II型 1台）を購入する。 軽消防広報車（1台）を購入する。 機能別消防団員制度を常磐消防団の一部地域に導入する。
平成27年	2月	小型動力ポンプ（B-3級 2台）を購入する。 全自動小型動力ポンプ付積載車（B-2級 1台）を購入する。
	3月	水槽付消防ポンプ自動車（水I-B型 1台）を購入する。 はしご付消防自動車（54m級 1台）を購入する。
	4月	職員5人を増員、実員369人とする。 消防課の消防班及び教養班を統合し消防企画班とする。 各消防署本署の警防係及び救助係を統合し警防救助係とする。 中消防署の管理司令長及び管理司令を廃止する。 防災防犯協会の業務を予防課から市長公室防災危機管理課に移管する。
	9月	消防広報車（2台）を購入する。
	10月	特別消火隊を発隊する。
	11月	小型動力ポンプ（B-3級 4台）を購入する。 高規格救急自動車（2台）を購入する。
	12月	小型動力ポンプ付水槽車（II型 1台）を購入する。
平成28年	1月	額田消防団第8部小型動力ポンプ軽積載車（1台）を消防本部に移管する。
	3月	水槽付消防ポンプ自動車（水I-B型 1台）を購入する。
	4月	職員3人を増員、実員372人とする。 予防課に特別査察班を設置する。 消防救急デジタル無線の運用を開始する。
	8月	消防広報車（1台）を購入する。 額田消防団第6部消防ポンプ自動車（1台）を額田消防団第9部に移管する。
	10月	高規格救急自動車（2台）を購入する。
	11月	消防広報車（2台）の特別寄贈を受ける。
	12月	小型動力ポンプ（B-2級 1台）を購入する。

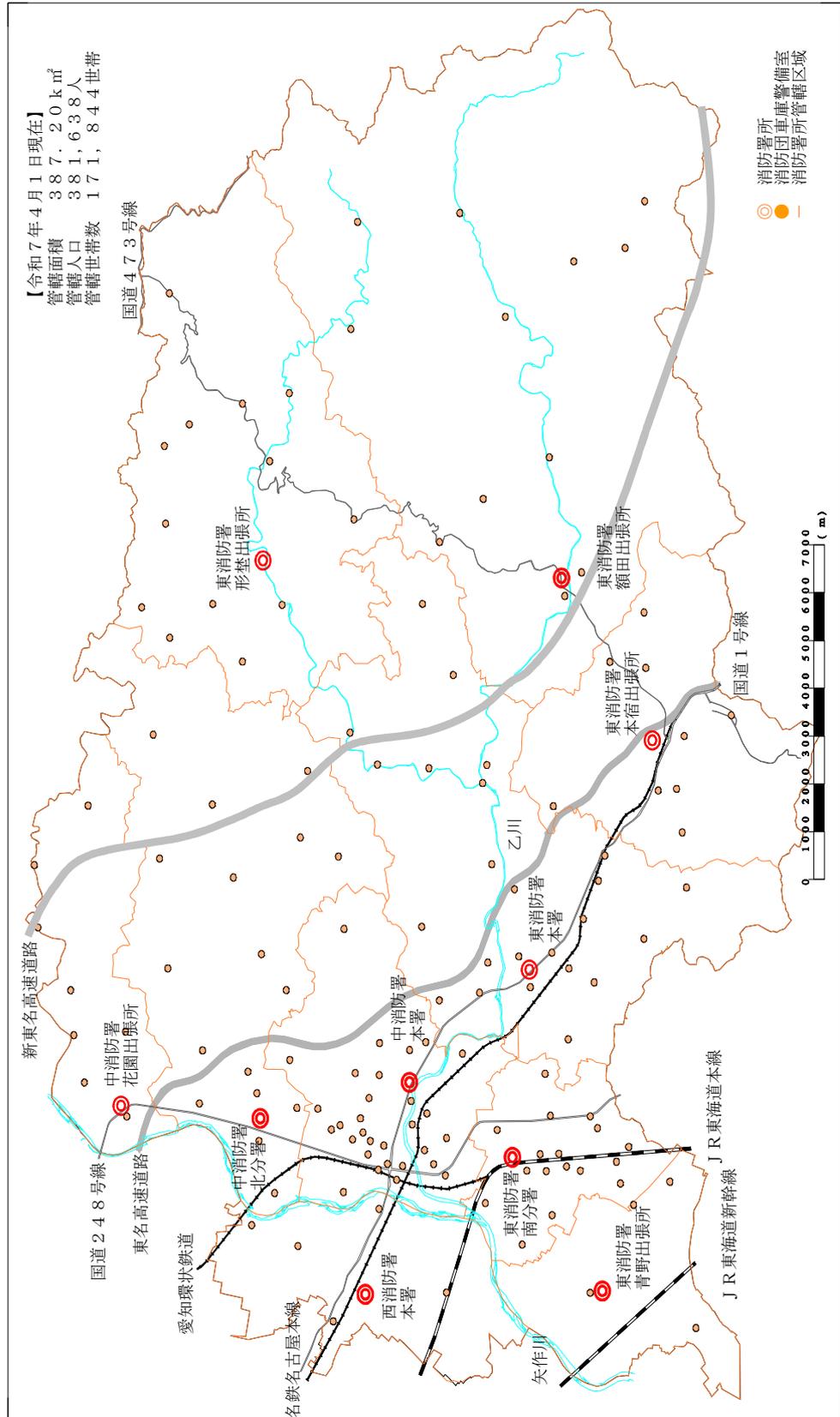
平成29年	1月	小型動力ポンプ（B－3級 7台）を購入する。 化学消防ポンプ自動車（1台）を購入する。
	4月	職員3人を増員、実員375人とする。 消防本部の班制を係制に移行する。 警防救助司令、警防司令、救急司令を廃止する。 消防広報車（1台）の特別寄贈を受ける。
	10月	高規格救急自動車（2台）を購入する。 はしご付消防自動車（40m級 1台）を購入する。
平成30年	1月	小型動力ポンプ（B－3級 5台）を購入する。
	3月	水槽付消防ポンプ自動車（水I－A型 1台）を購入する。
	4月	通信指令室を共同通信課とし、幸田町と消防指令業務の共同運用を開始する。 職員7人を増員、実員382人とする。 (幸田町から共同通信課への出向者4名を含む。市民生活部防災課への出向者3人を除く。) 指揮調査司令長を廃止する。 東消防署本署に指揮調査係を設置する。 消防団大学生等活動認証制度を導入する。
	9月	消防広報車（1台）を購入する。
	11月	消防広報車（1台）を購入する。 高規格救急自動車（1台）を購入する。
	12月	小型動力ポンプ（B－3級 6台）を購入する。
平成31年	4月	中消防署本署及び東消防署本署に予防管理係を設置する。 職員4人を増員、実員386人とする。
令和元年	11月	屈折はしご付消防ポンプ自動車（1台）を購入する。
	12月	高規格救急自動車（2台）を購入する。
令和2年	1月	小型動力ポンプ積載車（1台）を購入する。 小型動力ポンプ（B－3級 6台）を購入する。 消防ポンプ自動車（CD－I型 1台）を購入する。
	3月	消防広報車（1台）の特別寄贈を受ける。
	4月	中消防署本署の警防救助係を警防係及び救助係に再編する。 職員1人を増員、実員387人とする。 共同通信課を3係編成とする。
	8月	消防広報車（1台）を購入する。
	12月	高規格救急自動車（2台）を購入する。 小型動力ポンプ積載車（5台）を購入する。 小型動力ポンプ（B－3級 4台）を購入する。
令和3年	1月	水槽付消防ポンプ自動車（水I－B型 1台）を購入する。
	3月	無人航空機（ドローン）（1台）の特別寄贈を受ける。
	4月	職員1人を増員、実員388人とする。
	10月	高規格救急自動車（2台）を購入する。

令和4年	3月	小型動力ポンプ積載車（6台）を購入する。 小型動力ポンプ（B-3級 2台）を購入する。
	4月	西消防署本署に予防管理係を設置する。 職員1人を増員、実員389人とする。 高規格救急自動車（1台）の特別寄贈を受ける。TUWA号
	6月	消防課連絡車（1台）の特別寄贈を受ける。
	12月	小型動力ポンプ積載車（5台）を購入する。
令和5年	3月	小型動力ポンプ付積載車（2台）を購入する。 指揮指令車（1台）を購入する。 広報車（1台）の特別寄贈を受ける。
	4月	職員3人を増員、実員392人とする。
	10月	人員輸送車（1台）を購入する。
	11月	高規格救急自動車（1台）を購入する。 救助工作車（1台）を購入する。
	12月	小型動力ポンプ（B-3級 3台）を購入する。
令和6年	1月	小型動力ポンプ（B-1級 1台）を購入する。 先端屈折式はしご付消防自動車（1台）を購入する。
	2月	小型動力ポンプ軽積載車（4台）を購入する。
	4月	総務課に消防団係を設置する。 消防課を消防救急課とし、救急対策係を設置する。 職員4人を増員、実員396人とする。
	6月	小型動力ポンプ付積載車（1台）を購入する。
	7月	小型動力ポンプ積載車（1台）を購入する。
	12月	指揮指令車（1台）を購入する。
令和7年	1月	小型動力ポンプ軽積載車（4台）を購入する。
	2月	高規格救急自動車（2台）を購入する。 小型動力ポンプ（B-3級 3台）を購入する。
	3月	小型動力ポンプ付積載車（1台）を購入する。
	4月	職員7人を増員、実員403人とする。

岡崎市及び岡崎消防のあらまし

歴史と伝統に恵まれた岡崎市は、愛知県ほぼ中央に位置し三河高原から連なる丘陵地と矢作川、乙川流域に広がる平野部からなる。国道1号線、同248号線、東名高速道路及び新東名高速道路が主幹道路として市内を縦断し、JR東海道本線、愛知環状鉄道、名鉄名古屋本線等交通網が充実しており、教育、文化、産業、経済などさまざまな分野で西三河の中心都市としての役割を果たし「一歩先の暮らして三河を拓く 中核・中核都市おかさき」をめざし発展を続けています。

岡崎消防は、本部1、消防署3、分署2、出張所5、職員403人、指揮指令車2台、消防ポンプ車14台、救急車15台、はしご車4台、高所活動車1台、化学車2台、水槽車4台、救助工作車3台、支援車1台、大型水陸両用車1台、消防二輪車3台、その他広報車等34台を有する常備消防と21消防団1,459人、消防ポンプ車1台、小型動力ポンプ付積載車34台、小型動力ポンプ積載車55台、軽積載車21台、小型動力ポンプ83台をもって構成し都市の発展に伴って発生する各種災害に備えて、近代消防としての充実に努めています。



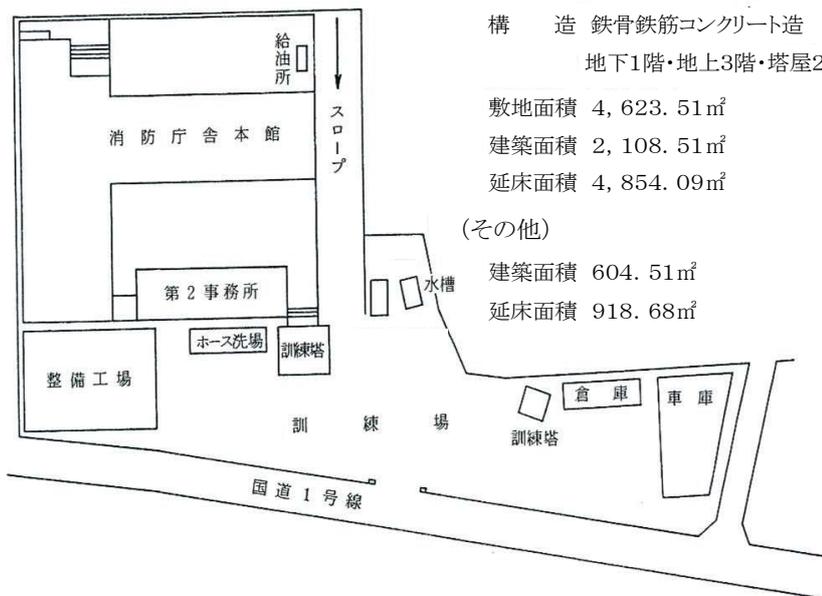
消 防 庁 舎

1 消防本部・中消防署 本署

郵便番号	444-0022		
所在地	岡崎市朝日町3丁目4番地	TEL	(0564)21-5151
メールアドレス	nakasho@city.okazaki.lg.jp	FAX	(0564)26-0373



庁舎配置図



(本館)

構造 鉄骨鉄筋コンクリート造
 地下1階・地上3階・塔屋2階建
 敷地面積 4,623.51㎡
 建築面積 2,108.51㎡
 延床面積 4,854.09㎡

(その他)

建築面積 604.51㎡
 延床面積 918.68㎡

2 中消防署 北分署

郵便番号	444-2133				
所在地	岡崎市井ノ口町字楼65番地	TEL	(0564)24-0119		
メールアドレス	kitafd@city.okazaki.lg.jp	FAX	(0564)25-9492		
本館	構造	鉄筋コンクリート造2階建	敷地面積	1,616.78㎡	
	建築面積	458.57㎡	その他	建築面積	77.48㎡
	延面積	510.35㎡		延面積	116.58㎡



3 中消防署 花園出張所

郵便番号	444-2148				
所在地	岡崎市仁木町字川越254番地	TEL	(0564)66-8119		
メールアドレス	hanazonofd@city.okazaki.lg.jp	FAX	(0564)66-8120		
本館	構造	鉄筋コンクリート造2階建	敷地面積	1,411.00㎡	
	建築面積	232.23㎡	その他	建築面積	--- ㎡
	延面積	306.17㎡		延面積	--- ㎡



4 東消防署 本署

郵便番号	444-0005		
所在地	岡崎市岡町字下河原25番地4	TEL	(0564)53-0119
メールアドレス	higashisho@city.okazaki.lg.jp	FAX	(0564)55-9690



庁舎配置図

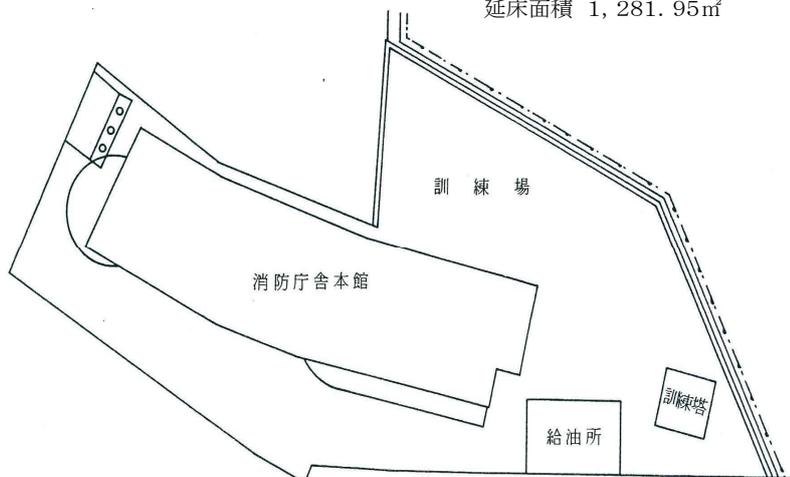
(本館)

構造 鉄筋コンクリート造2階建
塔屋訓練塔設置

敷地面積 2,600.70㎡

建築面積 686.82㎡

延床面積 1,281.95㎡



5 東消防署 南分署

郵便番号	444-0836				
所在地	岡崎市中田町2番地2	TEL	(0564)54-0119		
メールアドレス	minamifd@city.okazaki.lg.jp	FAX	(0564)55-9691		
本館	構造	鉄筋コンクリート造2階建	敷地面積	1,269.86㎡	
	建築面積	523.12㎡	その他	建築面積	43.41㎡
	延面積	586.76㎡		延面積	86.82㎡



6 東消防署 青野出張所

郵便番号	444-0244				
所在地	岡崎市下青野町字宮東49番地	TEL	(0564)43-6119		
メールアドレス	aonofd@city.okazaki.lg.jp	FAX	(0564)43-1591		
本館	構造	鉄筋コンクリート造2階建	敷地面積	2,117.18㎡	
	建築面積	340.21㎡	その他	建築面積	21.00㎡
	延面積	449.10㎡		延面積	21.00㎡



7 東消防署 額田出張所

郵便番号	444-3622				
所在地	岡崎市榎山町字山ノ神21番地12	TEL	(0564)82-4119		
メールアドレス	nukatafd@city.okazaki.lg.jp	FAX	(0564)85-1060		
本館	構造	鉄筋コンクリート造地下1階地上1階建	敷地面積	1,940.77㎡	
	建築面積	449.71㎡	その他	建築面積	--- ㎡
	延面積	648.25㎡		延面積	--- ㎡



8 東消防署 本宿出張所

郵便番号	444-3505				
所在地	岡崎市本宿町字西片山30番地1	TEL	(0564)48-1119		
メールアドレス	motojukufd@city.okazaki.lg.jp	FAX	(0564)48-1120		
本館	構造	鉄筋コンクリート造2階建	敷地面積	2,103.85㎡	
	建築面積	452.80㎡	その他	建築面積	--- ㎡
	延面積	586.83㎡		延面積	--- ㎡



9 東消防署 形埜出張所

郵便番号	444-3443				
所在地	岡崎市鍛埜町字中切22番地6	TEL	(0564)85-3119		
メールアドレス	katanofd@city.okazaki.lg.jp	FAX	(0564)84-3119		
本館	構造	鉄骨造2階建	敷地面積	2,152.53㎡	
	建築面積	424.22㎡	その他	建築面積	22.68㎡
	延面積	664.50㎡		延面積	17.05㎡



10 西消防署 本署

郵便番号	444-0941		
所在地	岡崎市暮戸町字元社口42番地	TEL	(0564)34-0119
メールアドレス	nishisho@city.okazaki.lg.jp	FAX	(0564)31-1099



庁舎配置図

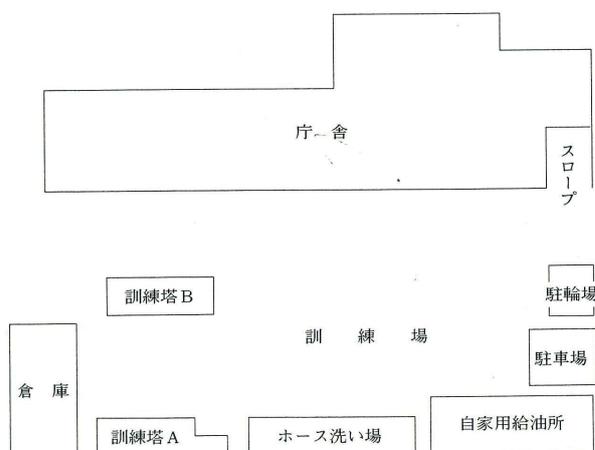
(本館)

構造 鉄筋コンクリート造2階建

敷地面積 2,583.60㎡

建築面積 659.48㎡

延床面積 1,231.99㎡



令和6年度消防のあゆみ

令和6年

4月

- 1日 消防団正副団長辞令交付式
- 2日 消防二輪車実技研修（及び3日） (キョウセイ交通大学)
- 7日 家康行列消防警備
- 8日 消防職員安全運転実技研修（～11日） (キョウセイ交通大学)
- 12日 愛知県消防職員意見発表会 (岡崎ニューグランドホテル)
- 17日 第1回消防団長会議
- 18日 岡崎市危険物保安連絡協議会 第1回理事会 (岡崎市消防本部)
- 21日 岡崎市消防団初任者・幹部研修 (岡崎中央総合公園)
- 24日 岡崎市女性防災クラブ連絡協議会 第1回会長会議 (岡崎市消防本部)

5月

- 1日 春の消防施設整備清掃
- 1日 消防職員救急症例検討会（～24日）
- 7日 乙川水難救助訓練（～6月28日） (岡崎公園乙川河川緑地)
- 13日 解体予定の岡ビル百貨店を使用した救助訓練（及び16日） (東岡崎駅岡ビル百貨店)
- 14日 岡崎市女性防災クラブ連絡協議会 定期総会 (岡崎市消防本部)
- 15日 岡崎市危険物保安連絡協議会 定期総会 (岡崎市消防本部)
- 17日 岡崎市少年消防クラブ指導者説明会 (岡崎市消防本部)
- 17日 愛知県消防長会予防担当課長会議 (幸田町消防本部)
- 19日 岡崎市消防団消防操法大会 (岡崎中央総合公園)
- 27日 潜水基本訓練（～6月30日） (中消防署本署)
- 28日 緊急消防援助隊愛知県大隊合同訓練（情報伝達訓練） (岡崎市消防本部)
- 30日 署隊本部対応訓練（及び31日） (署隊本部室及び消防署所)

6月

- 2日 小型動力ポンプ付積載車（1台）更新配備
（岩津消防団第5部） （岡崎市消防本部）
- 2日 危険物安全週間（～8日）
- 8日 第1回危険物取扱者試験予備講習会 （岡崎市消防本部）
- 11日 岡崎市新規採用職員研修（令和6年度採用保育・教育職員） （岡崎市消防本部）
- 14日 岡崎市女性防災クラブ 新クラブ員消防教室（及び15日） （岡崎市消防本部）
- 16日 消防団機関班養成講習 （岡崎市消防本部）
- 17日 消防職員救急症例検討会（～30日）
- 18日 救助隊員再教育 土砂・風水害対応救助訓練（及び19日） （岡崎市総合現業事務所）
- 20日 土砂・風水害対応救助訓練（及び21日） （岡崎市総合現業事務所）
- 20日 岡崎市危険物保安連絡協議会 消防機械器具取扱講習会 （岡崎市消防本部）
- 23日 第17回消防団員震災・風水害研修 （中消防署本署）
- 24日 熱画像直視装置研修 （中消防署本署）
- 25日 警防本部運用訓練（及び26日） （岡崎幸田消防指令センター等）
- 28日 第2回消防団長会議

7月

- 7日 第18回消防団安全運転実技研修 （キョウセイ交通大学）
- 9日 潜水応用救助訓練（～29日） （岡崎公園乙川河川緑地）
- 11日 第52回消防救助技術東海地区指導会（陸上の部） （三重県 三重県消防学校）
- 14日 愛知県消防操法大会出場部激励会 （岡崎市立生平小学校）
- 16日 解体予定の市営住宅を使用した救助隊技術訓練（～19日） （市営住宅大池荘）
- 20日 愛知県消防操法大会 （愛知学院大学）
- 24日 第63回愛知県下消防長会救急事業部会員会議 （尾張旭市消防本部）
- 24日 岡崎市女性防災クラブ連絡協議会 第2回会長会議・クラブ活動研修会 （岡崎市消防本部）
- 25日 消防職員委員会
- 25日 岡崎市新規採用職員研修（令和6年度採用行政職員）（及び26日） （岡崎市消防本部）

8月

- 1日 岡崎市少年消防クラブ員愛知県消防学校一日入校 (愛知県消防学校)
- 1日 岡崎市危険物保安連絡協議会 第2回理事会 (書面会議)
- 3日 岡崎城下家康公夏まつり第75回花火大会消防警備
- 4日 小型動力ポンプ積載車 (1台) 更新配備 (額田消防団第9部) (岡崎市消防本部)
- 9日 西三河予防行政研究会 (書面会議)
- 15日 消防職員救急症例検討会 (~31日)
- 20日 岡崎市消防本部救急の日イベント (イオンモール岡崎)
- 23日 第52回全国消防救助技術大会 (千葉県 千葉県消防学校)
- 26日 一日消防士体験 (及び27日) (岡崎市消防本部)
- 28日 第3回消防団長会議

9月

- 1日 「防災の日」
- 4日 岡崎市少年消防クラブ防火作品審査会 (岡崎市消防本部)
- 7日 女性消防クラブ指導者科1日入校 (愛知県消防学校)
- 10日 消防職員研修会 (岡崎市消防本部)
- 10日 名古屋市消防航空隊合同訓練 (一畑山薬師寺・牛乗山)
- 20日 認定救助隊員選抜試験 (中消防署本署)
- 22日 集団災害訓練 (岡崎市民病院)
- 22日 第18回消防団員消防技術発表会 (中止) (岡崎公園乙川河川緑地)

10月

- 1日 消防職員救急症例検討会（～31日）
- 1日 秋の消防施設整備清掃
- 4日 愛知県消防長会予防担当課長会議（扶桑町中央公民館）
- 5日 一日消防署長（イオンモール岡崎）
- 11日 第4回消防団長会議
- 12日 全国消防操法大会（宮城県 宮城県総合運動公園）
- 17日 緊急消防援助隊愛知県大隊合同訓練（情報伝達訓練及び部隊集結訓練）（岡崎市消防本部・三重県湾岸長島PA）
- 19日 第2回危険物取扱者試験予備講習会（岡崎市消防本部）
- 24日 岡崎市危険物保安連絡協議会 初期消火技術発表会（岡崎中央総合公園）
- 27日 岡崎市地域総合防災訓練（その他11月3日等）

11月

- 1日 認定救助隊員育成集合教育（～令和7年2月9日）（中消防署本署、東消防署本署、西消防署本署）
- 1日 イオンモール岡崎高所救助訓練（イオンモール岡崎）
- 6日 警察消防殉職者慰霊祭（名古屋市公会堂）
- 6日 名古屋市消防航空隊合同訓練及び夜間離着陸訓練（マルヤス岡崎龍北スタジアム）
- 9日 秋の火災予防運動（～15日）
- 13日 部隊運用訓練（及び14日）（市営住宅桑谷荘）
- 15日 岡崎市危険物保安連絡協議会 研修会（岡崎市消防本部）
- 15日 第2回消防職員研修会（岡崎市消防本部）
- 15日 岡崎市少年・幼年消防クラブ員防火作品展（～11月29日）（図書館交流プラザ りぶら）
- 22日 ラリージャパン2024 消防警備（及び24日）（岡崎中央総合公園等）
- 26日 西三河地区合同訓練（幸田町消防本部）
- 29日 救助隊員再教育 ロープレスキュー訓練（～12月13日）（東消防署本署）

12月

- | | | |
|-----|---------------------------|-----------|
| 1日 | 消防職員救急症例検討会（～28日） | （各消防署所） |
| 4日 | 愛知県ドクターヘリ合同訓練 | （みつわ広場） |
| 7日 | 名古屋市消防航空隊合同訓練 | （岡崎市民病院） |
| 18日 | 第5回消防団長会議 | |
| 21日 | 緊急消防援助隊中部ブロック合同訓練（及び22日） | （三重県） |
| 25日 | 岡崎市消防職員意見発表会 | （岡崎市消防本部） |
| 27日 | 指揮指令車（1台）更新配備
（中指揮指令車） | |
| 28日 | 歳末消防特別警戒（～30日） | |

令和7年

1月

- | | | |
|-----|--|--------------|
| 12日 | 岡崎市消防出初・観閲式 | （岡崎公園乙川河川緑地） |
| 24日 | 第64回愛知県下消防長会救急事業部会員会議 | （愛西市消防本部） |
| 26日 | 文化財火災防御訓練 | （山中八幡宮） |
| 26日 | 小型動力ポンプ軽積載車（4台）更新配備
（美合消防団第3部、額田消防団第4部、額田消防団第11部、額田消防団第12部） | |
| 30日 | 愛知県警防技術交換会 | （名古屋市消防学校） |

2月

- 1日 消防職員安全運転講習会（～3月25日）
- 1日 消防職員救急症例検討会（～28日）
- 4日 岡崎市消防本部救急ミーティング
（令和7年2月4日（火）から令和7年3月25日（火））
- 5日 電気事故災害対応訓練（及び6日）（中部電力人財開発センター）
- 6日 第6回消防団長会議
- 6日 岡崎市女性防災クラブ連絡協議会 第3回会長会議（岡崎市消防本部）
- 6日 緊急消防援助隊後方支援活動訓練（名古屋市消防学校）
- 7日 西三河地区消防職員意見発表会（豊田産業文化センター）
- 12日 岡崎市危険物保安連絡協議会 普通救命講習（～14日）（岡崎市消防本部）
- 12日 災害対応特殊救急自動車（2台）更新配備
（花園救急1号車、東救急1号車）
- 15日 滝山寺鬼祭り警備（滝山寺）
- 18日 岡崎市危険物保安連絡協議会 第3回理事会（書面会議）
- 18日 救助隊員再教育 火災現場対応 緊急避難及び救難活動（及び19日）（西消防署本署）
- 25日 普通乗用車横転復旧研修（中消防署本署）

3月

- 1日 春の火災予防運動（～7日）
- 2日 消防団考案訓練（岡崎公園乙川河川緑地）
- 23日 小型動力ポンプ付積載車（1台）更新配備
（連尺消防団第1部）
- 23日 電動救助器具取扱訓練（岩津消防団第7部）
- 23日 小型動力ポンプ（3台）更新配備
（三島4部、額田7部、額田12部）

消 防 予 算

近年の消防を取り巻く環境として、複雑多様化する災害や救急出動件数の増大、南海トラフ巨大地震及び局地的な豪雨などの自然災害への対応が挙げられる。これらの諸災害に迅速かつ的確に対処するため、消防体制の充実強化に万全を期す。

常備消防にあつては、職務遂行に必要な知識の習得、技術の錬磨を図るため、引き続き職員研修等を実施し資質の向上に努めるとともに、水槽付消防ポンプ自動車及び救急自動車の更新配備をはじめ、災害活動用機械器具の整備充実を図る。

非常備消防については、小型動力ポンプや救助用資機材の配備等消防力の充実を図るとともに、消防団員の処遇改善を行うなど士気の高揚を図る。

その他、消火栓及び防火水そう等消防水利の新設を行うなど消防施設の充実強化に努めるとともに、各種訓練、出前講座及び啓発活動などを通じて自主防災組織の育成・強化及び市民の防災意識高揚を図る。

1 当初予算額の比較

(単位：千円)

年 度		令和 6 年度当初予算	令和 7 年度当初予算	増減比(%)
区 分				
市一般会計歳出予算額		140,410,000	153,690,000	9.5
消 防 費		4,423,010	4,637,804	4.9
内 訳	常 備 消 防 費	3,539,829	3,738,484	5.6
	非 常 備 消 防 費	234,576	213,921	△ 8.8
	消 防 施 設 費	372,795	393,868	5.7
	災 害 対 策 費	259,688	265,883	2.4
	水 防 費	16,122	25,648	59.1

△印は減を示す

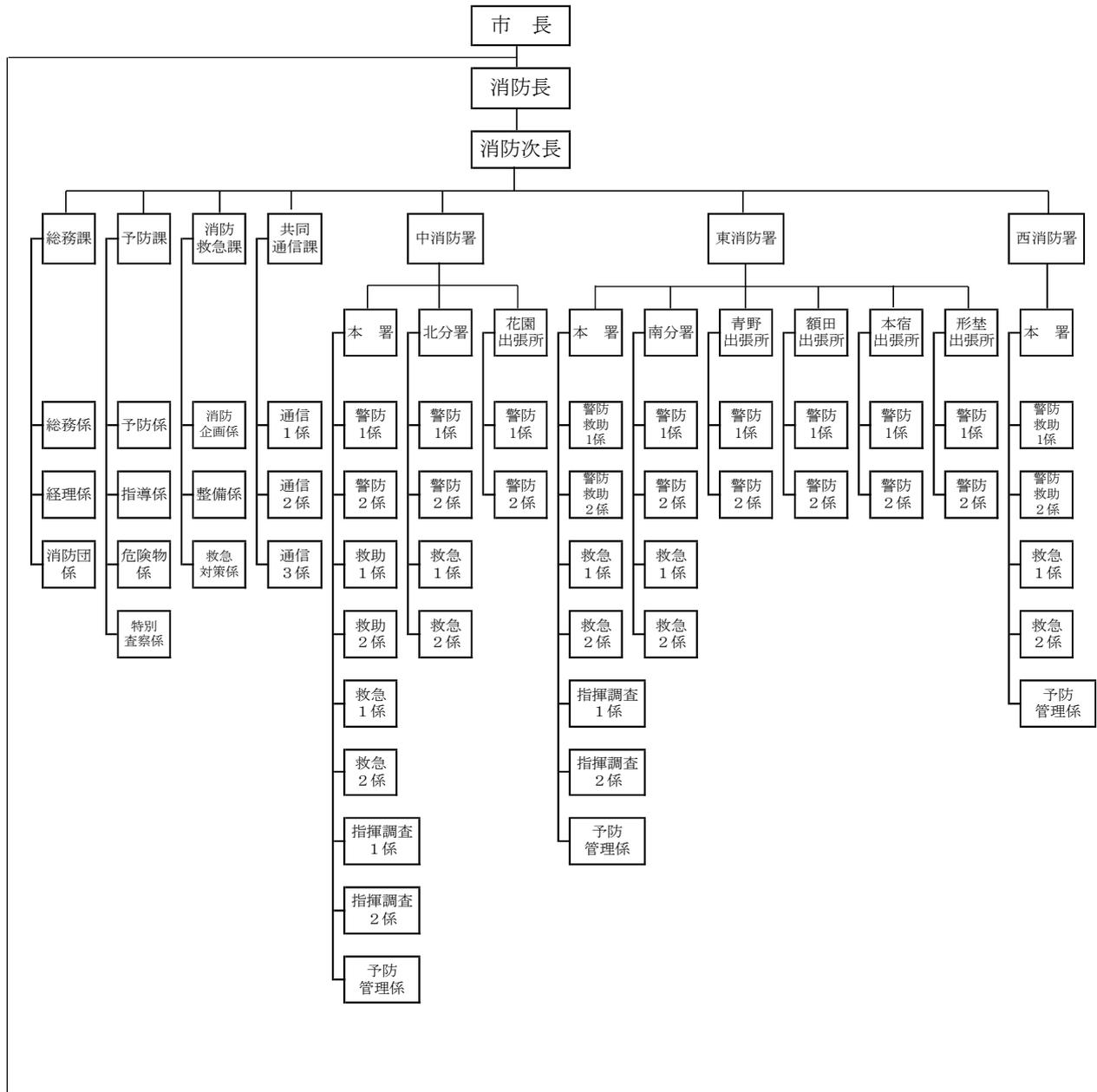
2 最近5年間における一般会計との比較

(単位：千円)

年 度	区 分	市一般会計歳出決算額	消防費歳出決算額	構成比(%)
平成31年度		131,165,549	4,037,513	3.1
令和 2 年度		170,969,073	3,967,973	2.3
令和 3 年度		140,662,822	3,825,989	2.7
令和 4 年度		142,982,918	4,312,220	3.0
令和 5 年度		143,602,430	4,483,352	3.1

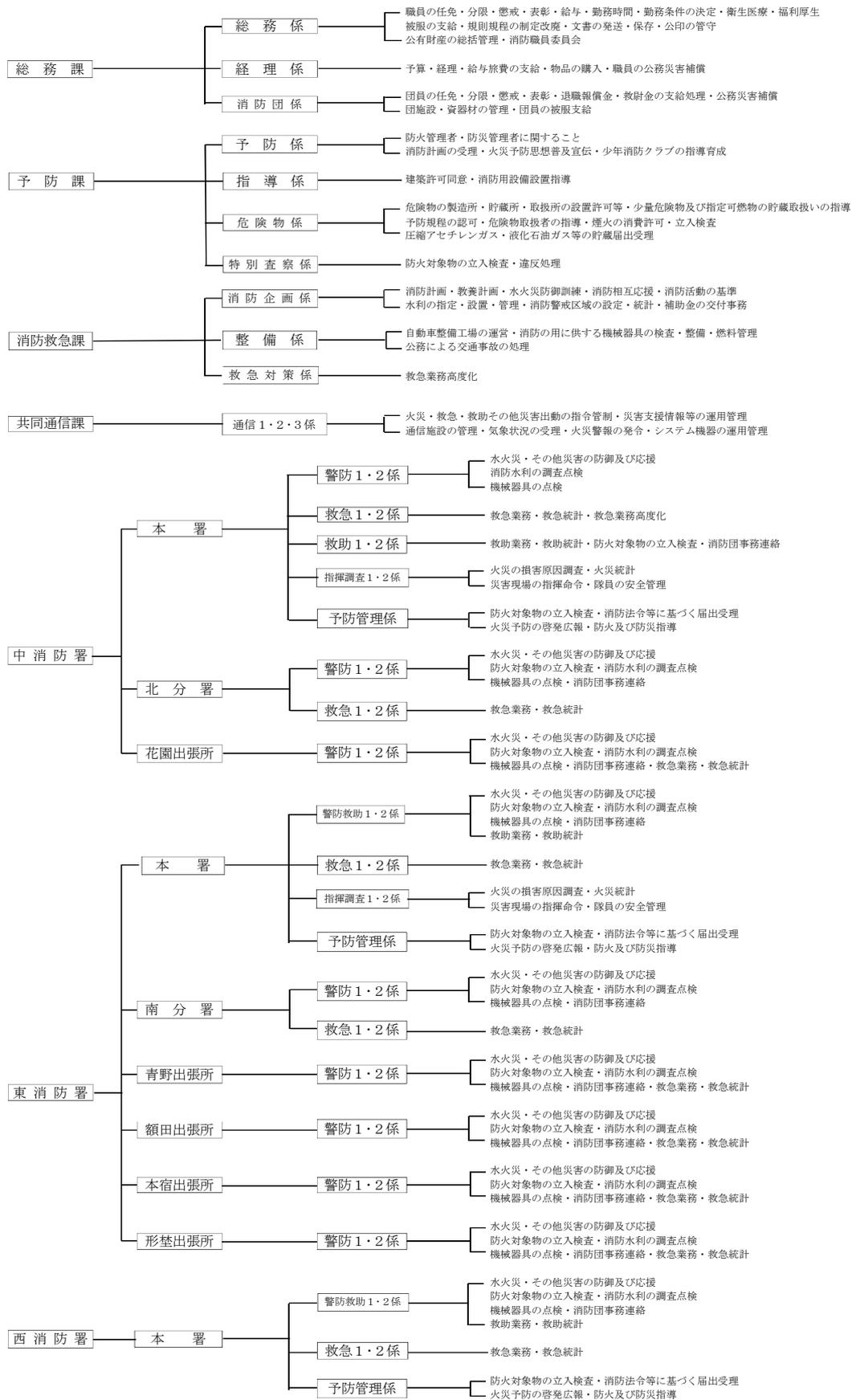
消 防 機 構

令和7年4月1日現在



消防団	団 名	部数	団 名	部数	団 名	部数
(21団)	広幡消防団	7	岡崎消防団	5	本宿消防団	3
	連尺消防団	4	美合消防団	4	河合消防団	5
	梅園消防団	3	男川消防団	4	常磐消防団	7
	根石消防団	3	福岡消防団	5	岩津消防団	13
	三島消防団	4	竜谷消防団	3	矢作消防団	5
	六名消防団	4	藤川消防団	3	六ツ美消防団	4
	羽根消防団	4	山中消防団	3	額田消防団	13
					合 計	106

事務分掌



消 防 現 勢

1 職員現有人員

令和7年4月1日現在

区 分	実 員
消 防 本 部	73人
中 消 防 署	116人
東 消 防 署	167人
西 消 防 署	47人
合 計	403人

※幸田町消防本部から共同通信課への出向者4人を含む。

※市民安全部防災課への出向者4人を除く。

※再任用職員を除く。

2 職員の配置状況

令和7年4月1日現在

階級別		消 防 吏 員							その他の職員	計			
		消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長			消防士		
消防本部	消防長	1									1		
	消防次長		1								1		
	総務課	総務長		1			4	1		1		14	
		経理係			1		1	1	1				
		消防団係				1	1	1					
	予防課	予防長		1							1	18	
		指導係			1	1		1	1				
		危険物係					1	1	2				
	消防救急課	特別査察係					2	1	1			14	
		課長		1									
		消防企画係			1	1	3						
	共同通信課	整備係					3		1			25	
		救急対策係				1	2	1					
		課長		1									
	中消防署	中消防署長		1								74	
本署		副署長兼務1課長			1								
		警防1係				1	3	3	1	6			
		救急1係					1	1	1	4			
		救助1係			1		1	1	2	2	1		
		指揮調査1係					1	1	2	1			
		予防管理係					1	1		1			
2課長				1									
警防2係						1	3	3	1	6			
救急2係					1		1	2	3				
救助2係						1	1	3	2				
指揮調査2係						1	1	2	1				
北分署		分署長			1								25
		警防1係				1	1	1	3	1			
		救急1係					1	1	1	1			
花園出張所	警防2係					1	1	2	1	2	17		
	救急2係					1	1	1	2				
	出張所長			1									
東消防署	東消防署長		1								56		
	本署	副署長兼務1課長			1								
		警防救助1係				1	1	5	2	5			
		救急1係					1	1	1	2			
		指揮調査1係					1	1	2	1			
		予防管理係					1	1	1				
		2課長			1								
	警防救助2係					1	2	3	3	5			
	救急2係				1		1	1	1	1			
	指揮調査2係					1	1	2	1				
	南分署	分署長			1								33
		警防1係				1	1	3	3	2			
		救急1係					1	1	2	2			
	青野出張所	警防2係				1	1	3	3	2			23
		救急2係					1	1	2	2			
出張所長				1									
額田出張所	警防1係				1	1	3	4	2		23		
	警防2係					2	3	4	2				
本宿出張所	出張所長			1							17		
	警防1係					3	1	2	2				
形埜出張所	警防2係					2	2	2	2		15		
	出張所長			1									
西消防署	西消防署長		1								47		
	本署	1課長			1								
		警防救助1係				1	1	3	4	5			
		救急1係				1	1	2	2				
		予防管理係					2	1					
		副署長兼務2課長			1								
	警防救助2係				1	1	3	4	4				
	救急2係				1	1	2	2					
	合計	1	8	26	37	77	101	90	62	1		403	

3 消防吏員の勤務年数状況

令和7年4月1日

階級別 年 数	計	消	消	消	消	消	消	消	消
		防 正 監	防 監	防 司 令 長	防 司 令	防 司 令 補	防 士 長	防 副 士 長	防 士
人 員	402	1	8	26	37	77	101	90	62
平 均 年 数	16.1	39.0	33.3	31.2	28.8	22.2	15.8	9.6	2.1
1 年 未 満	13								13
1 年 以 上 5 年 未 満	44								44
5 " 10 "	54							49	5
10 " 15 "	69						31	38	
15 " 20 "	77					17	57	3	
20 " 25 "	59			1	1	44	13		
25 " 30 "	50		2	10	25	13			
30 " 35 "	21		3	9	9				
35 年 以 上	15	1	3	6	2	3			

4 消防吏員の年齢状況

令和7年4月1日

階級別 年 齢	計	消	消	消	消	消	消	消	消
		防 正 監	防 監	防 司 令 長	防 司 令	防 司 令 補	防 士 長	防 副 士 長	防 士
人 員	402	1	8	26	37	77	101	90	62
平 均 年 齢	36.9	57.0	55.0	52.3	49.7	43.4	37.1	29.5	22.2
18 歳 以 上 20 歳 未 満	7								7
20 " 25 "	45								45
25 " 30 "	55							45	10
30 " 35 "	61						16	45	
35 " 40 "	77					3	74		
40 " 45 "	65					54	11		
45 " 50 "	36			3	16	17			
50 " 55 "	40		3	17	20				
55 " 60 "	13	1	5	6	1				
60 歳 以 上	3					3			

5 消防吏員の免許等資格所有状況

令和7年4月1日

階級別 種別	計	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士
大型特殊自動車免許	116	1	3	11	18	33	42	6	2
大型自動車免許	352	1	8	26	36	77	101	86	17
中型自動車免許	218	1	8	26	37	76	65	3	2
準中型自動車免許	117				1		39	76	1
普通自動車免許	69							14	55
自動2輪車免許	205	1	5	15	22	48	56	41	17
小型船舶操縦士	67	1	4	7	10	23	18	4	
危険物取扱者免状	204	1	6	16	18	52	65	37	9
第1級陸上特殊無線技士	9			1		5	2	1	
第2級陸上特殊無線技士	322			7	6	69	101	90	49
第3級陸上特殊無線技士	58		5	13	31	7	1		1
2級自動車整備士	13		1	1	3	5	3		
3級自動車整備士	29		1	4	5	12	5	1	1
予防技術資格者	30		3	5	4	10	8		
救急救命士	122	1	2	17	15	28	27	26	6
救急科救急Ⅱ課程・ 標準課程・救急課程	338	1	8	26	37	76	96	75	19
救助隊員資格	76	1	5	15	19	18	16	2	
潜水士免許	127	1	1	9	17	38	36	22	3
水上安全法救助員適任証	4		1		1		2		
酸素欠乏危険作業主任者 講習修了証	44			6	6	10	17	3	2
小型移動式クレーン技能講習 修了証	161	1	2	6	16	41	61	33	1
玉掛技能講習修了証	338	1	2	8	19	68	101	90	49
衛生管理者免許	15	1		3	1	5	5		

消防吏員402人

消防機械配備状況

1 配備状況一覧表

令和7年4月1日

種別		計	はしご付消防自動車	はしご付消防自動車	先端屈折式はしご付消防自動車	屈折はしご付消防ポンプ自動車	高所活動車	水槽付消防ポンプ自動車	消防ポンプ自動車	化学消防ポンプ自動車	小型動力ポンプ付水槽車	救急ポンプ自動車	救急自動車	広報自動車	連絡自動車	指揮指令車	支援車	大型水陸両用車	大型水陸両用車専用搬送車	起震車	資材運搬車	本部車	人員輸送車	消防二輪車	小型動力ポンプ	
計		84	1	1	1	1	1	10	4	2	4	3	15	22	5	2	1	1	1	1	3	1	1	3	4	
消防本部	総務課	4												1	2							1				
	予防課	6												5						1						
	消防救急課	8												5	1							2				2
	共同通信課	0																								
中消防署	本署	18	1					1	1	1	1	1	3	1	1	1	1	1	1		1		1	1		
	北分署	5				1		1	1				1	1												1
	花園出張所	3						1					1	1												
東消防署	本署	10			1			1			1	1	2	2		1									1	1
	南分署	6			1			1	1				2	1												
	青野出張所	3						1					1	1												
	額田出張所	4						1			1		1	1												
	本宿出張所	3						1					1	1												
	形埜出張所	3						1					1	1												
西消防署本署		11		1				1	1	1	1	1	2	1	1										1	

2 消防本部・消防署機械配備

令和7年4月1日

種別 所属	名 称	登録番号	機 械 区 分	車 名	購 入 年 月	経 過 年 数	艀 装 社名等
				型 式			
消 防 本 部	本 部 車	岡 崎 300す9304	乗 用 車	トヨタ DBA-GRS202	H20. 5	16	愛 知 トヨタ
	総務課連絡1号車	岡 崎 500せ7469	連 絡 車	三 菱 DBA-Z23W	H20. 10	16	愛知中央 三 菱
	総務課連絡2号車	岡 崎 300さ7450	〃	トヨタ GF-RZH111G	H13. 5	23	愛 知 トヨタ
	消防救急課連絡車	岡 崎 300は8526	〃	ニッサン 3BA-KS8E26	R4. 6	2	三河日産
	広報1号車	岡 崎 800さ3360	広 報 車	三 菱 5LA-GL3W	R5. 3	2	ミヤセ 自動車
	広報2号車	岡 崎 800さ2599	〃	トヨタ LDF-KDY231	H30. 9	6	愛 知 トヨタ
	広報3号車	岡 崎 800さ131	〃	トヨタ CBF-TRH200V	H18. 1	19	名 古 屋 トヨペット
	広報4号車	岡 崎 880あ44	〃	三菱 GBD-U62V改	H21. 1	16	平和機械
	広報5号車	岡 崎 800さ2273	〃	トヨタ DBA-ZRR85G	H28. 11	8	ネットヨタ 愛知
	広報6号車	岡 崎 800さ474	〃	トヨタ TC-TRY220	H17. 3	19	江川工業所
	予防1号車	岡 崎 800さ2908	〃	トヨタ 6AA-NHP170G	R2. 8	4	ネットヨタ 愛知
	予防2号車	岡 崎 880あ166	〃	ダイハツ EBD-S211P	H26. 12	10	三 河 ダイハツ
	予防4号車	岡 崎 800さ2337	〃	三 菱 DBA-GA4W	H29. 4	7	中部三菱
	予防5号車	岡 崎 800さ2274	〃	トヨタ DBA-ZRR85G	H28. 11	8	ネットヨタ 愛知
	起 震 車	岡 崎 800さ85	起 震 車	いすゞ PB-FRR35H3	H17. 11	19	カヤバ
	防火広報車	岡 崎 800さ79	広 報 車	ニッサン LC-VPE25	H15. 11	21	三河日産
	防 災 車	岡 崎 800さ117	資 材 運 搬 車	三 菱 PA-FE83DEY	H17. 2	20	三 菱 ふそう
	資機材運搬車	岡 崎 100さ644	〃	三 菱 PA-FE82DE	H18. 9	18	〃
			小型動力ポンプ	シバウラ FZ700	H28. 12	8	
			〃	トーハツ VC52B	H17. 9	19	

種別 所属	名 称	登録番号	機 械 区 分	車 名	購 入 年 月	経 過	艀 装 社名等
				型 式			
中 本 消 署 防 署	中はしご車	岡 崎 800は141	はしご付消防 自動車 (54m)	日 野 QPG-FW1AXEG改	H27. 3	10	モリタ
	中1号車	岡 崎 800は237	水槽付消防 ポンプ自動車	日 野 2KG-GX2ABA	R3. 1	4	日 本 ドライ
	中2号車	岡 崎 800さ2797	消防ポンプ自動車	日 野 2RG-XZU640M	R2. 1	5	〃
	中水槽車	岡 崎 800は155	小型動力ポンプ 付水槽車 (10t)	い す ゞ QDG-FVZ34U2	H27. 12	9	〃
			小型動力ポンプ	シバウラ FZ700	H27. 12	9	
	中化学車	岡 崎 800は77	化学消防 ポンプ自動車	日 野 BDG-GX7JGWA改	H21. 1	16	〃
	中救助工作車	岡 崎 800は82	救助工作車	日 野 BDG-GX7JGWA改	H21. 3	16	平和機械
	中救急1号車	岡 崎 800さ2622	高規格 救急自動車	トヨタ CBF-TRH226S	H30. 11	6	愛知 トヨタ
	中救急2号車	岡 崎 800さ2441	〃	トヨタ CBF-TRH226S	H29. 10	7	〃
	中救急4号車	岡 崎 800さ2269	高規格 救急自動車	トヨタ CBF-TRH226S	H28. 10	8	愛知 トヨタ
	人員輸送車	岡 崎 200さ350	マイクロバス 26人乗	トヨタ 2KG-GDB70	R5. 10	1	愛知 トヨタ
	中広報車	岡 崎 800さ118	広報車	ニッサン CBF-VHNY11	H18. 7	18	三河日産
	中連絡車	岡 崎 480あ2044	連絡車	三 菱 GBD-U61V	H19. 4	19	中部三菱
	中指揮指令車	岡 崎 800さ3722	指揮指令車	トヨタ 3BF-TRH226S	R6. 12	0	平和機械
	支援車	岡 崎 800は107	支援車	日 野 BDG-FQ1EWYG	H23. 2	14	第一実業
	大型水陸両用車	岡 崎 900さ33	大型水陸両用車	STKinetics 不 明	H25. 3	12	いすゞ 首都圏
	大型水陸両用車	岡 崎 800は122	大型水陸両用車 専用搬送車	い す ゞ QKG-CYH77A	H25. 3	12	〃
	資機材搬送車	岡 崎 800さ1662	資材運搬車	三 菱 TKG-FGB70	H25. 2	12	第一実業
	中消防二輪車	1 岡 崎 あ 1588	消防二輪車	ヤ マ ハ JBK-DG17J	H20. 12	16	ヤマハ 発動機
	北 分 署	北高所活動車	岡 崎 800さ1165	高所活動車	日 野 BDG-XZU334M	H22. 2	15
北1号車		岡 崎 800は115	水槽付消防 ポンプ自動車	日 野 SDG-GX7JGAA改	H24. 3	13	日 本 ドライ
北2号車		岡 崎 800さ1793	消防ポンプ自動車	日 野 TKG-XZU640M	H25. 10	11	小 川 ポンプ
北救急1号車		岡 崎 800さ2781	高規格 救急自動車	トヨタ CBF-TRH226S	R1. 12	5	愛知 トヨタ
北広報車		岡 崎 800さ825	広報車	三 菱 ABF-KB9T	H20. 9	16	愛知中央 三 菱

種別 所属	名 称	登録番号	機 械 区 分	車 名	購 入 年 月	経 過	艀 装 社名等	
				型 式				
中 消 防 署	北分署		小型動力ポンプ	トーハツ	H17.9	19		
				VC52B				
	花園出張所	花園1号車	岡崎 800は139	水槽付消防 ポンプ自動車	日野 SDG-GX7JGAA改	H27.3	10	日本 ドライ
	花園救急1号車	岡崎 800さ3745	高規格 救急自動車	ニッサン 3BF-CS8E26改	R7.2	0	愛知 日産	
	花園広報車	岡崎 800さ159	広報車	三菱 TA-H77W	H17.9	19	愛知中央 三菱	
東 本 署	東屈折はしご車	岡崎 800は218	屈折はしご付消防 ポンプ自動車 (25m)	日野	R1.11	5	モリタ	
				2PG-FH1AGA改				
	東1号車	岡崎 800は201	水槽付消防 ポンプ自動車	いすゞ 2PG-FSS90S2	H30.3	7	日本 ドライ	
	東水槽車	岡崎 800は134		小型動力ポンプ 付水槽車 (10t)	日野 LDG-GK8JLAA	H26.12	10	"
				小型動力ポンプ	トーハツ VF63AS	H26.12	10	
	東救助工作車	岡崎 800は117	救助工作車	日野 SDG-GX7JGAA改	H24.3	13	平和機械	
	東救急1号車	岡崎 800さ3744	高規格 救急自動車	ニッサン 3BF-CS8E26改	R7.2	0	愛知 日産	
	東救急4号車	岡崎 800さ2270	高規格 救急自動車	トヨタ CBF-TRH226S	H28.10	8	愛知 トヨタ	
	東指揮指令車	岡崎 800さ3364	指揮指令車	トヨタ 3BF-TRH226S	R5.3	2	平和機械	
	東広報1号車	岡崎 800さ2081	広報車	トヨタ LDF-KDY231	H27.9	9	愛知 トヨタ	
	東広報2号車	岡崎 800さ2820	広報車	トヨタ DBA-NSP170G	R2.3	5	"	
	東消防二輪車	1岡崎 あ1589	消防二輪車	ヤマハ	H20.12	16	ヤマハ 発動機	
				JBK-DG17J				
		小型動力ポンプ	トーハツ VE90AS	R6.1	1			
防 南 分 署	南はしご車	岡崎 800は265	先端屈折式はしご付 消防自動車 (30m)	日野	R6.1	1	モリタ	
				2DG-PR1APJF				
	南1号車	岡崎 800は116	水槽付消防 ポンプ自動車	日野 SDG-GX7JGAA改	H24.3	13	日本 ドライ	
	南2号車	岡崎 800さ1634	消防ポンプ自動車	日野 SKG-XZU640M	H24.12	12	"	
	南救急1号車	岡崎 800さ3189	高規格 救急自動車	トヨタ	R4.3	2	愛知 トヨタ	
				3BF-TRH226S				
南救急2号車	岡崎 800さ2954	"	トヨタ 3BF-TRH226S	R2.12	4	"		
南広報車	岡崎 800さ1921	広報車	ホンダ DAA-GP3	H26.8	9	ホンダカーズ 三河		
青 野 出 張 所	青野1号車	岡崎 800は106	水槽付消防 ポンプ自動車	日野 BDG-GX7JGWA改	H22.12	14	日本 ドライ	
	青野救急1号車	岡崎 800さ3124	高規格 救急自動車	トヨタ 3BF-TRH226S	R3.10	3	愛知 トヨタ	
	青野広報車	岡崎 800さ2227	広報車	トヨタ LDF-KDY231	H28.8	8	"	

種別 所属	名 称	登録番号	機 械 区 分	車 名	購 入 年 月	経 過	機 装 社名等	
				型 式				
東 額田出張所 消	額田1号車	岡 崎 800は162	水槽付消防 ポンプ自動車	いすゞ SKG-FSS90S2	H28. 3	9	平和機械	
	額田水槽車	岡 崎 800は126	小型動力ポンプ 付水槽車 (5t)	日 野 QKG-FE7JGAA	H26. 3	11	日 本 ドライ	
			小型動力ポンプ	トーハツ VF63AS	H26. 3	11		
	額田救急1号車	岡 崎 800さ3503	高 規 格 救 急 自 動 車	トヨタ 3BF-TRH226S	R5. 10	1	愛 知 トヨタ	
	額田広報車	岡 崎 800さ2080	広 報 車	トヨタ LDF-KDY231	H27. 9	9	〃	
	本宿出張所	本宿1号車	岡 崎 800は28	水槽付消防 ポンプ自動車	日 野 PB-FT8JGFL改	H17. 11	19	日 本 ドライ
		本宿救急1号車	岡 崎 800さ3123	高 規 格 救 急 自 動 車	トヨタ 3BF-TRH226S	R3. 10	3	愛 知 トヨタ
		本宿広報車	岡 崎 800さ824	広 報 車	三 菱 ABF-KB9T	H20. 9	16	愛知中央 三 菱
	形埜出張所	形埜1号車	岡 崎 800は81	水槽付消防 ポンプ自動車	日 野 BDG-GX7JGWA改	H21. 3	16	日 本 ドライ
		形埜救急1号車	岡 崎 800さ2781	高 規 格 救 急 自 動 車	トヨタ CBF-TRH226S	R1. 12	5	愛 知 トヨタ
		形埜広報車	岡 崎 800さ2617	広 報 車	トヨタ QDF-GDH206V	H30. 11	6	ネットヨタ 愛 知
	西 本 防 署	西はしご車	岡 崎 800は196	はしご付消防 自動車 (40m)	日 野 2DG-PR1APJF	H29. 10	7	モリタ
西化学車		岡 崎 800は177	化 学 消 防 ポンプ自動車	いすゞ SKG-FSS90S2	H29. 1	8	日 本 ドライ	
西2号車		岡 崎 800さ178	消防ポンプ自動車	三 菱 KK-FG72EC	H15. 12	21	〃	
西4号車		岡 崎 800は23	水槽付消防 ポンプ自動車	日 野 PB-FT8JGFL改	H17. 11	19	〃	
西水槽車		岡 崎 800は99	小型動力ポンプ 付水槽車 (7t)	日 野 BDG-FR1AKXA	H22. 3	15	〃	
			小型動力ポンプ	トーハツ VF63AS	H22. 3	15		
西救助工作車		岡 崎 800は263	救 助 工 作 車	日 野 2KG-GX2ABA	R5. 8	1	平和機械	
西救急1号車		岡 崎 800さ2780	高 規 格 救 急 自 動 車	トヨタ CBF-TRH226S	R1. 12	5	愛 知 トヨタ	
西救急2号車		岡 崎 800さ2440	〃	トヨタ CBF-TRH226S	H29. 10	7	〃	
西広報1号車		岡 崎 800さ502	広 報 車	三 菱 ABF-KB9T	H19. 10	17	愛知中央 三 菱	
西広報2号車		岡 崎 800さ27	〃	トヨタ CBA-ZZT241W	H17. 2	20	愛 知 トヨタ	
西消防二輪車		1 岡 崎 あ 1590	消防二輪車	ヤ マ ハ JBK-DG17J	H20. 12	16	ヤ マ ハ 発 動 機	

3 消防団機械配備

消防団に消防ポンプ車(A-2級)1台、小型動力ポンプ付積載車(B-2級)34台、小型動力ポンプ積載車55台、軽積載車21台、小型動力ポンプ(B-1級)1台、小型動力ポンプ(B-2級)2台、小型動力ポンプ(B-3級)80台を分散配備している。

令和7年4月1日

種別 所属	登録番号	機械区分	車名	購入 年月	経過 年数	無線種別	所在地
			型式				
広幡消防団 第1部	岡崎 800さ454	小型動力ポンプ 付積載車	トヨタ	H18.2	19	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	伊賀町
			TC-TRY230				
			トーハツ VC72AM				
第2部	岡崎 800さ295	積載車	トヨタ	H15.10	21	受令機 簡易デジタル無線機	六供町
		GE-RZY220					
		小型動力ポンプ	トーハツ	H29.1	8		
		VC42AS					
第3部	岡崎 800さ417	小型動力ポンプ 付積載車	トヨタ	H16.1	21	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	井田町
			TC-TRY230				
			シバウラ SF755EH				
第4部	岡崎 800さ10	積載車	トヨタ	H16.10	20	受令機 簡易デジタル無線機	真伝町
		TC-TRY220					
		小型動力ポンプ	トーハツ	H21.11	15		
		VC42A					
第5部	岡崎 800さ360	積載車	トヨタ	H18.1	19	受令機 簡易デジタル無線機	伊賀町
		TC-TRY220					
		小型動力ポンプ	トーハツ	H20.11	16		
		VC42A					
第6部	岡崎 800さ583	小型動力ポンプ 付積載車	トヨタ	H20.1	17	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	松本町
			ABF-TRY230				
			シバウラ SF756EZ				
第7部	岡崎 880あ391	軽積載車	ダイハツ	R6.2	1	受令機 簡易デジタル無線機	日名本町
		3BD-S710W					
		小型動力ポンプ	シバウラ	H23.1	14		
		SF651MZ					
連尺消防団 第1部	岡崎 800さ3776	小型動力ポンプ 付積載車	トヨタ	R7.3	0	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	康生通西 3丁目
			3BF-TRY230				
			シバウラ FS500RC				
第2部	岡崎 800さ298	小型動力ポンプ 付積載車	トヨタ	H17.10	19	受令機 簡易デジタル無線機	八帖町
			TC-TRY230				
			シバウラ SF755EH				
第3部	岡崎 800さ12	積載車	トヨタ	H16.10	20	受令機 簡易デジタル無線機	板屋町
		TC-TRY220					
		小型動力ポンプ	トーハツ	H19.9	17		
		VC42A					
第4部	岡崎 800さ25	積載車	トヨタ	H16.10	20	受令機 簡易デジタル無線機	八帖北町
		TC-TRY220					
		小型動力ポンプ	トーハツ	H25.1	12		
		VC42AS					
梅園消防団 第1部	岡崎 800さ301	小型動力ポンプ 付積載車	トヨタ	H17.10	19	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	稲熊町
			TC-TRY230				
			シバウラ SF755EH				
第2部	岡崎 800さ471	積載車	トヨタ	H17.3	20	受令機 簡易デジタル無線機	六地藏町 1丁目
		TC-TRY220					
		小型動力ポンプ	トーハツ	H30.12	6		
		VC42AS					

種別 所属	登録番号	機械区分	車名	購入 年月	経過	無線種別	所在地
			型式				
梅園消防団 第3部	岡崎 800さ297	積載車	トヨタ GE-RZY220	H15.10	21	受令機 簡易デジタル無線機	稲熊町
		小型動力ポンプ	トーハツ VC42AS	H30.12	6		
根石消防団 第1部	岡崎 800さ181	小型動力ポンプ 付積載車	トヨタ TC-TRY230	H19.1	18	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	中町
			トーハツ VC72AM	H19.1	18		
第2部	岡崎 800さ359	積載車	トヨタ TC-TRY220	H18.1	19	受令機 簡易デジタル無線機	欠町
		小型動力ポンプ	トーハツ VC42A	H21.11	15		
第3部	岡崎 800さ19	積載車	トヨタ TC-TRY220	H16.10	20	受令機 簡易デジタル無線機	小呂町
		小型動力ポンプ	トーハツ VC42A	H19.9	16		
三島消防団 第1部	岡崎 800さ416	小型動力ポンプ 付積載車	トヨタ TC-TRY230	H16.1	21	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	明大寺 本町
			シバウラ SF755EH	H16.1	21		
第2部	岡崎 800さ320	積載車	トヨタ GE-RZY220	H15.10	21	受令機 簡易デジタル無線機	菅生町
		小型動力ポンプ	シバウラ SF651MZ	H24.1	13		
第3部	岡崎 800さ300	積載車	トヨタ TC-TRY220	H17.10	19	受令機 簡易デジタル無線機	明大寺町
		小型動力ポンプ	トーハツ VC42AS	H26.1	11		
第4部	岡崎 800さ2958	積載車	ニッサン CBF-SQ1F24	R2.12	4	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	大西 1丁目
		小型動力ポンプ	トーハツ VF53BS	R7.3	0		
六名消防団 第1部	岡崎 800さ182	小型動力ポンプ 付積載車	トヨタ TC-TRY230	H19.1	18	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	上六名 2丁目
			トーハツ VC72AM	H19.1	18		
第2部	岡崎 800さ311	積載車	トヨタ TC-TRY220	H17.10	19	受令機 簡易デジタル無線機	六名 1丁目
		小型動力ポンプ	トーハツ VC42A	H18.12	18		
第3部	岡崎 800さ306	積載車	トヨタ GE-RZY220	H15.10	21	受令機 簡易デジタル無線機	明大寺町
		小型動力ポンプ	トーハツ VC42A	H20.11	16		
第4部	岡崎 800さ13	積載車	トヨタ TC-TRY220	H16.10	20	受令機 簡易デジタル無線機	久後崎町
		小型動力ポンプ	シバウラ SF651MZ	H23.1	14		
羽根消防団 第1部	岡崎 800さ584	小型動力ポンプ 付積載車	トヨタ ABF-TRY230	H20.1	17	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	柱町
			シバウラ SF756EZ	H20.1	17		
第2部	岡崎 800さ2959	積載車	ニッサン CBF-SQ1F24	R2.12	4	受令機 簡易デジタル無線機	戸崎町
		小型動力ポンプ	トーハツ VC42A	H20.11	16		
第3部	岡崎 880あ330	軽積載車	ダイハツ 3BD-S331W	R4,3	3	受令機 簡易デジタル無線機	庄司田 1丁目
		小型動力ポンプ	トーハツ V55BSX	H12,10	24		

種別 所属	登録番号	機械区分	車名	購入 年月	経過	無線種別	所在地
			型式				
羽根消防団 第4部	岡崎 800さ367	積載車	トヨタ TC-TRY220	H15.12	21	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	羽根町
		小型動力ポンプ	トーハツ VC42AS	H29.1	8		
岡崎消防団 第1部	岡崎 800さ315	小型動力ポンプ 付積載車	トヨタ GE-RZY230	H15.10	21	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	柱6丁目
			シバウラ SF755EH	H15.10	21		
第2部	岡崎 800さ4	積載車	トヨタ TC-TRY220	H16.10	20	受令機 簡易デジタル無線機	羽根西 2丁目
		小型動力ポンプ	トーハツ VC42AS	H30.1	7		
第3部	岡崎 800さ1333	積載車	トヨタ ABF-TRY220	H23.1	14	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	天白町
		小型動力ポンプ	シバウラ FK400	R2.1	5		
第4部	岡崎 800さ382	積載車	トヨタ TC-TRY220	H15.12	21	受令機 簡易デジタル無線機	若松町
		小型動力ポンプ	トーハツ VC42AS	H25.1	12		
第5部	岡崎 880あ389	軽積載車	ダイハツ 3BD-S710W	R6.2	1	受令機 簡易デジタル無線機	針崎町
		小型動力ポンプ	トーハツ VC42AS	H29.1	8		
美合消防団 第1部	岡崎 800さ1336	小型動力ポンプ 付積載車	トヨタ ABF-TRY230	H23.1	14	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	美合町
			トーハツ VF63AS	H23.1	14		
第2部	岡崎 800さ383	積載車	トヨタ TC-TRY220	H18.1	19	受令機 簡易デジタル無線機	緑丘 3丁目
		小型動力ポンプ	トーハツ VC42AS	H27.2	10		
第3部	岡崎 880あ411	軽積載車	ダイハツ 3BD-S710W	R7.1	0	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	岡町
		小型動力ポンプ	トーハツ VF53BS	R6.1	1		
第4部	岡崎 880あ359	軽積載車	ダイハツ 3BD-S710W	R4.11	2	受令機 簡易デジタル無線機	保母町
		小型動力ポンプ	トーハツ VC42AS	H30.1	7		
男川消防団 第1部	岡崎 800さ929	小型動力ポンプ 付積載車	トヨタ ABF-TRY230	H21.1	16	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	大平町
			トーハツ VF63AS	H21.1	16		
第2部	岡崎 800さ313	積載車	トヨタ GE-RZY220	H15.10	21	受令機 簡易デジタル無線機	洞町
		小型動力ポンプ	トーハツ VC42A	H19.9	17		
第3部	岡崎 800さ861	積載車	トヨタ ABF-TRY220	H20.10	16	受令機 簡易デジタル無線機	丸山町
		小型動力ポンプ	トーハツ VC52B	H17.10	19		
第4部	岡崎 800さ318	積載車	トヨタ TC-TRY220	H17.10	19	受令機 簡易デジタル無線機	小美町
		小型動力ポンプ	トーハツ VC42AS	R2.12	4		
福岡消防団 第1部	岡崎 800さ75	小型動力ポンプ 付積載車	トヨタ TC-TRY230	H16.11	20	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	福岡町
			トーハツ VC72AM	H16.11	20		

種別 所属	登録番号	機械区分	車名	購入 年月	経過	無線種別	所在地
			型式				
福岡消防団 第2部	岡崎 800さ293	積載車	トヨタ GE-RZY220	H15.10	21	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	若松東 1丁目
		小型動力ポンプ	トーハツ VC42A	H20.11	16		
第3部	岡崎 800さ412	積載車	トヨタ TC-TRY220	H18.1	19	受令機 簡易デジタル無線機	福岡町
		小型動力ポンプ	トーハツ VC42A	H20.11	16		
第4部	岡崎 880あ393	軽積載車	ダイハツ 3BD-S710W	R6.2	1	受令機 簡易デジタル無線機	福岡町
		小型動力ポンプ	トーハツ VF53BS	R6.1	1		
第5部	岡崎 800さ17	積載車	トヨタ TC-TRY220	H16.10	20	受令機 簡易デジタル無線機	上地 1丁目
		小型動力ポンプ	シバウラ FK400	R2.1	5		
竜谷消防団 第1部	岡崎 800さ59	小型動力ポンプ 付積載車	トヨタ TC-TRY230	H16.11	20	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	桑谷町
			トーハツ VC72AM	H16.11	20		
第2部	岡崎 800さ47	積載車	トヨタ TC-TRY220	H16.10	20	受令機 簡易デジタル無線機	桑谷町
		小型動力ポンプ	トーハツ VC42AS	H27.11	9		
第3部	岡崎 800さ372	積載車	トヨタ TC-TRY220	H15.12	21	受令機 簡易デジタル無線機	竜泉寺町
		小型動力ポンプ	トーハツ V55BSX	H12.10	24		
藤川消防団 第1部	岡崎 800さ302	小型動力ポンプ 付積載車	トヨタ GE-RZY230	H15.10	21	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	藤川町
			シバウラ SF755EH	H15.10	21		
第2部	岡崎 880あ331	軽積載車	ダイハツ 3BD-S331W	R4.3	3	受令機 簡易デジタル無線機	蓑川町
		小型動力ポンプ	トーハツ VC42AS	R5.3	2		
第3部	岡崎 800さ29	積載車	トヨタ GE-YY101	H12.10	24	受令機 簡易デジタル無線機	市場町
		小型動力ポンプ	トーハツ VC42A	H18.12	18		
山中消防団 第1部	岡崎 800さ307	小型動力ポンプ 付積載車	トヨタ TC-TRY230	H17.10	19	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	山綱町
			シバウラ SF755EH	H17.10	19		
第2部	岡崎 880あ332	軽積載車	ダイハツ 3BD-S331W	R4.3	3	受令機 簡易デジタル無線機	羽栗町
		小型動力ポンプ	トーハツ VC42AS	H26.1	11		
第3部	岡崎 800さ21	積載車	トヨタ GE-YY101	H12.10	24	受令機 簡易デジタル無線機	池金町
		小型動力ポンプ	トーハツ VC42AS	R2.12	4		
本宿消防団 第1部	岡崎 800さ1812	小型動力ポンプ 付積載車	ニッサン CBF-SQ2F24	H25.12	11	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	本宿町
			シバウラ SF756EZ	H25.12	11		
第2部	岡崎 880あ334	軽積載車	ダイハツ 3BD-S331W	R4.3	3	受令機 簡易デジタル無線機	上衣文町
		小型動力ポンプ	トーハツ VC42AS	R4.3	3		

種別 所属	登録番号	機械区分	車名	購入 年月	経過	無線種別	所在地
			型式				
本宿消防団 第3部	岡崎 880あ360	軽積載車	ダイハツ 3BD-S710W	R4.11	2	受令機 簡易デジタル無線機	鷗巣町
		小型動力ポンプ	トーハツ VC42AS	R5.3	2		
河合消防団 第1部	岡崎 800さ413	小型動力ポンプ 付積載車	トヨタ TC-TRY230	H16.1	21	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	生平町
			シバウラ SF755EH	H16.1	21		
第2部	岡崎 800さ314	積載車	トヨタ TC-TRY220	H17.10	19	受令機 簡易デジタル無線機	蓬生町
		小型動力ポンプ	シバウラ SF651MZ	H24.1	13		
第3部	岡崎 800さ482	積載車	トヨタ TC-TRY220	H19.9	17	受令機 簡易デジタル無線機	須淵町
		小型動力ポンプ	トーハツ VF53BS	R6.1	1		
第4部	岡崎 800さ370	積載車	トヨタ TC-TRY220	H18.1	19	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	秦梨町
		小型動力ポンプ	トーハツ VC42AS	H30.12	6		
第5部	岡崎 800さ378	積載車	トヨタ TC-TRY220	H18.1	19	受令機 簡易デジタル無線機	才栗町
		小型動力ポンプ	シバウラ FK400	R2.1	5		
常磐消防団 第1部	岡崎 800さ1813	小型動力ポンプ 付積載車	ニッサン CBF-SQ2F24	H25.12	11	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	滝町
			シバウラ SF756EZ	H25.12	11		
第2部	岡崎 800さ221	積載車	トヨタ TC-TRY220	H17.3	20	受令機 簡易デジタル無線機	滝町
		小型動力ポンプ	トーハツ VC42A	H21.11	15		
第3部	岡崎 880あ362	軽積載車	ダイハツ 3BD-S710W	R4.11	2	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	米河内町
		小型動力ポンプ	トーハツ VC42A	H18.12	18		
第4部	岡崎 800さ296	積載車	トヨタ TC-TRY220	H17.10	19	受令機 簡易デジタル無線機	安戸町
		小型動力ポンプ	トーハツ VC42AS	H29.1	8		
第5部	岡崎 800さ2962	積載車	ニッサン CBF-SQ1F24	R2.12	4	受令機 簡易デジタル無線機	大柳町
		小型動力ポンプ	トーハツ VC52B	H17.10	19		
第6部	岡崎 800さ321	積載車	トヨタ TC-TRY220	H17.10	19	受令機 簡易デジタル無線機	大井野町
		小型動力ポンプ	トーハツ VC42AS	H30.1	7		
第7部	岡崎 800さ862	積載車	トヨタ ABF-TRY220	H20.10	16	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	田口町
		小型動力ポンプ	トーハツ VC42AS	H27.11	9		
岩津消防団 第1部	岡崎 800さ1521	小型動力ポンプ 付積載車	トヨタ ABF-TRY230	H24.3	13	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	鴨田町
			シバウラ SF756EZ	H24.3	13		
第2部	岡崎 800さ455	"	トヨタ TC-TRY230	H18.2	19	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	奥殿町
			トーハツ VC72AM	H18.2	19		

種別 所属	登録番号	機械区分	車名	購入 年月	経過	無線種別	所在地
			型式				
岩津消防団 第3部	岡崎 880あ336	軽積載車	ダイハツ 3BD-S331W	R4.3	3	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	大門 2丁目
		小型動力ポンプ	トーハツ VC42AS	H27.11	9		
第4部	岡崎 800さ2963	積載車	ニッサン CBF-SQ1F24	R2.12	4	受令機 簡易デジタル無線機	百々町
		小型動力ポンプ	シバウラ FK400	R2.1	5		
第5部	岡崎 800さ3600	小型動力ポンプ 付積載車	トヨタ 3BF-TRY230	R6.6	0	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	岩津町
			シバウラ FS500RC	R6.6	0		
第6部	岡崎 880あ361	軽積載車	ダイハツ 3BD-S710W	R4.11	2	受令機 簡易デジタル無線機	宮石町
		小型動力ポンプ	トーハツ VC42AS	H30.12	6		
第7部	岡崎 800さ384	積載車	トヨタ TC-TRY220	H15.12	21	受令機 簡易デジタル無線機	真福寺町
		小型動力ポンプ	トーハツ VC42AS	H30.12	6		
第8部	岡崎 800さ6	積載車	トヨタ GE-YY101	H12.10	24	受令機 簡易デジタル無線機	恵田町
		小型動力ポンプ	トーハツ VC42AS	R2.12	4		
第9部	岡崎 800さ368	積載車	トヨタ TC-TRY220	H15.12	21	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	駒立町
		小型動力ポンプ	トーハツ VC42AS	H30.12	6		
第10部	岡崎 880あ363	軽積載車	ダイハツ 3BD-S710W	R4.11	2	受令機 簡易デジタル無線機	仁木町
		小型動力ポンプ	トーハツ VC42AS	H27.2	10		
第11部	岡崎 800さ78	小型動力ポンプ 付積載車	トヨタ TC-TRY230	H16.11	20	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	細川町
			トーハツ VC72AM	H16.11	20		
第12部	岡崎 800さ2965	積載車	ニッサン CBF-SQ1F24	R2.12	4	受令機 簡易デジタル無線機	日影町
		小型動力ポンプ	トーハツ V55BSX	H12.10	24		
第13部	岡崎 800さ380	積載車	トヨタ TC-TRY220	H15.12	21	受令機 簡易デジタル無線機	桑原町
		小型動力ポンプ	トーハツ VC42AS	H29.1	8		
矢作消防団 第1部	岡崎 800さ71	小型動力ポンプ 付積載車	トヨタ TC-TRY230	H16.11	20	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	矢作町
			トーハツ VC72AM	H16.11	20		
第2部	岡崎 800さ3346	"	トヨタ 3BF-TRY230	R5.2	2	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	宇頭町
			トーハツ VF63AS-Ti	R5.2	2		
第3部	岡崎 800さ183	"	トヨタ TC-TRY230	H19.1	18	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	大和町
			トーハツ VC72AM	H19.1	18		
第4部	岡崎 800さ1639	"	ニッサン CBF-SQ2F24	H24.12	12	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	北野町
			トーハツ VF63AS	H24.12	12		

種別 所属	登録番号	機械区分	車名	購入 年月	経過	無線種別	所在地
			型式				
矢作消防団 第5部	岡崎 800さ1156	"	トヨタ	H22.2	15	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	橋目町
			ABF-TRY230				
			シバウラ	H22.2	15		
六ツ美消防団 第1部	岡崎 800さ1976	小型動力ポンプ 付積載車	ニッサン	H27.2	10	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	井内町
			CBF-SQ2F24				
			シバウラ	H27.2	10		
第2部	岡崎 800さ61	"	トヨタ	H16.11	20	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	下青野町
			TC-TRY230				
			トーハツ	H16.11	20		
第3部	岡崎 800さ319	"	トヨタ	H17.10	19	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	中島町
			TC-TRY230				
			シバウラ	H17.10	19		
第4部	岡崎 800さ184	"	トヨタ	H19.1	18	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	赤渋町
			TC-TRY230				
			トーハツ	H19.1	18		
額田消防団 第1部	岡崎 800さ3347	小型動力ポンプ 付積載車	トヨタ	R5.2	2	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	檜山町
			3BF-TRY230				
			トーハツ	R5.2	2		
	VF63AS-Ti						
800さ346	積載車	トヨタ	H17.11	19	受令機 簡易デジタル無線機		
		TC-TRY220					
小型動力ポンプ	VC42AS	トーハツ	H27.11	9			
		VC42AS					
第2部	岡崎 800さ2794	積載車	ニッサン	R2.1	5	受令機 簡易デジタル無線機	牧平町
			CBF-SQ2F24				
小型動力ポンプ	FK400	シバウラ	R2.1	5			
		FK400					
第3部	岡崎 880あ335	軽積載車	ダイハツ	R4.3	3	受令機 簡易デジタル無線機	滝尻町
			3BD-S331W				
	小型動力ポンプ	VC42AS	トーハツ	R4.3	3		
VC42AS							
"	VC6201	トーハツ	H13.12	23		鳥川町	
		VC6201					
第4部	岡崎 880あ412	軽積載車	ダイハツ	R7.1	0	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	夏山町 柿平
			3BD-S710W				
	小型動力ポンプ	V6201	トーハツ	H13.12	23		
V6201							
"	V6201	トーハツ	H15.12	21		夏山町 寺野	
		V6201					
第5部	岡崎 800さ415	積載車	トヨタ	H14.1	23	受令機 簡易デジタル無線機	大代町
			GE-RZY220				
小型動力ポンプ	V6201	トーハツ	H13.12	23			
		V6201					
第6部	岡崎 800さ1832	積載車	いすゞ	H26.2	11	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	明見町
			TKG-NHS85AN				
小型動力ポンプ	SF756AZi	シバウラ	H26.2	11			
		SF756AZi					

種別 所属	登録番号	機械区分	車名	購入 年月	経過	無線種別	所在地
			型式				
額田消防団 第7部	岡崎 800さ115	積載車	トヨタ	H16.12	20	受令機 簡易デジタル無線機	石原町
			TC-TRY220				
		小型動力ポンプ	トーハツ	H30.1	7		
			VC42AS				
	岡崎 880あ392	軽積載車	ダイハツ	R6.2	1	受令機 簡易デジタル無線機	千万町町
3BD-S710W							
	小型動力ポンプ	トーハツ	R7.3	0			
		VF53BS					
	"	トーハツ	H16.11	20		木下町	
		VC6201					
第8部	岡崎 800さ347	積載車	トヨタ	H17.11	19	受令機 簡易デジタル無線機	中伊町
			TC-TRY220				
		小型動力ポンプ	トーハツ	H15.12	21		
			V6201				
	岡崎 880あ79	軽積載車	ダイハツ	H22.12	14	受令機 簡易デジタル無線機	中伊西町
EBD-S331W							
	小型動力ポンプ	トーハツ	H22.12	14			
		VF63AS					
岡崎 800さ162	積載車	トヨタ	H15.1	22	受令機 簡易デジタル無線機	外山町	
		GE-RZY220					
	小型動力ポンプ	トーハツ	R2.12	4			
		VC42AS					
第9部	岡崎 800さ3640	積載車	トヨタ	R6.8	0	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	桜形町
			3BF-TRY230				
		小型動力ポンプ	トーハツ	R6.8	0		
VE90AS							
	"	トーハツ	H13.12	23			
		V6201					
第10部	岡崎 800さ143	積載車	トヨタ	H16.12	20	受令機 簡易デジタル無線機	鍛埜町
			TC-TRY220				
	小型動力ポンプ	トーハツ	H30.1	7			
		VC42AS					
第11部	岡崎 880あ25	軽積載車	ダイハツ	H20.1	17	受令機 簡易デジタル無線機	切山町
			LE-S330W				
		小型動力ポンプ	トーハツ	H29.1	8		
			VC42AS				
	岡崎 880あ413	軽積載車	ダイハツ	R7.1	0	受令機 簡易デジタル無線機	毛呂町
3BD-S710W							
	小型動力ポンプ	シバウラ	R2.1	5			
		FK400					
	"	ラビット	H14.12	22		井沢町	
		P455					
第12部	岡崎 880あ414	軽積載車	ダイハツ	R7.1	0	受令機 簡易デジタル無線機	南大須町
			3BD-S710W				
	小型動力ポンプ	トーハツ	R7.3	0			
		VF53BS					
第13部	岡崎 800さ472	消防ポンプ自動車	いすゞ	H16.3	21	消防救急無線機 簡易デジタル無線機	保久町
			KR-NKS81GAR				
		小型動力ポンプ	トーハツ	H29.1	8		富尾町
VC42AS							
	"	トーハツ	H16.11	20		小久田町	
		V6201					

消 防 水 利

消防活動上不可欠な消防水利は、市街地、密集地域等について計画的に消火栓の設置を推進するとともに、特に防火水槽は、消防水利未整備地域に対して計画的に整備を図っている。

令和7年4月1日

水利表示 区分		消 火 栓			防 火 水 槽							そ の 他					
		双 口	単 口	合 計	20	20	40	60	100	合 計	内耐震性		さ く 泉	プ ル	消 防 用 貯 水 池 等	河 川 接 岸 進 入 路	
					m ³ 未 満	m ³ 以 上	m ³ 以 上	m ³ 以 上	m ³ 以 上		40 m ³ 以 上	100 m ³ 以 上					
中 消 防 署	本 署	広 幡	6	327	333		2	49		1	52	26	1		4		
		連 尺	3	156	159	3	2	12			17	3		1	2		
		梅 園	4	184	188			28		1	29	13	1		1		
		根 石	4	175	179		2	21		3	26	11	2		2		
		三 島	3	225	228		1	28			29	19			3		
		六 名	3	122	125			16		1	17	9	1	1	1		
		小 計	23	1,189	1,212	3	7	154		6	170	81	5	2	13		
	北 分 署	常 磐	5	93	98			39			39	21			4	8	
		岩 津	2	328	330		5	53	2	1	61	34	1	7	6	2	
		小 計	7	421	428		5	92	2	1	100	55	1	7	10	2	
	花園出張所	岩 津		180	180	2	1	51	2		56	36			3	9	
	合 計	30	1,790	1,820	5	13	297	4	7	326	172	6	9	26	11	19	
	東 消 防 署	本 署	美 合		203	203	1	6	34	6	1	48	17	1		3	1
			男 川		143	143	1	9	27	1		38	15			2	1
竜 谷				44	44		1	10			11	5			1		
藤 川			3	68	71			16			16	11			1	5	
河 合				67	67	1		7			8	6			3	5	
小 計			3	525	528	3	16	94	7	1	121	54	1		10	12	
南 分 署		羽 根	2	233	235			27		1	28	20	1		3		
		岡 崎	4	190	194		1	34	3	2	40	31	2		3		
		福 岡	4	179	183			27			27	21			3		
		六ッ美		96	96	1		14			15	10		2	2		
		小 計	10	698	708	1	1	102	3	3	110	82	3	2	11		
青野出張所		福 岡		32	32		3	10			13	5					
		六ッ美		267	267	5	2	61			68	42		15	4	3	
		小 計		299	299	5	5	71			81	47		15	4	3	
額田出張所		額 田	2	49	51	3	5	58	1		67	5			4	1	
本宿出張所		山 中		77	77		1	20	1		22	13			2	1	
		本 宿	1	81	82		1	38	1		40	26			1	1	
		小 計	1	158	159		2	58	2		62	38			3	2	
形埜出張所		額 田				1	2	46	4		53	6			2		
合 計	16	1,729	1,745	13	31	429	17	4	494	232	4	17	34		18		
西消防署本署	矢 作		475	475	3	5	74		1	83	44	1	24	7	1		
総 合 計	46	3,994	4,040	21	49	800	21	12	903	448	11	50	67	11	38		

さく泉防火水槽

さく泉防火水槽は、昭和57年度から消防水利整備拡充のため設置している。

概 要

矢作川流域の沖積層を流れる地下水をくみ上げ消防水利として活用するもので、地下40mまで掘削し、硬質塩化ビニール管（直径20cm）を挿入、地下20mから30m付近の帯水層にある地下水を消防ポンプで吸水、毎分約1 m³の連続放水が可能で、国の示す基準に適合し、費用、設置面積等含め、有効な消防水利として岡崎市では現在50基を設置し活用している。

耐震性貯水槽

耐震性貯水槽は、地震による水道断水時の消火用水等を確保するため設置した。

1 構造及び仕様

- (1) プレストレスコンクリート構造等で震度7の地震に耐えられるように設計されている。
- (2) 専用消火栓2基及び小型動力ポンプを設置。
- (3) 水道管を直結し、水が絶えず循環している。
- (4) 水くみ上げ用の手動吸水ポンプ設置。
- (5) 内容量は100m³、これは消防自動車1台で約1時間40分放水することができる。

2 設置場所

- | | | | |
|------------|-------|------------|---------------------------------------|
| (1) 岡崎市籠田町 | 籠田公園内 | (6) 岡崎市羽根町 | 岡崎市ビッグセンター内 |
| (2) // 石神町 | 伊賀公園内 | (7) // 朝日町 | 岡崎市役所
東庁舎内 |
| (3) // 美合町 | 美合公園内 | (8) // 矢作町 | 岡崎市西部地域
交流センター内 |
| (4) // 百々町 | 百々公園内 | | (参考)
老朽により水道管から切り離し |
| (5) // 欠 町 | 東公園内 | | (1)六名公園内
(2)南部市民センター分館内
(3)南公園内 |

消 防 音 楽 隊

消防音楽隊は、消防の行事及び市の諸式典をはじめ、各種行事に参加するなど、幅広い演奏活動を通じて広く市民に親しまれ、消防PRに貢献するとともに、市民の防災意識高揚に成果をあげている。



1 隊員の編成

令和7年4月1日

	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	合 計
隊 長	1							1
副 隊 長			1					1
隊 員				3	12	4	8	27
合 計	1		1	3	12	4	8	29

2 編 成

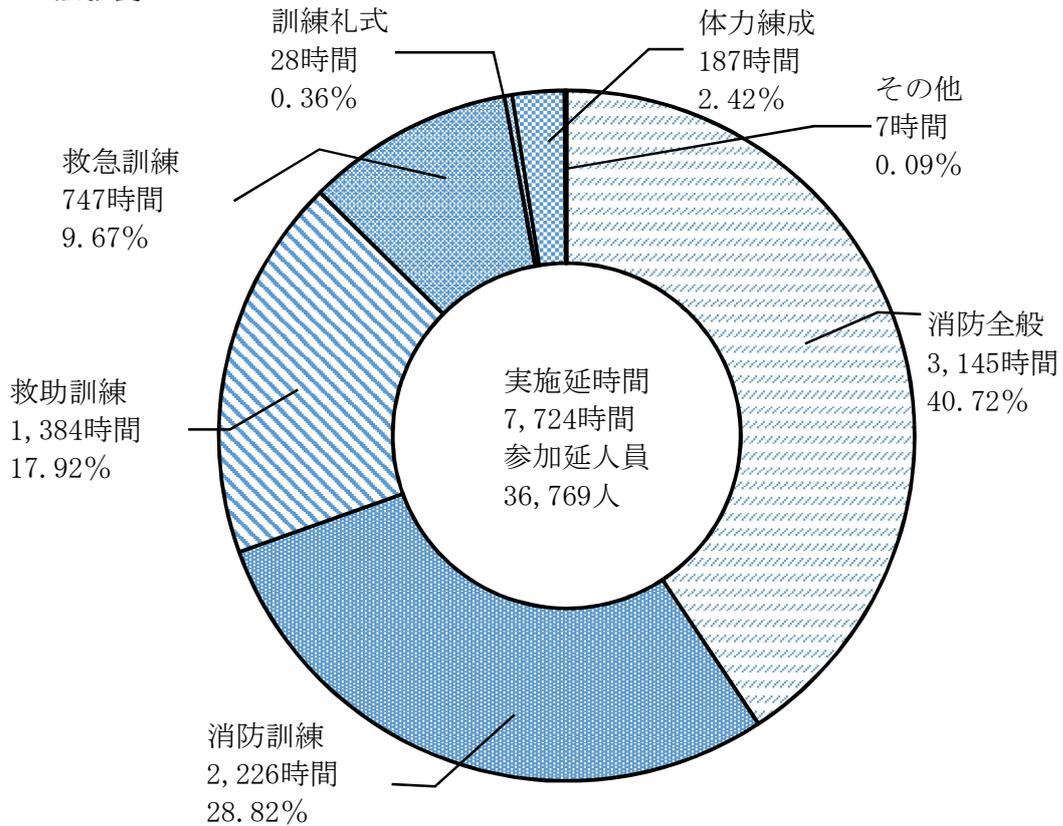


3 音楽隊参加行事

年 月 日	行 事
令和6年4月7日	家康行列パレード
令和6年5月5日	ファミリーフェスタ
令和6年11月1日	イオンモール防災展
令和7年1月12日	岡崎市消防出初・観閲式
令和7年3月22日	アピタ消防春の火災予防キャンペーン

消防職員教養実施状況

1 一般教養



2 委託教養

委託機関	種別	人員
消防大学校	幹部科	1人
	救助科	1人
	高度救助・特別高度救助コース	1人
	自主防災組織育成短期コース	1人
救急救命東京研修所	救急救命士	4人
救急救命九州研修所	指導救命士	1人
愛知県消防学校	初任科	11人
	救急科	13人
	救助科	2人
	指揮隊科	1人
	警防科	3人
	危険物科	1人
	中級幹部科	2人
	はしご自動車等運用科	2人

令和6年度消防訓練状況

(消防職団員)

科	目	実施場所	参加延人員
訓練礼式		各消防署所訓練場	372人
消防二輪車実技研修		キョウセイ交通大学	6人
潜水基本訓練		中消防署本署	65人
岡崎市消防本部土砂・風水害対応救助訓練		岡崎市総合現業事務所敷地内	34人
消防職員安全運転実技研修		キョウセイ交通大学	20人
岡崎市消防団初任者・幹部研修		岡崎中央総合公園	244人
岡崎市消防団消防操法大会		岡崎中央総合公園	370人
岡崎市新規採用職員研修		岡崎市消防本部	73人
警防本部・署隊本部運用訓練		岡崎幸田消防指令センター等	約200人
消防団機関班養成講習		岡崎市消防本部	80人
第17回消防団員震災・風水害研修		岡崎市消防本部	110人
愛知県消防操法大会		愛知学院大学	43人
全国消防操法大会		宮城県 宮城県総合運動公園	21人
乙川水難救助訓練		岡崎公園乙川河川緑地	83人
名古屋消防航空隊合同水難訓練(中止)		岡崎公園乙川河川緑地	一人
消防団安全運転実技研修		キョウセイ交通大学	68人
消防団員消防技術発表会(中止)		岡崎公園乙川河川緑地	一人
緊急消防援助隊愛知東大隊合同訓練(情報伝達訓練及び部隊集結訓練)		一畑山薬師寺・牛乗山 岡崎市消防本部・三重県湾岸長島PA	23人 8人
緊急消防援助隊中部ブロック合同訓練		三重県	8人
名古屋消防航空隊合同訓練及び夜間離着陸訓練		岡崎中央総合公園多目的広場	20人
認定救助隊員育成集合教育		各消防署所	19人
名古屋消防航空隊合同訓練		岡崎市民病院	11人
イオンモール岡崎高所救助訓練		イオンモール岡崎	19人
西三河地区合同訓練		幸田町消防本部	5人

科	目	実施場所	参加延人員
岡崎市消防出初・観閲式		岡崎公園乙川河川緑地	1548人
愛知県警防技術交換会		名古屋消防学校	3人
救助隊員再教育		各消防署所	57人
文化財火災防御訓練		山中八幡宮	81人
緊急消防援助隊にかかると後方支援活動訓練		名古屋消防学校	4人
救急技術発表会(中止)		各消防署所	一人
第52回消防救助技術東海地区指導会		三重県 三重県消防学校	27人
第52回全国消防救助技術大会		千葉県 千葉県消防学校	7人
潜水応用救助訓練		岡崎公園乙川河川緑地	27人
解体予定の岡ビル百貨店を使用した救助訓練		東岡崎岡ビル百貨店	24人
電気事故災害対応訓練		中部電力人財開発センター	11人
部隊運用訓練		市営住宅桑谷荘	101人
消防団考案訓練		岡崎公園乙川河川緑地	104人
集団災害訓練(図上)		各消防署所	296人
解体予定の市営住宅を使用した救助隊技術訓練		市営住宅大池荘	90人
愛知県高圧ガス移動訓練		岡崎中央総合公園	9人

協定・協約等

市町村が消防の責任を有するのは、当該市町村の区域内とされている。しかし、大規模な地震、火災、風水害等の災害は、個々の市町村の消防力のみでは対処できない場合がある。このような場合市域を越えて消防力の運用を図る必要があり、近隣市町村等との間で資機材の提供、人員の派遣等の協定を結び、万々に備えている。

1 消防相互応援協定

協定名	締結年月日	協定目的
愛知県内広域消防相互応援協定	平成15年 4月1日	愛知県域内における大規模災害等が発生した場合の消防相互応援を図ること。
愛知県下高速道路における消防相互応援協定	平成30年 7月31日	愛知県下高速道路における災害が発生した場合の消防相互応援を図ること。
西三河地域消防相互応援協定	昭和43年 4月27日	西三河地域内における大規模災害等が発生した場合の消防相互応援を図ること。
消防相互応援協定 (蒲郡市)	昭和46年 5月1日	蒲郡市との両市区域内における大規模災害等が発生した場合の消防相互応援を図ること。
愛知県における航空機を用いた市町村等の消防支援協定	令和4年 4月1日	愛知県域内における航空機を用いる災害防止活動等が発生した場合の消防相互応援を図ること。

2 協定

協定先	協定年月日	協定目的
西三河クレーン組合	昭和49年 9月25日	火災等の災害によりクレーン車等の必要を認めた場合、協定業者の協力を求め、その被害の軽減を図ること。
龍北スポーツサポート株式会社	令和3年 3月3日	大規模災害発生時に、協定業者に龍北総合運動場の提供の協力を求め、被災者に対する支援体制の充実に図ること。
西三河生コンクリート協同組合	平成29年 9月5日	大規模火災発生時の消火用水及び飲料水を除く生活用水の供給の協力を求め、消防活動支援及び生活用水の確保を図ること。

3 業務協約

協約先	協約年月日	協約目的
東邦ガス株式会社	平成30年 1月26日	都市ガスの漏えいに起因する火災及び爆発等の事故（以下「災害」という。）を未然に防止するとともに、災害が発生した際これを早期に鎮圧し、被害を最小限度に防止するため。

出 動 状 況

令和6年中の火災は、89件で、火災防御のため消防職員、団員は延べ2,477人、消防自動車等599台が出動している。

消防署、消防団火災出動状況（人員及び機械）

月別	火災 件数	署団別		消防署																				小 計	合 計		
		区 分	人員	機械	廣幡	連尺	梅園	根石	三島	六名	羽根	岡崎	美合	男川	福岡	竜谷	藤川	山中	本宿	河合	常磐	岩津	矢作			六ツ美	額田
1月	9	人	125	37						8	9	25			4	6								12		64	189
2月	7	消防機械	96	28						1	2				1	1							2			9	46
3月	8	人	128	37						8	18										12				24	93	221
4月	9	消防機械	177	51						1	3										3				4	17	54
5月	5	人	129	38						5															15	69	246
6月	6	消防機械	123	33						2	2														2	13	64
7月	3	人	49	14						6	8															83	212
8月	7	消防機械	201	55						1	2										16					44	167
9月	8	人	174	49																						8	41
10月	7	消防機械	121	34						2	7															20	69
11月	9	人	149	41						6	4															3	17
12月	11	消防機械	146	51																	10					136	337
合計	89	人	1,618	468						35	9	30	60	60	16	11	23	12	59	28	87	124	66	50	859	2,477	
		消防機械	468							6	2	6	6	2	2	2	4	3	5	6	12	19	10	9	131	599	

予 防 業 務



火災の実態

令和6年中における岡崎市の火災発生状況は、出火件数89件、建物焼損床面積1,651㎡、林野焼損面積4a、損害額1億5,931万7千円、死者7人、負傷者17人であった。

1 令和6年中の火災状況と前年との比較

種別		年別	令和6年	令和5年	増減数
		単位			
出火件数	合計	件	89	100	△ 11
	建物		53	54	△ 1
	林野		2	1	1
	車両		10	17	△ 7
	その他		24	28	△ 4
焼損棟数	合計	棟	76	74	2
	全焼		12	13	△ 1
	半焼		3	7	△ 4
	部分焼		26	17	9
	ぼや		35	37	△ 2
焼損面積	建物床面積	㎡	1,651	2,110	△ 459
	建物表面積		197	114	83
	林野	a	4	5	△ 1
死傷者	合計	人	24	16	8
	死者		7	1	6
	負傷者		17	15	2
り災世帯数	世帯	49	47	2	
り災人員	人	99	108	△ 9	
損害額	合計	千円	159,317	220,297	△ 60,980
	建物		155,470	212,384	△ 56,914
	林野		0	1	△ 1
	車両		2,700	3,436	△ 736
	その他		1,147	4,476	△ 3,329

※ △印は、減を示す。

2 出火率（人口1万人あたりの出火件数）

	出火件数(件)	人口(人) (令和6年12月1日現在)	出火率(件) (人口1万人当りの出火件数)
岡崎市	89	382,906	2.3

3 月別出火状況

区分 月別	出火件数 (件)				焼損棟数 (棟)				焼損面積			死者 (人)	負傷者 (人)	り災世帯 (世帯)	り災人員 (人)	損 害 額 (千円)							
	計	建物	林野	車両	その他	計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	建物					床面積 (㎡)	表面積 (㎡)	林野 (a)	計	建物	林野	車両	その他
1月	9	3	1	1	4	3		3			26	4	1	1	4	7,157	6,167		900	90			
2月	7	3			4	4		2	2		2	3	2		6	121	112			9			
3月	8	4	1		3	4	1	1	2		199		1		4	22,485	22,458		25	2			
4月	9	7		1	1	8	1	1	7		97	2		1	5	4,851	4,770		80	1			
5月	5	3		1	1	8	1	2	5		88	27			13	3,699	3,329		330	40			
6月	6	6				10	4	3	3		449	96		2	19	45,605	45,122			483			
7月	3	2		1		2			2							162	122		40				
8月	7	6		1		11	2	1	5	3	186	13		1	12	31,957	31,730		215	12			
9月	8	4		2	2	5			2			5			8	2,345	1,993		242	110			
10月	7	1		3	3	1			1						1	839	5		830	4			
11月	9	9				13	3	4	6		443	26		3	15	31,675	31,360			315			
12月	11	5			6	7	1	4	2		161	21		2	12	8,421	8,302		38	81			
合計	89	53	2	10	24	76	12	3	26	35	1,651	197	4	7	99	159,317	155,470		2,700	1,147			

4 曜日・時間別出火状況

区分	出火件数 (件)				焼損棟数 (棟)				焼損面積			死者 (人)	負傷者 (人)	り災世帯 (世帯)	り災人員 (人)	損害額 (千円)					
	計	建物	林野	車両	その他	計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	建物					床面積	表面積	林野	(a)	計	建物
計	89	53	2	10	24	76	12	3	26	35	1,651	197	4	7	17	49	99	159,317	155,470	2,700	1,147
日	15	9		2	4	14	2	2	3	7	249	12		1	6	8	26	27,227	26,925	290	12
月	12	7	2	1	2	12	1		3	8	114	29	2	3		12	15	10,280	10,219	20	41
火	9	6		2	1	12	4		6	2	374	115		2		8	17	42,538	41,027	980	531
水	17	8		3	6	8	1	2	5	2	124	2	2	5		6	11	23,186	22,278	715	193
木	5	2			3	3	1	2			227	4		1	1	2	4	11,946	11,903		43
金	7	6			1	6		2	4		16	2		1	1	2	2	7,158	7,158		
土	23	14		2	7	20	3	1	8	8	547	33		4		11	24	36,982	35,960	695	327
不明	1	1				1			1												
0時～2時	1				1																
2時～4時	6	4		1	1	4	1		3	3	240					3		9,977	9,845	22	110
4時～6時	6	5		1		6	2	1	3	212	1			1		3	4	12,515	12,215	300	
6時～8時	1	1				1		1			1							426	426		
8時～10時	6	4			2	5		2	3			6		1		3	8	2,294	2,285		9
10時～12時	17	8	1	2	6	15	4	1	4	6	448	30	3	2	3	4	13	54,833	53,484	1,260	89
12時～14時	13	5		1	7	9	2	3	4	162	22			5		4	11	14,128	13,811	258	59
14時～16時	9	5	1	1	2	9	3	4	2	323	95	1	1	3		7	14	23,391	22,826	80	485
16時～18時	7	5		1	1	5		1	4			2				7	11	293	270	20	3
18時～20時	6	3		2	1	4		3	1	26	5			1		5	7	6,630	6,069	550	11
20時～22時	4	1		1	2	1		1		30	3			1		2	9	5,842	5,406	185	251
22時～24時	8	7			1	12	2	6	4	210	31			1	6	9	14	28,919	28,764	25	130
不明	5	5				5			5		1					2	5	69	69		

5 建物火災火元用途別焼損状況

区分 建物用途別	件数 (件)	焼損棟数 (棟)					焼損床面積 (㎡)	死者 (人)	負傷者 (人)	損害額 (千円)
		計	全焼	半焼	部分焼	ぼや				
専用住宅	19	39	11	2	13	13	1,211	6	12	117,067
併用住宅	2	2				2				126
共同住宅	14	14			6	8	103	1	2	21,483
事務所	1	1				1				989
飲食店	3	3			1	2				950
工場・作業所	7	8		1	1	6	97		1	3,476
神社・寺院	1	1				1			1	42
倉庫	3	4	1		2	1	240			9,826
建物火災以外が火元	(3)	(4)			(3)	(1)			(1)	(1,411)
合計	50 (53)	72 (76)	12	3	23 (26)	34 (35)	1,651	7	16 (17)	153,959 (155,370)

※ ()内は種別が建物火災以外で、建物に類焼した数値も含む。

6 原因別出火状況

原因別	出火件数 (件)				焼損棟数 (棟)				焼損面積 (㎡)			死者 (人)	負傷者 (人)	り災世帯 (世帯)	り災人員 (人)	損 害 額 (千円)					
	計	建物	林野	その他	計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	建物	表面積					林野	計	建物	林野	車両	その他
たばこ	12	8	1	3	8	1	4	3	141	4			1	1	10	11	15,875	15,704	78	93	
こんろ	3	2		1	3		2	1	4				1	1	2	2	1,419	1,410		9	
かまど	2	2			2			2							1	3	166	166			
風呂かまど																					
炉																					
焼却炉																					
ストーブ	1	1			1		1		9				1	6	1	6	2,208	2,208			
こたつ	1	1			1		1						1	1	1	1	2	2			
ボイラー																					
煙突・煙道																					
排気管	1			1													186		185	1	
電気機器	6	5	1	1	5	1	1	3	227	1			1	8	3	8	12,111	11,959	22	130	
電気装置	3	1	2		1		1	1									610	200	410		
電灯・電話等の配線	3	3			3	1	1	1	265					2	1	2	15,079	15,069		10	
内燃機関																					
配線器具	5	5			10	2	1	3	147	11			1	4	6	19	19,791	19,750	30	11	
火あそび	1			1													1			1	
マッチ・ライター																					
たき火	10	1	2	7	5	2	2	1	153	22	2		2	4	2	4	11,612	11,555		57	
溶接機・切断機	2	1		1	1		1						1				1	1			
灯火	2	2			2		1	1	16				1	1	1	1	6,861	6,861			
衝突の火花																					
取灰	1	1			2		1	1		3					1	3	11	2		9	
火入れ	1			1							2										
放火	13	8	1	4	12	3	4	5	205	99			2	6	9	21	31,258	30,016	535	707	
放火の疑い	4	1		3	6	1	2	3	88	27			1		6	9	3,312	3,272		40	
その他	15	9	4	2	10	1	2	7	97	7					3	5	5,224	3,783	1,440	1	
不明	3	2		1	4	2	2	2	303	19			1		2	4	33,590	33,512		78	
合計	89	53	2	10	24	76	12	3	26	35	4	7	17	49	99	159,317	155,470	2,700	1,147		

7 最近10年間の推移

種別 年別	出火件数 (件)					焼損面積		死 者 (人)	負 傷 者 (人)	損 害 額 (千円)				
	計	建 物	林 野	車 両	そ の 他	建 物 (㎡)	林 野 (a)			計	建 物	林 野	車 両	そ の 他
平成 27年	91	58		13	20	2,877	4	1	12	204,434	193,657		6,110	4,667
平成 28年	94	58	1	12	23	3,929	11	4	14	353,006	345,272		6,173	1,561
平成 29年	102	52	3	12	35	1,902	25	3	20	250,583	207,276		35,970	7,337
平成 30年	98	46	6	14	32	1,530	37	1	14	197,794	186,003	23	4,563	7,205
令和 元年	115	71	3	14	27	2,959	6	4	19	396,068	379,257		10,248	6,563
令和 2年	89	51	2	9	27	2,125	15	6	15	188,295	179,054		6,135	3,106
令和 3年	95	47	6	11	31	1,387	32	3	25	121,517	89,361	244	19,741	12,171
令和 4年	88	58	1	12	17	1,680	1	1	13	172,578	140,620		24,909	7,049
令和 5年	100	54	1	17	28	2,110	5	1	15	220,297	212,384	1	3,436	4,476
令和 6年	89	53	2	10	24	1,651	4	7	17	159,317	155,470		2,700	1,147

8 管轄区域別出火状況

管轄区域別		区分	出火件数 (件)					焼損面積		死者 (人)	負傷者 (人)	損害額 (千円)
			計	建物	林野	車両	その他	建物 (㎡)	林野 (a)			
中 消 防 署	本 署	広 幡	6	5			1	120		1	1	10,338
		連 尺	3	3								997
		梅 園	3	2		1		151			1	27,579
		根 石	2	1			1	240				9,831
		三 島	2	1		1						81
		六 名	4			1	3					40
		小 計	20	12		3	5	511		1	2	48,866
	北 分 署	常 磐	3	1	1		1	227	1	1		10,525
		岩 津	11	8			3	101		1	1	13,420
		小 計	14	9	1		4	328	1	2	1	23,945
花園出張所	岩 津	2				2						
合 計			36	21	1	3	11	839	1	3	3	72,811
東 消 防 署	本 署	美 合	5	5				97				2,751
		男 川	3	1		1	1	26		1		6,319
		竜 谷	1	1				9			1	2,208
		藤 川	3	1		1	1					631
		河 合	1	1				152		1		6,073
		小 計	13	9		2	2	284		2	1	17,982
	南 分 署	羽 根	7	4			3	155			3	11,745
		岡 崎	1	1								81
		福 岡	2	1		1		145		1	3	19,782
		六ツ美	5	5				20			1	4,749
		小 計	15	11		1	3	320		1	7	36,357
	青野出張所	福 岡										
		六ツ美	2	2							1	1,420
		小 計	2	2							1	1,420
	額田出張所	額 田	2				2					1
本宿出張所	山 中	2	1	1				1			426	
	本 宿	2			1	1					186	
	小 計	4	1	1	1	1		1			612	
形埜出張所	額 田	1				1					1	
合 計			37	23	1	4	9	604	3	3	9	56,373
西消防署本署	矢 作	13	9			4	208		1	5	28,713	
高 速 道 路			3			3						1,420
総 合 計			89	53	2	10	24	1,651	4	7	17	159,317

9 最近5年間の主要火災

損害額 5,000千円以上

区分 年月日	出火場所	用途	焼損床面積 (㎡)	区分 年月日	出火場所	用途	焼損床面積 (㎡)
1 . 12 . 7	北野町	車庫	43	11 . 15	西蔵前町	共同住宅	33
12 . 11	東牧内町	住宅	143	11 . 17	大樹寺1丁目	工場	503
2 . 1 . 16	橋目町	住宅	271	11 . 27	細川町	住宅	378
1 . 21	赤渋町	住宅	159	5 . 1 . 26	明大寺町	工場	182
2 . 17	江口2丁目	住宅	87	4 . 3	大和町	住宅	107
5 . 14	大門3丁目	住宅	364	4 . 13	羽根町	住宅	117
7 . 28	舞木町	住宅	80	5 . 25	美合町	住宅	133
8 . 15	鴨田町	複合用途(非特定)	201	5 . 27	小針町	併用住宅	33
8 . 23	宇頭町	住宅	191	6 . 17	東本郷町	住宅	99
10 . 29	竜泉寺町	住宅	84	7 . 14	鴨田南町	飲食店	126
12 . 15	大樹寺1丁目	工場	194	10 . 8	上里1丁目	住宅	47
12 . 21	菟美北2丁目	住宅	116	10 . 12	岩津町	学校	485
3 . 3 . 11	戸崎町	住宅	212	11 . 29	小針町	共同住宅	32
4 . 15	鳥川町	車両		12 . 12	羽根町	共同住宅	
5 . 15	合歓木町	住宅	217	6 . 1 . 15	洞町	共同住宅	26
5 . 29	小美町	住宅	129	3 . 6	字頭町	住宅	104
6 . 16	伊賀町	併用住宅	204	6 . 4	箱柳町	住宅	151
7 . 26	中島町	住宅	80	6 . 11	百々町	住宅	82
10 . 20	鹿勝川町	車両		6 . 27	大柳町	住宅	227
11 . 6	本宿西1丁目	車両		8 . 4	上地町	住宅	145
11 . 20	上地4丁目	住宅	140	8 . 17	伊賀町	共同住宅	25
12 . 6	明大寺町	旅館	64	8 . 30	北本郷町	住宅	16
4 . 3 . 4	中島中町	住宅	47	11 . 16	藪田1丁目	共同住宅	30
9 . 11	茅原沢町	車両		11 . 16	柱町	住宅	153
9 . 22	宮石町	車両		11 . 23	小呂町	倉庫	240
11 . 4	上地3丁目	住宅	207	12 . 24	生平町	住宅	152

10 高速道路火災

(1) 東名高速道路

ア 区間別火災状況

区分	K P 件数	豊田市	岡崎市	岡崎市	岡崎市	豊川市	計
		豊田ジャンクション～ 302.6	302.6～ 293.4	岡崎インター 293.4	293.4～ 283.9	283.9～ 音羽蒲郡インター	
		出火件数	出火件数	出火件数	出火件数	出火件数	出火件数
上り線			1				1
下り線							
その他							
計			1				1

※ 「その他」とは、インターチェンジ、ジャンクション、パーキングエリア、中央分離帯等をいう。

イ 月別火災状況

種別	月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
建物														
車両		1												1
その他														
計		1												1
焼損面積 (㎡)														
損害額 (千円)		900												900

ウ 原因別等状況

区分	出火件数	原因							出火車両区分							その他の火災発生箇所区分			死傷者			
		たばこ	排気管	内燃機関	衝突の火花	高温の固体	交通機関内配線	その他	不明	大型バス	マイクロバス	普通乗用車	軽乗用車	大型トラック	中型トラック	小型トラック	その他	中央分離帯	法面	その他ランプウェイ等	死者	負傷者
建物																						
車両	1				1								1									
その他																						
計	1				1								1									

(2) 新東名高速道路

ア 区間別火災状況

区分	K P 件数	豊田市	岡崎市	岡崎市	岡崎市	豊川市	計
		豊田東ジャンクション～ 251.4	251.4～ 236.5	岡崎東インター 236.5	236.5～ 230.1	230.1～ 新城インター	
		出火件数	出火件数	出火件数	出火件数	出火件数	出火件数
上り線							
下り線			2				2
その他							
計			2				2

※ 「その他」とは、東海環状自動車道、インターチェンジ、ジャンクション、パーキングエリア、中央分離帯等をいう。

イ 月別火災状況

種別	月別												計	
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
建物														
車両										1	1			2
その他														
計										1	1			2
焼損面積 (㎡)														
損害額 (千円)									220	300				520

ウ 原因別等状況

区分	出火件数	原因							出火車両区分							その他の火災発生箇所区分			死傷者			
		たばこ	排気管	内燃機関	衝突の火花	高温の固体	交通機関内配線	その他	不明	大型バス	マイクロバス	普通乗用車	軽乗用車	大型トラック	中型トラック	小型トラック	その他	中央分離帯	法面	その他ランプウェイ等	死者	負傷者
建物																						
車両	2				2						1				1							
その他																						
計	2				2						1				1							

予 防

1 防火管理

(1) 防火対象物の状況 150㎡以上（17項を除く） 令和6年1月1日～令和6年12月31日

区分	管轄区域別	17項	16項	15項	14項	13項	12項	11項	10項	9項	8項	7項	6項	5項	4項	3項	2項	1項	計										
		イ	イ	イ	イ	イ	イ	イ	イ	イ	イ	イ	イ	イ	イ	イ	イ	イ		イ									
中消防署	本署	5	68	2	9	1	2	2	122	153	18	1,452	68	21	80	19	130	7	1	4	83	277	60	222	465	477	263	9	4,018
	北分署		30		6		4		39	88	1	475	21	16	29	13	47	2			36	282	9	153	197	88	88	13	1,637
	花園出張所		9						4	8		37	3	2	3	1	12	2			8	28	3	27	22	13	6		188
	合計	5	107	2	15	1	6		165	249	19	1,964	92	39	112	33	189	11	1	4	127	587	72	402	684	578	357	22	5,843
東消防署	本署	3	42		3				23	61	8	469	29	27	37	14	79	2	1		52	265	22	206	239	69	66		1,717
	南分署	1	43		6		2		69	141	4	1,158	52	17	38	4	59	1	2	1	31	159	30	100	257	197	125		2,497
	青野出張所		26						14	29		220	14	7	31	1	15				26	222	3	128	84	37	22		879
	額田出張所		11						11	4	2	5	3	4	4		19	1			25	72	7	45	41	11	4		269
	本宿出張所		11		1				2	8	1	79	7	3	14	6	14	1		1	20	73	6	36	38	15	18		354
	形埜出張所		4						1	1	1		2		2		5				10	51	5	27	43	4	5	2	163
合計	4	137		10		2		120	244	16	1,931	107	58	126	25	191	5	3	2	164	842	73	542	702	333	240	2	5,879	
西消防署本署		31		4				22	45		803	20	20	26	5	50			1	2	36	391	19	161	248	82	69	1	2,036
合計	9	275	2	29	1	8		307	538	35	4,698	219	117	264	63	430	16	4	1	8	327	1,820	164	1,105	1,634	993	666	25	13,758

(4) 防火管理講習等の状況

学校、病院、工場、事業場、興行場、百貨店、複合用途その他多数の者が出入し、勤務し、又は居住する防火対象物の管理について権原を有する者は、防火管理者を定め、消防計画の作成、消防用設備等の点検及び整備、火気の取扱いに関する監督、消火、通報及び避難の訓練その他防火管理上必要な業務を行わせなければならない。

令和6年度防火管理講習等実施状況

区 分	実 施 日	講習会場
防 災 新 規 講 習	令和6年5月31日	岡崎市竜美丘会館 501会議室
防 火 管 理 講 習 (甲 種 の み)	令和6年6月12日	岡崎市竜美丘会館 ホール
防 火 管 理 講 習 (甲 種 の み)	令和6年7月18日	岡崎市竜美丘会館 ホール
防 火 管 理 講 習 (乙 種 の み)	令和6年7月24日	岡崎市竜美丘会館 501会議室
防 火 管 理 講 習 (甲 種 の み)	令和6年9月12日	岡崎市竜美丘会館 ホール
防 火 管 理 講 習 (乙 種 の み)	令和6年9月25日	岡崎市竜美丘会館 501会議室
甲種防火管理再講習	令和6年11月26日	岡崎市福社会館 501会議室
防 火 管 理 講 習 (甲 種 の み)	令和6年12月19日	岡崎市竜美丘会館 ホール
防 火 管 理 講 習 (甲 種 の み)	令和7年2月15日	岡崎市竜美丘会館 ホール

- ※ 昭和36年度～防火管理講習を開催
- ※ 昭和62年度～甲種・乙種の2区分で開催
- ※ 平成17年度～甲種防火管理再講習を開催
- ※ 平成21年度～防災管理新規講習を開催
- ※ 平成26年度～防災管理再講習を開催
- ※ 平成30年度～一般財団法人日本防火・防災協会に依頼

(5) 消防用設備等の点検報告の状況

令和6年1月1日～令和6年12月31日

区分 項別	点検を要する防火対象物			報告済防火対象物			
	総 数	1,000 m ² 未 満	1,000 m ² 以 上	総 数	1,000 m ² 未 満	1,000 m ² 以 上	
1 項	イ	9	3	6	8	3	5
	ロ	298	271	27	221	199	22
2 項	イ	4	4		1	1	
	ロ	31	19	12	24	12	12
	ハ	1	1		1	1	
	ニ	9	4	5	6	4	2
3 項	イ						
	ロ	481	478	3	270	267	3
4 項		632	514	118	467	367	100
5 項	イ	48	21	27	40	17	23
	ロ	4,610	3,874	736	3,757	3,119	638
6 項	イ	247	219	28	193	167	26
	ロ	120	69	51	101	60	41
	ハ	345	309	36	281	246	35
	ニ	65	37	28	60	35	25
7 項		414	169	245	381	143	238
8 項		17	11	6	16	10	6
9 項	イ	4	2	2	3	1	2
	ロ	1	1		1	1	
10 項		7	6	1	6	6	
11 項		265	240	25	163	140	23
12 項	イ	1,837	1,390	447	1,221	844	377
13 項	イ	169	108	61	112	59	53
14 項		1,168	1,014	154	764	635	129
15 項		1,507	1,237	270	1,046	817	229
16 項	イ	967	824	143	596	474	122
	ロ	487	406	81	317	248	69
17 項		25	24	1	25	24	1
合計		13,768	11,255	2,513	10,081	7,900	2,181

(6) 階別防火対象物状況（3階建以上）

令和6年1月1日～令和6年12月31日

階別 項別	3 階	4 階	5 階	6 階	7 階	8 階	9 階	10 階	11 階	12 階	13 階	14 階	15 階	16 階 以上	計
1 項	12	3	2	1											18
2 項	5	5	1												11
3 項	32	4	1	1											38
4 項	35	10	6	1											52
5 項	952	459	230	72	57	63	35	36	35	15	15	25	24	6	2,024
6 項	88	21	6	7		2	1	1							126
7 項	117	62	10	8	2	3									202
8 項	1		1												2
9 項															
10 項	3														3
11 項	14	2	2												18
12 項	134	24	13	2	1	1									175
13 項	15	11	1	2											29
14 項	46	9	2												57
15 項	261	73	33	18	11	11	4	3							414
16 項	527	156	59	29	18	15	4	2		1				1	812
17 項															
計	2,242	839	367	141	89	95	44	42	35	16	15	25	24	7	3,981

(7) 高さ31mをこえる建築物又は11階以上の建築物

令和6年1月1日～令和6年12月31日

1	岡崎タワーレジデンス	(99.4m・31F)	79	フェリカーサ明大寺	(38.4m・11F)
2	シビックタワー岡崎	(59.5m・20F)	80	ミッドシティコート竜美丘	(38.3m・13F)
3	Tステージ岡崎ウィングタワー	(59.4m・20F)	81	Tステージ鴨田	(38.3m・13F)
4	岡崎ウィズスクエア	(59.4m・20F)	82	サンシティ岡崎駅前	(37.9m・12F)
5	リコットタワー岡崎康生	(59.2m・20F)	83	リコット岡崎羽根	(37.9m・13F)
6	アルバックスタワー岡崎康生	(59.2m・20F)	84	S-RESIDENCE岡崎公園aureate	(37.9m・13F)
7	リコット岡崎公園タワーパーキング	(52.8m・2F)	85	第2マルワビル	(37.9m・9F)
8	岡崎信用金庫本店	(49.4m・10F)	86	アーバンライフ栄	(37.6m・13F)
9	ミッドシティレジデンス岡崎康生 タワーパーキング	(46.1m・1F)	87	藤田学園岡崎医療センター	(37.5m・8F)
10	レゾンシティ岡崎駅前プレミアムコート駐車場	(45.8m・2F)	88	アストル竜美ヶ丘	(37.3m・12F)
11	ジャパンレンタカー岡崎店	(45.3m・3F)	89	ライオンズマンション東岡崎	(37.2m・12F)
12	サンクレーア梅園	(44.6m・15F)	90	BELISTA岡崎戸崎	(37.2m・11F)
13	ロイヤルシティ岡崎公園	(44.5m・15F)	91	ロイヤルマンション緑丘	(37.0m・13F)
14	SAキヤッスル岡崎パークタワー	(44.3m・16F)	92	シャルマンコーポ大樹寺	(36.9m・13F)
15	ファミリー東岡崎スカイフォーラム	(44.3m・15F)	93	株式会社マルヤス 事務本館	(36.6m・8F)
16	カーサビアンカ東岡崎	(44.3m・15F)	94	シティライフ岡崎パークウェイ	(36.6m・12F)
17	藤和康生町ホームズ	(44.2m・15F)	95	シティライフ岡崎マークス	(36.4m・12F)
18	グリーンゲートレジデンス イーストウイング	(44.2m・15F)	96	リコット東岡崎	(36.4m・13F)
19	グリーンゲートレジデンス ガーデンウイング	(44.2m・15F)	97	スーパーホテル岡崎	(36.3m・12F)
20	岡崎オーワホテル	(44.2m・14F)	98	ミッドシティセントラル東岡崎	(36.1m・11F)
21	サンクレーア岡崎大門	(44.1m・15F)	99	ミッドシティプレミアム北岡崎	(35.9m・12F)
22	アルバックスタワー岡崎康生 タワーパーキング	(44.0m・2F)	100	キングスコート南天白	(35.8m・13F)
23	リコット岡崎城	(44.0m・15F)	101	ミッドシティレジデンス岡崎康生 マンション棟	(35.7m・12F)
24	岡崎市中央グリーンセンター 工場棟	(44.0m・8F)	102	五万石家具総本店 茶白山ハイツ	(35.6m・12F)
25	ポレスター竜美丘プレミアムレジデンス	(43.9m・15F)	103	日本エステル(株)岡崎工場	(35.4m・7F)
26	リコット岡崎公園	(43.9m・15F)	104	サンアメニティ朝日	(35.0m・12F)
27	ミッドシティガーデン東岡崎 マンション棟	(43.7m・15F)	105	モアグレース末広町	(34.7m・11F)
28	グリーンゲートレジデンス ブライトウイング	(43.6m・15F)	106	リパブル北野	(34.4m・12F)
29	グリーンゲートレジデンス ウェストウイング	(43.6m・15F)	107	キヤッスルハイツ美合駅前	(34.2m・12F)
30	グリーンゲートレジデンス セントラルウイング	(43.6m・15F)	108	県営鴨田住宅2号棟	(34.0m・7F)
31	三菱自動車 開発本館	(43.5m・9F)	109	プラウド東岡崎	(33.9m・11F)
32	愛知県西三河総合庁舎	(43.5m・10F)	110	サンライズ康生	(33.9m・10F)
33	レーブルタワー岡崎北	(43.4m・15F)	111	岡崎市役所東庁舎・福祉会館	(33.8m・7F)
34	リフローレ東岡崎駅	(43.4m・14F)	112	中部電力岡崎ビル	(33.7m・8F)
35	ライオンズガーデン岡崎公園	(43.2m・14F)	113	サンアメニティ岡崎駅II	(33.6m・12F)
36	インベリアルシティ岡崎公園	(43.0m・13F)	114	ビューフォー岡崎	(33.6m・12F)
37	メーブルタワー竜美丘	(42.9m・15F)	115	シャトー岡崎III番館	(33.3m・12F)
38	レゾンシティ岡崎駅前プレミアムコート	(42.9m・14F)	116	岡崎女子短期大学 2号館	(32.9m・8F)
39	シティライフ岡崎駅北	(42.8m・14F)	117	岡崎地方合同庁舎	(32.9m・7F)
40	藤和シティホームズ岡崎公園	(42.6m・15F)	118	サンアメニティ美合ステーション	(32.8m・11F)
41	リコットタワー岡崎康生 パーキング	(42.4m・2F)	119	リコット岡崎駅東	(32.8m・11F)
42	ライオンズガーデン東岡崎式番館	(42.2m・14F)	120	サンシティウエストパーク天白	(32.7m・11F)
43	レゾンシティ南岡崎	(42.2m・14F)	121	サンアメニティ石神式番館	(32.6m・11F)
44	ノステルコート岡崎共同住宅棟	(42.1m・14F)	122	ハートヒルズ日名	(32.5m・11F)
45	ARIA33	(42.1m・14F)	123	ダイアパレス岡崎南公園	(32.3m・11F)
46	アルバックス岡崎駅東	(42.1m・13F)	124	第一生命・三井住友海上岡崎ビル駐車場	(32.3m・1F)
47	エスポアレメント光ヶ丘	(42.0m・15F)	125	ホテルリブマックス	(32.2m・10F)
48	自然科学研究機構 山手1～5号館	(42.0m・10F)	126	株式会社マキタ岡崎工場J棟	(32.2m・5F)
49	岡崎市民病院	(42.0m・9F)	127	モデルノ矢作	(32.1m・11F)
50	エスポア岡崎	(41.9m・15F)	128	セリジェ伊賀	(32.0m・11F)
51	リコット岡崎駅北	(41.9m・14F)	129	岡崎センタービル	(31.8m・9F)
52	グローリアス岡崎I	(41.8m・15F)	130	ユニブル東岡崎	(31.5m・11F)
53	ネオシティ岡崎南	(41.8m・15F)	131	スペクトルティアラ宇頭	(31.5m・11F)
54	グローリアス岡崎戸崎町	(41.6m・15F)	132	榊和光地所本社ビル	(31.5m・8F)
55	レゾンシティ岡崎駅前	(41.3m・14F)	133	ノスタルコート タワーパーキング	(31.5m・3F)
56	レゾンシティ竜美ヶ丘	(41.3m・14F)	134	岡崎市役所西庁舎	(31.4m・8F)
57	Heart Hills城北	(41.1m・14F)	135	フタバ産業(株)岡崎工場	(31.2m・7F)
58	藤和シティホームズ東岡崎	(41.1m・14F)	136	グレースメゾン光ヶ丘	(31.1m・11F)
59	ネオシティ岡崎	(41.0m・15F)	137	エスポワール舞木	(31.0m・11F)
60	モアグレース城北	(41.0m・14F)	138	コメルスファイブマンション	(31.0m・11F)
61	シャンボール康生	(40.7m・14F)	139	グラード岡崎	(30.9m・11F)
62	シャイニングヒルズ	(40.7m・13F)	140	フレストスクエア岡崎井田南町	(30.9m・11F)
63	ARIA22	(40.5m・14F)	141	サンシティ矢作パーク	(30.9m・11F)
64	サンシティ岡崎駅西	(40.4m・13F)	142	サンシティ矢作橋ガーデン	(30.9m・11F)
65	藤和シティコープ伝馬通	(40.4m・14F)	143	シャルマンコーポ戸崎	(30.7m・11F)
66	ミッドシティセントラル東岡崎 立体駐車場	(40.1m・1F)	144	シャトレー中岡崎	(30.7m・11F)
67	シャトレー康生ツイズ北館	(40.0m・14F)	145	サンシティ美合ガーデン	(30.7m・11F)
68	メーブルタワー竜美ヶ丘アネックス	(40.0m・14F)	146	サラーシティ大樹寺	(30.4m・11F)
69	レインボー城北	(39.9m・13F)	147	キングスコート久後崎	(30.4m・11F)
70	岡崎信用金庫 第2本部	(39.8m・8F)	148	グラントステージ岡崎	(30.4m・11F)
71	リフローレ岡崎駅WEST	(39.6m・13F)	149	グローリアス岡崎大和町	(30.4m・11F)
72	サンシティガーデンヒルズ光ヶ丘	(39.5m・14F)	150	キングスコート岡崎公園	(30.4m・11F)
73	藤和シティコープ東岡崎	(39.4m・14F)	151	シャンボール岡崎	(30.3m・11F)
74	ユニブル矢作	(39.3m・14F)	152	ユーハウス第2岡崎	(30.1m・11F)
75	藤和シティコープ岡崎	(39.3m・14F)	153	シャトー岡崎II番館	(30.0m・11F)
76	ライオンズマンション西岡崎	(39.1m・14F)	154	シャンボール西岡崎	(29.7m・11F)
77	第一生命・三井住友海上岡崎ビル	(38.8m・10F)	155	ユートピア小豆坂壱番館・式番館	(29.6m・11F)
78	セントラルガーデン・レジデンス岡崎(住居棟)	(38.8m・13F)			

(8) 火災予防条例諸届出状況

令和6年1月1日～令和6年12月31日

区 分	月 別												計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
喫煙、裸火使用 又は危険物品持込み 承認申請書	1	3	5	7	1	1	2	1		2	6	2	31
防火対象物届 使用開始	17	26	34	13	21	20	16	21	22	22	19	24	255
消防訓練実施届	190	198	221	236	374	250	171	242	335	343	336	193	3,089
炉等設置届	4	5	2	1	1	2	3	1		6	5	2	32
発電設備等設置届	7	13	5	7	4	7	4	5	4	9	3	7	75
ネオン管灯設備 設置届													
火災と紛らわしい煙又 は火炎を発生するおそれ のある行為届	27	12	10	6	9	12	14	7	18	22	38	106	281
煙火打上げ (仕掛け)届		2	6	3	3	5	2	10	36	11	4	2	84
溶接(溶断) 作業届	5	5	9	5	2	9	11	2	7	6	6	8	75
催物開催届		1	1		1	1			1		1		6
道路工事届	107	85	130	89	117	115	147	112	135	138	118	117	1,410
露店等の開設届出書	13	13	18	17	20	11	30	16	20	41	20	13	232
危険物貯蔵 (取扱い)開始届	4	8		3	3	1	9	4	3	3	4	2	44
危険物貯蔵 (取扱い)変更届	2	1	4	2	2	4	6	1	1	4	2	3	32
危険物貯蔵 (取扱い)廃止届	2	1		1	3	1	3			2			13
タンク検査申請書													
消防用設備等 工事計画届	52	38	54	41	45	43	68	42	35	51	47	58	574
計	431	411	499	431	606	482	486	464	617	660	609	537	6,233

(9) 消防訓練等実施状況

令和6年1月1日～令和6年12月31日

区 分	消防訓練	出前講座				合計
		起震車試乗	初期消火訓練	車両見学	小計	
	回数/人員	回数/人員	回数/人員	回数/人員	回数/人員	
事業所等	2,783	13	8	6	27	2,810
	97,126	783	167	85	1,035	98,161
学 校	101	14	3		17	118
	49,472	1,409	265		1,674	51,146
幼稚園 保育園	177			4	4	181
	26,009			343	343	26,352
防災防犯 協会		22	4		26	26
		1,454	215		1,669	1,669
そ の 他 (子供会等)		32	3	8	43	43
		1,684	150	277	2,111	2,111
合 計	3,061	81	18	18	117	3,178
	回数/人員 172,607	5,330	797	705	6,832	179,439

※ 消防訓練とは、消防法施行令第3条の2第3項の規定に基づき、学校、幼稚園・保育園、事業所等において実施する消火、通報及び避難の訓練をいう。

※ 出前講座とは、一般市民、自主防災組織等を対象に、災害予防、防災啓発等を目的として実施する講習会をいう。

(10) 起震車稼働状況

令和6年1月1日～令和6年12月31日

区分	稼働回数	搭乗人員	区分	稼働回数	搭乗人員
1月	4	290	7月	12	660
2月	5	385	8月	5	205
3月	3	355	9月	9	787
4月	2	350	10月	16	1,331
5月	5	789	11月	21	1,783
6月	17	1,341	12月	6	416
			合計	105	8,692

(1) 月別消防訓練等実施状況

令和6年1月1日～令和6年12月31日

区 分	消防訓練 回数/人員	出前講座				合計 回数/人員
		起震車試乗	初期消火訓練	車両見学	小計	
		回数/人員	回数/人員	回数/人員	回数/人員	
1月	142 10,898	3 180			3 180	145 11,078
2月	217 8,448	4 205	1 15	1 89	6 309	223 8,757
3月	246 9,156	2 75	4 64	1 7	7 146	253 9,302
4月	227 28,344	1 130	1 60		2 190	229 28,534
5月	304 12,671	4 193		2 54	6 247	310 12,918
6月	269 11,543	13 1,101		2 111	15 1,212	284 12,755
7月	186 8,643	10 540	1 35	2 49	13 624	199 9,267
8月	159 9,846	3 105	1 20	2 29	6 154	165 10,000
9月	355 19,701	8 567	2 110		10 677	365 20,378
10月	350 20,166	13 850	3 153	1 40	17 1,043	367 21,209
11月	362 18,305	16 1,133	3 280	6 308	25 1,721	387 20,026
12月	244 14,886	4 251	2 60	1 18	7 329	251 15,215
合 計	3,061	81	18	18	117	3,178
回数/人員	172,607	5,330	797	705	6,832	179,439

2 消 防 同 意

(1) 管轄区域別建築物同意状況 (敷地別)

令和6年1月1日～令和6年12月31日

区分	居 住 用		事 業 場											複 合 用 途 対 象 物	そ の 他	計	前 年 比 較						
	住	寄 宿 舎 ・ 共 同 住 宅	観 覧 場 ・ 集 会 場	キ ャ バ レ ー 遊 技 場	料 理 店 ・ 飲 食 店	百 貨 店 ・ マ ー ケ ッ ト	旅 館 ・ ホ テ ル	病 院 ・ 保 護 施 設	学 校	美 術 館 ・ 博 物 館	公 衆 浴 場	神 社 ・ 寺 院	工 場 ・ 作 業 場					車 庫 ・ 駐 車 場	倉 庫	事 務 所			
管轄区域別	本 署	163	21	3		1	4					10	11			5	1	4	15	10		248	△ 24
	北 分 署	12	2		1		4					3	1			7		3	3	2		39	△ 12
	花園出張所	3										1							1			5	3
	合 計	178	23	3	1	1	8					14	12			12	1	7	19	12		292	△ 33
中 消 防 署	本 署	23	7	1	1		2				4	4	3	1		3	1	4	4			55	5
	南 分 署	53	21			1	8				4	4	1				1	4	14	2		109	△ 44
	青野出張所	21	2				2				6	6				2	1	3	3	2		43	10
	額田出張所											1				2						3	△ 2
	本宿出張所	2																1	4	3		10	6
	形埜出張所																						
合 計	99	30	1	1	2	12					15	4	1	1	7	3	12	25	7		220	△ 27	
西 消 防 署	西消防署本署	30	4				3				7	2				6	1		8			61	△ 3
	合 計	307	57	4	2	3	23				36	18	1	2	25	5	19	52	19			573	△ 63

※ △印は、減を示す。

(2) 建築物構造別同意状況（棟別）

令和6年1月1日～令和6年12月31日

管轄区域別		区 分		耐 火	準耐火	そ の 他	計
中 消 防 署	本 署			14	31	225	270
	北 分 署			2	9	33	44
	花園出張所					5	5
	合 計			16	40	263	319
東 消 防 署	本 署			5	10	43	58
	南 分 署			6	21	99	126
	青野出張所				5	39	44
	額田出張所					3	3
	本宿出張所			12		14	26
	形埜出張所						
	合 計			23	36	198	257
西 消 防 署 本 署					13	51	64
総 合 計				39	89	512	640

(3) 建築物工事別同意状況（棟別）

令和6年1月1日～令和6年12月31日

区 分 管轄区域別		新 築	増 築	改 築	用 途 変 更	そ の 他	計
		中 消 防 署	本 署	257	9		2
北 分 署	40		4				44
花 園 出 張 所	5						5
合 計	302		13		2	2	319
東 消 防 署	本 署	55	3				58
	南 分 署	121	3		2		126
	青 野 出 張 所	39	5				44
	額 田 出 張 所	2	1				3
	本 宿 出 張 所	26					26
	形 埜 出 張 所						
	合 計	243	12		2		257
西消防署本署		64					64
総 合 計		609	25		4	2	640

3 危険物規制

(1) 管轄区域別危険物施設状況

令和6年1月1日～令和6年12月31日

管轄区域別		施設	製造所	屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	給油取扱所	第一種販売取扱所	第二種販売取扱所	一般取扱所	計
中消防署	本署		2	14	26	1	21		6	2	19 (5)	6		20	117
	北分署			19	1	2	6		1	1	14 (8)			13	57
	花園出張所			1	1		3		7		3 (1)			2	17
	合計		2	34	28	3	30		14	3	36 (14)	6		35	191
東消防署	本署			25	9	4	23		13	3	22 (13)	1		24	124
	南分署		2	6	4		10		5		17 (4)			7	51
	青野出張所		1	11	1		5		3	1	16 (9)			6	44
	額田出張所			6	3	1	4		2		7 (5)			4	27
	本宿出張所			13	9	3	6		1	1	8 (7)			11	52
	形埜出張所			6	2		1		1		3 (3)			3	16
	合計		3	67	28	8	49		25	5	73 (41)	1		55	314
西消防署本署				32	5	3	37		4	3	28 (21)		1	37	150
総合計			5	133	61	14	116		43	11	137 (76)	7	1	127	655

※ () 内は、自家用を示す。

(2) 危険物施設の推移

施設	年別										
	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年	令和 3年	令和 4年	令和 5年	令和 6年	
総 数	728	707	695	697	698	694	676	671	668	655	
製 造 所	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	
屋内貯蔵所	122	119	120	122	126	127	126	128	130	133	
屋外タンク 貯 蔵 所	79	70	72	72	70	69	68	67	66	61	
屋内タンク 貯 蔵 所	17	17	17	16	16	16	15	15	15	14	
地下タンク 貯 蔵 所	143	138	133	130	128	126	118	115	117	116	
簡易タンク 貯 蔵 所											
移動タンク 貯 蔵 所	38	40	39	44	43	47	46	45	43	43	
屋外貯蔵所	15	15	15	15	14	14	13	13	13	11	
給油取扱所	153 (82)	152 (83)	151 (83)	149 (82)	146 (80)	146 (80)	144 (80)	142 (79)	140 (78)	137 (76)	
第 一 種 販売取扱所	11	11	10	9	9	8	8	8	8	7	
第 二 種 販売取扱所	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	
一般取扱所	143	138	131	134	140	135	132	132	130	127	

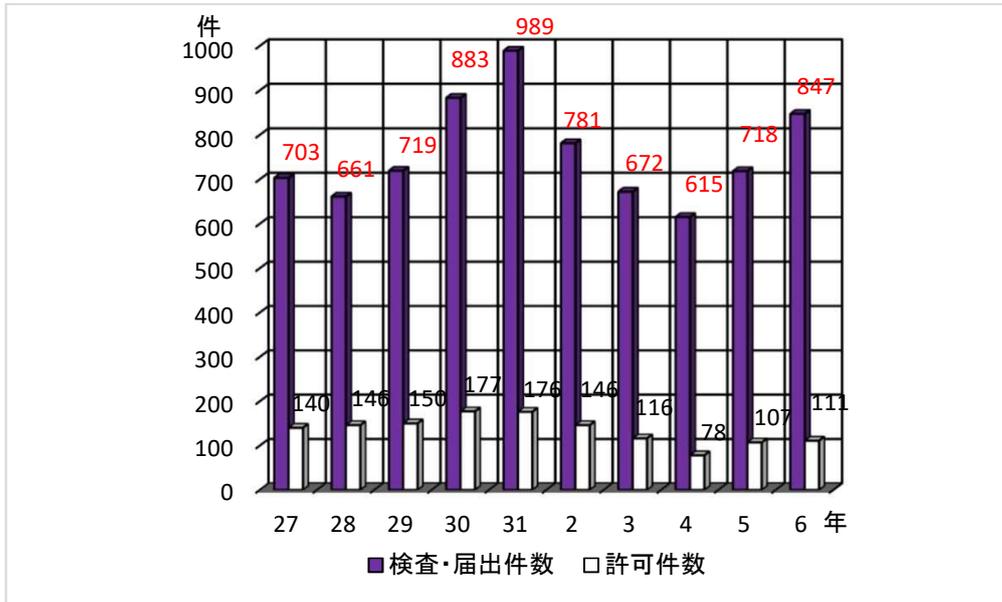
※ () 内は、自家用を示す。

(3) 月別危険物施設許可・検査状況

令和6年1月1日～令和6年12月31日

施設		月別		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計	
		月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	
設置 ・ 変更 許可	製造所	設置															
		変更				1					2						3
	屋内貯蔵所	設置		1			1									1	3
		変更									1					1	2
	屋外タンク貯蔵所	設置															
		変更															
	屋内タンク貯蔵所	設置															
		変更		1													1
	地下タンク貯蔵所	設置	1	1												1	3
		変更		2												1	3
	簡易タンク貯蔵所	設置															
		変更															
	移動タンク貯蔵所	設置			1						1						2
		変更										1		2		3	6
	屋外貯蔵所	設置															
		変更															
	給油取扱所	設置															
		変更	1	1		2	2			2	1	1	2	1	2		15
	第一種販売取扱所	設置															
		変更															
第二種販売取扱所	設置																
	変更																
一般取扱所	設置		1						1				1			3	
	変更	6	8	10	6	2	3	8	4	3	4	8	8			70	
小計			8	15	11	9	5	4	12	8	4	9	9	17		111	
検査	完成	製造所	2				1					2				5	
		貯蔵所	1		2	3	1				2	3	3	1			16
		取扱所	12	13	14	8	7	4	4	11	4	4	5	9			95
	完成検査前	水張・水圧	1		3	5	11	4		2	2	3	2	2		35	
小計			16	13	19	16	20	8	4	15	11	10	8	11		151	
合計			24	28	30	25	25	12	16	23	15	19	17	28		262	

(4) 危険物施設許可件数等の推移状況



(5) 危険物施設等届出状況

令和6年1月1日～令和6年12月31日

区分	月別												計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
仮使用承認申請書	13	7	13	8	4		13	6	5	6	10	7	92
予防規程制定変更許可申請書			1		1		1	1	2	1		1	8
譲渡引渡届出書								1					1
品名、数量又は指定数量の 倍数変更届出書	1	2	2	1	2	2	3	1	2		2	3	21
廃止届出書	1		1		1			10	3	3	2	1	22
資料提出書	18	16	13	11	6	7	9	4	12	18	24	10	148
変更届出書	3	3		7	7	5	17	1	5	1	2	1	52
事故発生届出書			1	1					1			1	4
休止・再開届出書					1		2			2			5
完成検査済証再交付申請書													
仮貯蔵・仮取扱承認申請書	1	1	1	3					1	1		2	10
保安監督者選任・解任届出書	5	7	5	20	5	4	12		5	27	7	9	106
液化石油ガス設備工事届出書				1	5	1	2		2	1	1		13
圧縮アセチレンガス等の貯蔵 又は取扱の開始（廃止）届出	4	12	22	7	4	6	10	7	12	8	4	7	103
計	46	48	59	59	36	25	69	31	50	68	52	42	585

外郭団体

1 岡崎市危険物保安連絡協議会

昭和32年に「危険物災害の絶無と防災思想の普及徹底」を目的として、危険物施設を有する事業所及び目的に賛同する事業所をもって発足した岡崎市危険物安全協会は、平成10年4月に目的を同じくする岡崎市防火協力会と合併、名称を岡崎市危険物防火安全協会と改めるとともに岡崎市に隣接する旧額田町の消防事務を受託したことに伴い、旧額田町から危険物施設を有する会員が加入した。平成15年4月には、防災への万全を期するために、趣旨を同じくする岡崎市自衛消防隊連絡協議会と合併し、名称を「岡崎市危険物保安連絡協議会」と改める。

平成29年には創立60周年を記念して、災害の絶無と地域社会の安全確保への貢献を目的とし、消防広報車を寄贈するなどの記念事業を実施し、地域社会の安全にも寄与している。

現在、219会員（内12団体会員含む）を数え、目的達成のため活動している。



機械器具取扱講習会



初期消火技術発表会



研修会



消防広報車
(60周年記念事業)

岡崎市危険物保安連絡協議会構成表

令和7年4月1日

区 分	事業所数	団 体 名
ガソリンスタンド	28	愛知県自動車整備振興会岡崎支部
その他の工場	40	岡崎建設協会
その他の事業所	22	(一社)岡崎市医師会
運輸・通信	20	(一社)岡崎歯科医師会
化学	3	岡崎資源回収協同組合
各種団体	12	岡崎市消防設備士会
学校等	6	岡崎燃料商業協同組合
官公署	1	岡崎ホテル旅館業組合
機械製造	20	岡崎麺類工業組合
金融・保険	2	岡崎木材組合
鉱業	8	岡崎遊技業協同組合
晒・染色	1	中部反毛工業協同組合
自動車整備	6	
食品	11	
電気・ガス	6	
電気機器	4	
塗料販売	9	
燃料販売	16	
病院・診療所	1	
紡績・化繊	3	
計 219 会員		計 12 団体

岡崎市危険物保安連絡協議会

自衛消防力業態別消防機械現有表

令和7年4月1日

業 態 別	運 輸 ・ 通 信	化 学 学 校 等	機 械 製 造	自 動 車 整 備	食 品	電 気 ・ ガ ス	電 気 機 器	塗 料 販 売	紡 績 ・ 化 繊	そ の 他 の 工 場	そ の 他 事 業 所	総 計
会 員	2		18		6	1	4	1	3	20	1	56
消 防 ポ ン プ 自 動 車			1						1	2		4
化 学 消 防 車			2						1			3
小 型 動 力 ポ ン プ			7		5		1	1	1	16		31

2 岡崎市女性防災クラブ連絡協議会

令和6年度より、「岡崎市婦人自主防災クラブ連絡協議会」から「岡崎市女性防災クラブ」に名称を変更。

本協議会は、家庭内防火、家庭内救急を目的とした自主防災づくりに昭和56年から着手し、現在、市内全域にわたって29クラブ499人のクラブ員で編成されている。

クラブ員は、家庭からの出火防止や、いざというときのために消火器の取扱い訓練を行っているほか、予期せぬけがや急病に備えて、心肺蘇生法や止血法などの技術を身につける普通救命講習を積極的に受講している。

また、南海トラフ巨大地震の発生が懸念されていることから、従来の家庭内防火・救急に加え、防災面の強化を重点目標に掲げ、炊き出し訓練をはじめとして、地域の防災リーダーとして活躍している。



定期総会



クラブ活動研修会



新クラブ員消防教室



防災訓練

岡崎市女性防災クラブ連絡協議会

令和7年4月1日

名 称 (女性防災クラブ)	地 区
広 幡 地 区	岡崎市 広幡学区
井 田 地 区	〃 井田学区
愛 宕 地 区	〃 愛宕学区
連 尺 地 区	〃 連尺学区
梅 園 地 区	〃 梅園学区
根 石 地 区	〃 根石学区
竜 美 丘 地 区	〃 竜美丘学区
六 名 地 区	〃 六名学区
羽 根 地 区	〃 羽根学区
小 豆 坂 地 区	〃 小豆坂学区
岡 崎 地 区	〃 岡崎学区、城南学区
緑 丘 地 区	〃 緑丘学区
美 合 地 区	〃 美合学区
男 川 地 区	〃 男川学区
上 地 地 区	〃 上地1丁目～6丁目
竜 谷 地 区	〃 竜谷学区
藤 川 地 区	〃 藤川学区
山 中 地 区	〃 山中学区
岩 津 地 区	〃 岩津学区
大 樹 寺 地 区	〃 大樹寺学区
細 川 地 区	〃 細川学区
大 門 地 区	〃 大門学区
矢 作 東 地 区	〃 矢作東学区
矢 作 南 地 区	〃 矢作南学区
北 野 地 区	〃 北野学区
六 ツ 美 北 部	〃 六ツ美北部学区
六 ツ 美 西 部	〃 六ツ美西部学区
六 ツ 美 南 部	〃 六ツ美南部学区
額 田 地 区	〃 豊富学区、夏山学区、宮崎学区、形埜学区、下山学区
クラブ数 29クラブ	

3 岡崎市少年消防クラブ運営指導協議会

少年消防クラブ（BFC）は、昭和26年、各町単位として自主的に結成し、火の用心、夜回り、防火ポスター、習字等の展示など火災予防活動を行っていたが、昭和43年3月、各クラブの連絡調整を図るため、各小中学校単位に連合クラブを組織し、町単位の連絡調整を図るため、町単位の活動に併せた学区単位による防火活動が展開され、大きな成果を収めている。

現在69連合クラブ、単位クラブが学校教育の一環として、火に対する知識を養い、火災予防への関心を高めるとともに、地域住民に対し防災意識の高揚と防火思想の普及に努めている。



少年消防クラブ

令和7年4月1日

区 分	ク ラ ブ 数	ク ラ ブ 員 数
中 学 校	21	11,079人
小 学 校	48	7,095人

表 彰

全国少年消防クラブ
運営指導協議会長表彰（平成26年度まで）

表彰旗	楯	記念品	指導者
16	17	7	14

優良少年消防クラブ・指導者表彰
（総務省消防庁 平成27年度から）

表彰旗	楯	指導者
	4	

愛知県少年消防クラブ運営指導協議会表彰

表彰旗	竿頭綬(表彰楯)		指導者
	連合クラブ	単位クラブ	
39	48	6	67

岡崎市少年消防クラブ
運営指導協議会長表彰

指導委員会	市制記念日	出初式	指導者
80	21	27	125

財団法人 日本防火協会会長表彰

優良クラブ	優良指導者
3	2

4 岡崎市幼年消防クラブ運営指導協議会

平成23年3月11日に発生した東日本大震災では、津波により多くの方々が犠牲となったが、岩手県釜石市では、市内約3,000人の児童生徒のほとんどが津波から逃れ無事であったことから「釜石の奇跡」と呼ばれている。これを契機に、「鉄は熱いうちに打て」とのことわざもあるように、防災に関する教育も幼年期から始め、火に対するしつけや地震に対する対応力などを身につけることが必要である。

そうしたことから、本市においても幼年期から、正しい火の取扱いや消防の仕事を学ぶことで、火遊び等による火災の減少を図るとともに将来、人命を尊重し、財産の保全を図る社会人としての素地をかん養することを目的に、平成26年4月1日、岡崎市幼年消防クラブ運営指導協議会並びに各保育園・幼稚園において幼年消防クラブが結成され、平成26年5月16日には78幼年消防クラブを結集した岡崎市幼年消防クラブ（CFC）が発足した。

現在、防火作品作成、消防庁舎見学及びその他の活動を通じて火災予防への関心を高めるとともに、実災害に対応できるクラブ員を育成している。



幼年消防クラブ

令和7年4月1日

区 分	ク ラ ブ 数	ク ラ ブ 員 数
公立保育園	32	2,546人
私立保育園	20	1,922人
公立こども園	3	310人
私立幼稚園	20	3,234人
私立こども園	2	256人
合計	77	8,268人

通 信



消 防 通 信

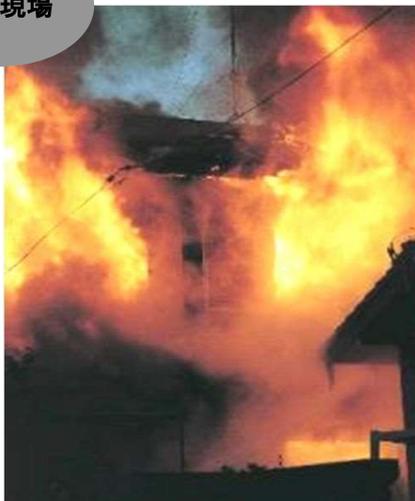
通信業務は、市民からの119番通報の受付や各署所への出動指令、災害情報の収集と伝達、気象情報の収集等を行う消防機関の中核である。

近年では情報通信メディアの発達に伴い、一般固定電話からの通報だけではなく、携帯電話やIP電話等からの通報も増加の一途をたどっている。また、都市構造と同じく複雑多様化した災害に対応すべく、共同通信課では最新のコンピュータ技術を駆使したシステムにより、市民生活の安全確保に努めている。

その他にテレホンガイドによる災害情報及び火災予防の広報を実施し、市民の防災意識の高揚を図り、また、救急要請の通報時の内容によっては、傷病者等に対する応急手当の口頭指導を行い、救命率の向上に努めている。

災害通報の受付から出動までの流れ

災害現場



通
報



固定、携帯、IP電話・FAX・メール119・Net119等による緊急通報

受
付



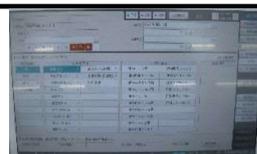
緊急通報を受け付けます。

出
動
指
令



出動指令により、災害発生場所へ出動します。

種
別
判
定



通報内容から火災・救急等を判定します。

出
動
隊
編
成



災害状況に応じた出動隊を自動的に編成します。

災
害
地
点
の
決
定



通報された住所や付近の目標で地図表示し、災害発生地点を決定します。

1 通信施設状況

令和7年4月1日

基地局・固定局概要						
名称	種別	呼出名称	送受信波種類	設置又は常置場所	空中線電力	適用
市役所東庁舎基地局	基地局	おかざきしょうぼう第1装置	活動波1（消防波1）	朝日町3丁目 1番地	10W	
		おかざきしょうぼう第2装置	活動波2（消防波2）	〃	10W	
		おかざきしょうぼう第3装置	主運用波3（県運用波）	〃	10W	
		おかざきしょうぼう第4装置	共通予備	〃	10W	
		おかざきしょうぼう第5装置	共通予備	〃	10W	
		おかざきしょうぼう第6装置	活動波3（消防波3）	〃	10W	
		おかざきしょうぼう第7装置	活動波4（救急波）	〃	10W	
		おかざきしょうぼう第8装置	活動波予備	〃	10W	
		おかざきしょうぼう第9装置	統制波1	〃	5W	
		おかざきしょうぼう第10装置	統制波2	〃	5W	
		おかざきしょうぼう第11装置	統制波3	〃	5W	
		おかざきしょうぼう第12装置	統制波予備	〃	5W	
		固定局	ぼうさいおかざき	桑谷中継局向け	〃	13mW
桑谷中継局	基地局	おかざきしょうぼうくわがい第1装置	活動波1（消防波1）	桑谷町字雨山 2番地538	5W	
		おかざきしょうぼうくわがい第2装置	活動波2（消防波2）	〃	5W	
		おかざきしょうぼうくわがい第3装置	主運用波3（県運用波）	〃	5W	
		おかざきしょうぼうくわがい第4装置	共通予備	〃	5W	
		おかざきしょうぼうくわがい第5装置	共通予備	〃	5W	
		おかざきしょうぼうくわがい第6装置	活動波3（消防波3）	〃	5W	
		おかざきしょうぼうくわがい第7装置	活動波4（救急波）	〃	5W	
		おかざきしょうぼうくわがい第8装置	活動波予備	〃	5W	
	固定局	ぼうさいくわがい	市役所向け	〃	13mW	防災課所管
		ぼうさいくわがい	桜形中継局向け	〃	13mW	防災課所管
		おかざきしょうぼうくわがい第1装置 （装置は基地局と兼用）	岡崎東IC局向け 活動波3（消防波3）	〃	5W	新東名 本宮山トンネル用
		おかざきしょうぼうくわがい第2装置 （装置は基地局と兼用）	岡崎東IC局向け 活動波予備	〃	5W	新東名 本宮山トンネル用

基地局・固定局概要						
桜形中継局	基地局	おかざきしょうぼうさくらがた第1装置	活動波1（消防波1）	桜形町字柿本 28番地	10W	
		おかざきしょうぼうさくらがた第2装置	活動波2（消防波2）	〃	10W	
		おかざきしょうぼうさくらがた第3装置	主運用波3（県運用波）	〃	10W	
		おかざきしょうぼうさくらがた第4装置	共通予備	〃	10W	
		おかざきしょうぼうさくらがた第5装置	共通予備	〃	10W	
		おかざきしょうぼうさくらがた第6装置	活動波3（消防波3）	〃	10W	
		おかざきしょうぼうさくらがた第7装置	活動波4（救急波）	〃	10W	
		おかざきしょうぼうさくらがた第8装置	活動波予備	〃	10W	
		おかざきしょうぼうさくらがた第9装置	統制波1/2/3	〃	1W	周波数 切り替え方式
		おかざきしょうぼうさくらがた第10装置	統制波予備	〃	1W	
固定局	ぼうさいさくらがた	桑谷中継局向け	〃	13mW	防災課所管	
村積山中継局	基地局	おかざきしょうぼうむらづみやま第1装置	活動波3（消防波3）	奥山田町字山田 53番地16	5W	
		おかざきしょうぼうむらづみやま第2装置	活動波4（救急波）	〃	5W	
		おかざきしょうぼうむらづみやま第3装置	活動波予備	〃	5W	
雨山中継局	基地局	おかざきしょうぼうあめやま第1装置	活動波3（消防波3）	雨山町字越タワ道東 1番地5	10W	
		おかざきしょうぼうあめやま第2装置	活動波4（救急波）	〃	10W	
		おかざきしょうぼうあめやま第3装置	活動波予備	〃	10W	
岡崎東IC局	固定局	おかざきしょうぼうとんねるちゅうけい第1装置	桑谷中継局向け 活動波3（消防波3）	檜山町字半木沢 6番地2	5W	新東名本宮山 トンネル用
本宮山基地局	基地局	しょうぼうほんぐうさんとんねる第1装置	主運用波3（県運用波）	豊川市千両町鞍狭間 33番地133	10W 1W 0.01W	新東名本宮山 トンネル用
		しょうぼうほんぐうさんとんねる第2装置	主運用波3（県運用波）	〃	10W 1W 0.01W	新東名本宮山 トンネル用

区分	所属別	消防本部				中消防署			東消防署					西消防署本署	消防団	岡崎市民病院	合計	
		総務課	予防課	消防救急課	共同通信課	本署	北分署	花園出張所	本署	南分署	青野出張所	額田出張所	本宿出張所	形埜出張所				
無線電話	高度情報通信ネットワーク				1												1	
	岡崎市デジタル地域防災無線(副統制台)				1												1	
	岡崎市デジタル地域防災無線(半固定局)				1												1	
	可搬型衛星地球局(VSAT)					1											1	
	卓上					2	1	1	1	1	1	1	1	1			11	
	車載	1	5	5		16	5	3	10	6	3	4	3	3	9	47	1	121
	携帯				2	7	3	2	6	4	2	2	2	2	5			37
	可搬			1	1	1			1									4
	署活無線				18	20	7	5	15	10	7	7	5	4	11			109
	受令機				5											64		69
簡易デジタル無線			1	5	1			1							111		119	
有線電話	電話(火災報知専用回線)	1	1	9		16											16	
	衛星回線				2												2	
	高速道路専用回線				1												1	
	東邦ガス専用回線				1												1	
	一般加入回線				11		3	2	3	3	3	3	2	2	3		35	
	庁内(VSAT用内線)				1												1	
	署所間内線数						2	2	3	2	2	2	2	2	3		20	
	指令回線					1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		10	
災害状況等自動案内回線				32													32	
車両運用端末装置					11	4	2	8	5	2	3	2	2	8		1	48	
携帯電話	1	1	1		6	2	2	3	4	2	2	2	2	3			31	
衛星携帯電話	1				1			1						1			4	
FAX(災害・事務用)		1		2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			13	
メール119用タブレット型端末				1													1	
タブレット型端末				1	1			1									3	
Net119兼災害現場映像通報システム用端末				2													2	

※ 火災報知専用電話(回線)の内訳は消防防災・震災対策現況調査の入力要領に準ずる。

※ 有線電話については、アナログ回線1契約につき1回線、デジタル回線1契約につき2回線で計上する。

※ 指令回線は内線も併用する。

2 緊急通報覚知別月別状況

令和6年中

覚知別		月別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
		月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	
火	119番通報	固定電話	2	1			1	1			1			1	7
		携帯電話	6	4	6	4	4	4	2	5	5	5	5	10	60
		I P電話	1	2	2	1		1		1		2			10
		加入電話				1			1	1					3
		警察電話													
		駆け付け通報													
		事後聞知				3					1		4		8
		その他									1				1
		計	9	7	8	9	5	6	3	7	8	7	9	11	89
救	119番通報	固定電話	252	218	232	196	185	190	268	255	196	178	188	300	2,658
		携帯電話	953	789	832	791	831	774	1,099	965	812	818	777	1,096	10,537
		I P電話	563	485	509	435	455	434	501	479	441	454	445	583	5,784
		加入電話	3	9	4	11	10	6	5	12	7	7	6	10	90
		駆け付け通報	3	2	3	3	5	4	1	2		1		3	27
		その他	3	3	13	8	8	11	4	19	13	8	8	10	108
		計	1,777	1,506	1,593	1,444	1,494	1,419	1,878	1,732	1,469	1,466	1,424	2,002	19,204
助	119番通報	固定電話	1	1	3		2	5			2	4		1	19
		携帯電話	19	10	17	12	16	15	16	12	12	12	12	19	172
		I P電話	3	2	1		1	1	1	3			1	1	14
		加入電話		5	1	1	2	1	3	2	1		2	1	19
		駆け付け通報													
		その他				1		1				1		1	4
		計	23	18	22	14	21	23	20	17	15	17	15	23	228

※ その他は東名専用・無線・Net119・メール119等を含む。

3 119番月別受信状況

(1) 指令台

令和6年中

内 訳		月 別												計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
火災通報	固定	2	2	1	1	3	1		1	2		2	1	16
	携帯	9	11	7	16	12	16	5	18	8	8	42	15	167
	IP	2	3	2	1		6		2		2	3		21
	小計	13	16	10	18	15	23	5	21	10	10	47	16	204
救急通報	固定	234	212	228	203	186	191	248	259	187	175	191	285	2,599
	携帯	950	776	823	785	825	776	1,091	950	786	802	769	1,084	10,417
	IP	582	489	510	435	453	431	502	476	445	445	449	587	5,804
	小計	1,766	1,477	1,561	1,423	1,464	1,398	1,841	1,685	1,418	1,422	1,409	1,956	18,820
救助通報	固定			2	1		1			2			1	7
	携帯	19	13	16	13	11	16	16	12	11	10	11	17	165
	IP	3	3	1		1	1	1	2				1	13
	小計	22	16	19	14	12	18	17	14	13	10	11	19	185
その他の災害通報	固定		2		1	2	4	1	2	2		1		15
	携帯	23	7	11	5	15	17	13	16	21	14	20	18	180
	IP	1	3		2	3	2	3		4		2	2	22
	小計	24	12	11	8	20	23	17	18	27	14	23	20	217
通報訓練	固定	22	43	22	5	27	42	18	20	36	30	28	18	311
	携帯	5	17	11	16	20	13	26	12	23	27	37	21	228
	IP	14	28	28	44	50	37	14	19	47	57	43	27	408
	小計	41	88	61	65	97	92	58	51	106	114	108	66	947
医療機関問合せ	固定				1			1		3	6		1	12
	携帯	6	2	4	4	2	4	1	1	3		2	7	36
	IP	1			1			1	3		1		3	10
	小計	7	2	4	6	2	4	3	4	6	7	2	11	58
各種問合せ 間違い等	固定	28	26	28	45	34	41	55	37	36	69	48	33	480
	携帯	237	204	254	227	266	273	299	354	272	233	213	318	3,150
	IP	36	32	36	33	46	28	44	47	36	26	38	42	444
	小計	301	262	318	305	346	342	398	438	344	328	299	393	4,074
他都市へ 転送	固定	1							1					2
	携帯	20	18	23	19	23	24	25	33	38	23	40	41	327
	IP	1	1		1	2				1			2	8
	小計	22	19	23	20	25	24	25	34	39	23	40	43	337
火通呼返 予約	固定	92	64	86	100	59	89	129	48	72	113	86	62	1,000
	携帯			2	3			2						7
	IP	3	6	2	1	1	3	3			4	3		26
	小計	95	70	90	104	60	92	134	48	72	117	89	62	1,033
計	固定	379	349	367	357	311	369	452	368	340	393	356	401	4,442
	携帯	1,269	1,048	1,151	1,088	1,174	1,139	1,478	1,396	1,162	1,117	1,134	1,521	14,677
	IP	643	565	579	518	556	508	568	549	533	535	538	664	6,756
合 計	2,291	1,962	2,097	1,963	2,041	2,016	2,498	2,313	2,035	2,045	2,028	2,586	25,875	

※ 東名専用・無線・Net119・メール119は含まない。

※ 他都市へ転送は幸田町の通報を含む。

(2) 他都市転送

令和6年中

内 訳		月 別												計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
火災通報	固定													
	携帯	1			1	1	1		1	1		2	2	10
	I P													
	小計	1			1	1	1		1	1		2	2	10
救急通報	固定	1	1						1					3
	携帯	16	18	21	18	22	23	25	31	37	23	37	37	308
	I P	1				2				1			2	6
	小計	18	19	21	18	24	23	25	32	38	23	37	39	317
救助通報	固定													
	携帯											1		1
	I P													
	小計											1		1
その他の災害通報	固定													
	携帯	1			1				1				1	4
	I P													
	小計	1			1				1				1	4
医療機関問合せ	固定													
	携帯												1	1
	I P													
	小計												1	1
相談等	固定													
	携帯	2		2										4
	I P													
	小計	2		2										4
計	固定	1	1						1					3
	携帯	20	18	23	20	23	24	25	33	38	23	40	41	328
	I P	1				2				1			2	6
合 計		22	19	23	20	25	24	25	34	39	23	40	43	337

4 緊急通報装置月別受信状況

令和6年中

件 数		月 別												計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
件 数		2	3	7	5	4	3	2	6	4	1	3	2	42

※ 緊急通報装置による通報は全て救急要請

5 第三者緊急通報月別受信状況

令和6年中

件 数		月 別												計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
件 数				1	2	3	4	2	5	1	2	4	4	28

6 聴覚・言語機能障がい者用緊急通報 各通報月別受信状況

(1) メール119・FAX119月別受信状況

令和6年中

内 訳	月 別												計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
火災通報													
救急通報													
救助通報													
その他の災害通報													
問合せ等													
合 計													

(2) Net119 (令和元年10月1日運用開始)

令和6年中

内 訳	月 別												計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
火災通報													
救急通報		1								1			2
救助通報													
その他の災害通報													
問合せ等													
合 計		1								1			2

(3) 最近5年間の聴覚・言語機能障がい者用緊急通報システムの通報件数の推移

年 別	区 分	火 災	救 急	救 助	そ の 他	計
		令和2年	メール			
	FAX					
	Net		3		1	4
令和3年	メール					
	FAX					
	Net		1			1
令和4年	メール					
	FAX		1			1
	Net		3			3
令和5年	メール					
	FAX					
	Net		1			1
令和6年	メール					
	FAX					
	Net		2			2

7 最近5年間119番通報件数の推移

(1) 固定電話

年 別 \ 区 分	火 災	救 急	救 助	その他	計
令 和 2 年	28	2,986	11	1,910	4,935
令 和 3 年	28	2,858	14	1,715	4,615
令 和 4 年	15	2,938	14	1,720	4,687
令 和 5 年	12	2,749	14	1,859	4,634
令 和 6 年	16	2,599	7	1,820	4,442

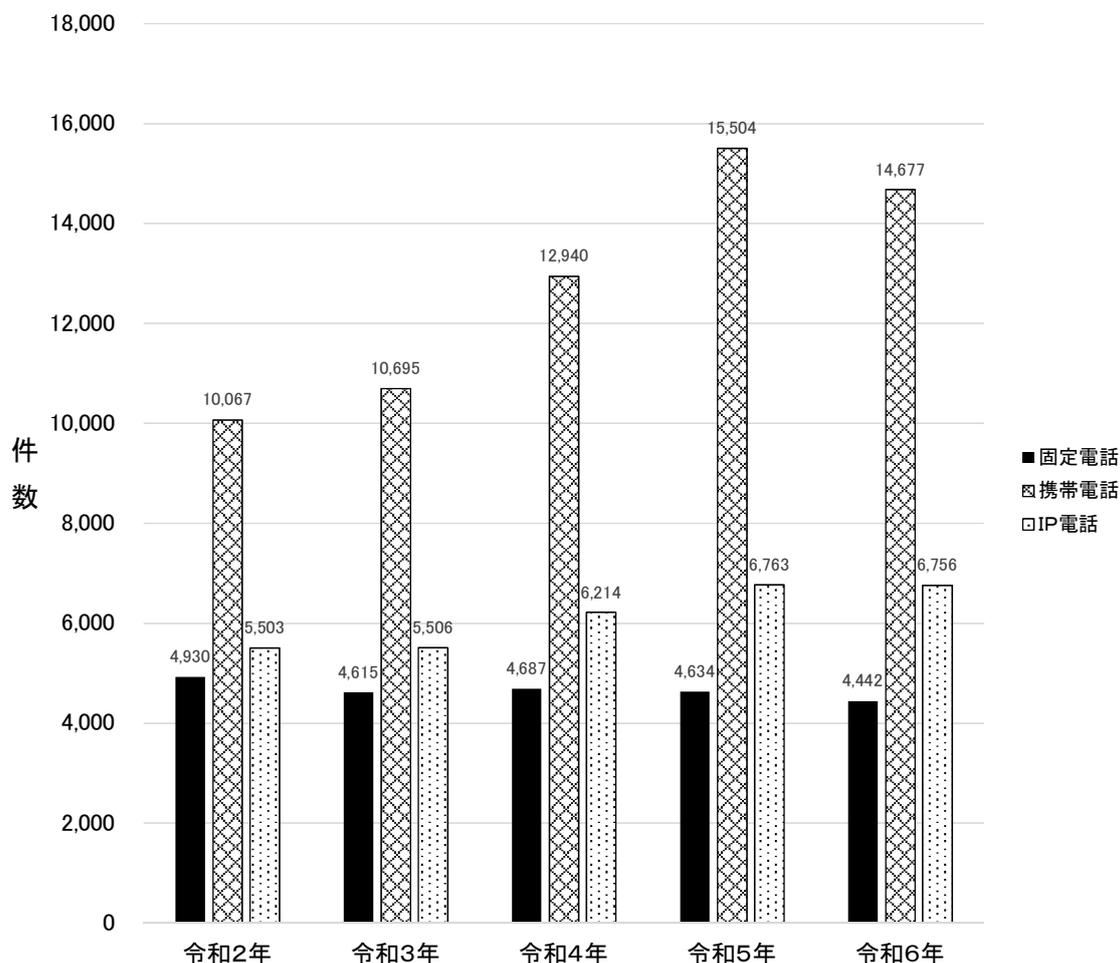
(2) 携帯電話

年 別 \ 区 分	火 災	救 急	救 助	その他	計
令 和 2 年	157	6,855	113	2,942	10,067
令 和 3 年	126	7,342	156	3,071	10,695
令 和 4 年	133	8,756	183	3,868	12,940
令 和 5 年	188	10,133	215	4,968	15,504
令 和 6 年	167	10,417	165	3,928	14,677

※ 携帯電話はPHS含む。

(3) IP電話

年 別 \ 区 分	火 災	救 急	救 助	その他	計
令 和 2 年	56	4,623	10	814	5,503
令 和 3 年	22	4,658	20	806	5,506
令 和 4 年	26	5,238	27	923	6,214
令 和 5 年	38	5,719	23	983	6,763
令 和 6 年	21	5,804	13	918	6,756



気 象

1 月別気象状況

令和6年中

区 分		月 別											
		1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
風 速 (m/s)	平均	1.2	1.4	1.7	1.5	1.8	1.4	1.3	1.5	1.3	1.0	1.1	1.2
	最大	19.7	16.3	20.3	22.7	21.3	14.4	14.6	14.3	15.9	15.8	16.7	14.2
湿 度 (%)	平均	63.5	65.5	61.3	68.1	68.4	74.0	73.4	74.7	76.0	77.8	69.4	62.1
	最低	19.4	22.7	17.4	16.6	14.9	30.2	35.8	33.6	39.1	29.4	28.8	24.9
気 温 (°C)	平均	5.9	8.1	9.0	17.3	19.5	23.4	29.3	29.7	27.7	21.4	14.5	6.7
	最高	15.5	21.8	23.4	27.4	30.9	31.6	38.2	38.9	36.9	32.5	25.0	17.9
	最低	-2.6	-1.0	-1.0	6.5	8.1	13.8	20.9	22.5	20.0	12.0	3.2	-1.0

2 月別降水量

令和6年中

区 分	月 別												計
	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	
日 数 (日)	5	10	13	11	13	13	10	11	9	16	7	0	118
降水量 (mm)	16.0	87.0	183.0	116.0	216.5	211.0	108.5	278.0	63.5	175.5	93.5	0.0	1,548.5
時間最大 (mm)	2.5	8.0	18.5	10.5	18.0	16.5	18.0	50.0	16.5	13.5	23.0	0.0	

3 最近5年間の気象状況

年 別	気 温 (°C)			風 速 (m/s)		降 水 量 (mm)		湿度 (%)
	平均	最高	最低	最大	風向	降水量	最大日量	平均
令 和 2 年	16.8	38.9	-2.2	20.1	南	1,664.0	6月30日 96.0	68.9
令 和 3 年	16.7	38.5	-4.6	23.9	南南西	1,620.5	7月2日 87.0	69.5
令 和 4 年	16.6	38.2	-2.9	22.2	南	1,525.5	9月23日 156.5	69.3
令 和 5 年	17.2	38.5	-4.2	21.3	南南西	1,508.5	6月2日 206.0	68.9
令 和 6 年	17.7	38.9	-2.6	22.7	北西	1,548.5	8月25日 72.0	69.5

救 急 ・ 救 助



救 急 出 場

令和6年中の救急出場件数は19,204件で、搬送人員は17,731人であった。

前年と比較すると出場件数で123件増加し、搬送人員では140人増加している。

種別内訳では、急病13,212件(69%)で、続いて一般負傷2,579件(13%)、その他1,808件(9%)、交通事故1,052件(5%)の順となっている。

自然災害、交通事故、運動競技、自損行為は減少となっているが、他の種別については増加となっている。



1 事故種別出場状況（前年との比較）

事故種別	火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
令和5年	38	3	4	1,090	185	133	2,556	42	200	13,163	1,667	19,081
令和6年	41	1	5	1,052	186	101	2,579	52	167	13,212	1,808	19,204
増減数	3	△2	1	△38	1	△32	23	10	△33	49	141	123

※ 「その他」とは、転院搬送、医師搬送、医療資器材輸送等を含む。 △は減を示す。

2 管内、管外別出場状況

区分 署所別	出場 件数	搬 送 件 数	搬 送 人 員	事故種別 出場件数											
				火 災	自 然 災 害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	
中 消 防 署	本 署	5,686	5,086	5,111	(8) 9		(2) 2	(38) 324		(1) 48	(60) 32	(1) 14	(12) 53	(356) 3,918	(122) 481
	北分署	2,010	1,845	1,861	(5) 6		(2) 2	(13) 116	(1) 23		(21) 8	(1) 2	(5) 9	(84) 1,487	(33) 88
	花園出張所	690	642	644				(3) 26		2	(7) 1		4	(32) 393	(6) 171
	合 計	8,386	7,573	7,616	(13) 15		(4) 4	(54) 466	(1) 73	(1) 41	(88) 1,164	(2) 19	(17) 66	(472) 5,798	(161) 740
東 消 防 署	本 署	2,230	2,086	2,097	(4) 5			(16) 108		(3) 26	(12) 293	(1) 8	(5) 18	(79) 1,508	(24) 234
	南分署	3,756	3,490	3,502	(6) 12	1		(18) 181			(25) 485	(1) 13	(6) 23	(162) 2,572	(48) 436
	青野出張所	1,221	1,140	1,144	(1) 2			(5) 66			(1) 139	(1) 2	(4) 12	(56) 864	(13) 113
	額田出張所	381	355	359				(5) 25	(1) 6				(2) 7	(17) 251	(1) 27
	本宿出張所	667	619	619	(1) 1			(4) 22		7	(5) 89		5	(31) 408	(7) 131
	形埜出張所	133	118	118				(2) 12		4				(13) 92	
	合 計	8,388	7,808	7,839	(12) 20	1		(50) 414	(1) 89	(3) 42	(43) 1,093	(3) 25	(17) 66	(358) 5,695	(93) 943
西消防署 本 署	2,408	2,226	2,249	(4) 6			(10) 156	(1) 24		(20) 321	(1) 8	(10) 35	(105) 1,715	(31) 125	
管 外	22	18	27			(1) 1	(2) 16			(1) 1				4	
総 合 計	(1,579) 19,204	17,625	17,731	(29) 41	1	(5) 5	(116) 1,052	(3) 186	(4) 101	(152) 2,579	(6) 52	(44) 167	(935) 13,212	(285) 1,808	

※ () 内は、不搬送件数を示す。

3 管外出場状況

区分 市町村別	出場 件数	搬 送 件 数	搬 送 人 員	事故種別 出場件数										
				火 災	自 然 災 害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
豊 川 市	(1) 5	4	4				(1) 4							1
豊 田 市	(2) 5	3	3			(1) 1	(1) 4							
安 城 市	3	3	6				3							
西 尾 市														
新 城 市	5	5	11				5							
幸 田 町	(1) 4	3	3							(1) 1			3	
合 計	(4) 22	18	27			(1) 1	(2) 16			(1) 1			4	

※ () 内は、不搬送件数を示す。

4 事故種別不搬送理由

事故種別 不搬送理由	火 災	自 然 災 害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	合 計
辞退（到着前）							3		1	12	1	17
辞退（到着後）	2			79	2	4	100	4	7	476	92	766
拒否				27			46	1	9	149	9	241
明らかな死亡	4		3	3				1	25	289	3	328
他車（隊）搬送			1	2	1					7	3	14
傷病者なし	22			3			3				40	68
誤報・いたずら											101	101
その他	1		1	2					2	2	36	44
合計	29		5	116	3	4	152	6	44	935	285	1,579

5 時間帯別出場状況

事故種別 時間帯別内訳	火 災	自 然 災 害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	合 計
0～2				14	1		77	11	15	705	51	874
2～4	2			19	2		70		10	581	35	719
4～6	3			18	5		85	3	6	622	36	778
6～8	2		1	100	4		176	1	9	1046	28	1,367
8～10	3			137	32	9	349	5	11	1,572	153	2,271
10～12	6		1	118	39	32	338	2	16	1,524	388	2,464
12～14	5			120	28	24	305	4	13	1,281	327	2,107
14～16	3			125	34	16	301	3	16	1,299	195	1,992
16～18	5	1	2	153	26	9	268	2	17	1,294	275	2,052
18～20	2			132	8	4	287	9	19	1,277	163	1,901
20～22	1			74	5	6	199	6	24	1,131	84	1,530
22～24	9		1	42	2	1	124	6	11	880	73	1,149
合計	41	1	5	1,052	186	101	2,579	52	167	13,212	1,808	19,204

※ 「その他」とは、転院搬送、医師搬送、医療資器材輸送等を含む。

6 最近10年間における管轄区域別救急出場状況

署所別		年別									
		平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
中 消 防 署	本 署	4,641	4,716	5,115	5,378	5,164	4,406	4,416	5,258	5,559	5,686
	北 分 署	1,720	1,646	1,630	1,819	1,662	1,587	1,766	1,866	2,083	2,010
	花園出張所	452	468	473	523	520	425	437	518	651	690
東 消 防 署	本 署	1,665	1,840	1,803	1,841	1,915	1,749	1,792	2,097	2,265	2,230
	南 分 署	2,738	2,958	2,972	3,151	2,979	2,679	2,896	3,420	3,705	3,756
	青野出張所	950	885	977	1,008	1,027	864	900	1,022	1,191	1,221
	額田出張所	307	273	303	320	318	318	327	335	397	381
	本宿出張所	594	611	604	654	638	634	590	703	680	667
	形埜出張所	118	103	101	92	102	93	109	97	95	133
西消防署本署		2,122	2,068	2,008	2,258	2,110	1,850	1,947	2,332	2,429	2,408
市 外		16	25	16	10	20	11	21	17	26	22
合 計		15,323	15,593	16,002	17,054	16,455	14,616	15,201	17,665	19,081	19,204

傷病者の搬送

令和6年中に救急車で搬送された傷病者数は、前年より140人増加の17,731人であった。

年齢別で見ると高齢者（65歳以上）の搬送が10,915人（約62%）と最も多く、次いで成人（18歳～64歳）の搬送が5,317人（約30%）である。

高齢者の占める割合が特に多く、超高齢社会を象徴していると考えられる。

1 年齢別搬送人員

事故種別 年齢・性別		火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
		新生児 (生後28日以内)	男										
	女										2	9	11
乳幼児 (生後29日～6歳)	男				14			88	1		343	13	459
	女				16			65			224	11	316
少年 (7歳～17歳)	男	1			85	1	54	51	1	4	215	23	435
	女	1			44	2	9	28		11	166	13	274
成人 (18歳～64歳)	男	4			375	115	20	243	12	35	1,863	187	2,854
	女	3	1		235	29	10	164	26	69	1,678	248	2,463
高齢者 (65歳以上)	男	4			126	32	2	736		1	4,057	564	5,522
	女	2			119	6	2	1,056	7	3	3,747	451	5,393
小計	男	9			600	148	76	1,118	14	40	6,478	791	9,274
	女	6	1		414	37	21	1,313	33	83	5,817	732	8,457
合計		15	1		1,014	185	97	2,431	47	123	12,295	1,523	17,731

※ 「その他」とは、転院搬送、医師搬送、医療資器材輸送等をいう。

2 収容所要時間

区分 事故種別	覚知から傷病者を医療機関等に収容するまでに要した時間別搬送人員					合計
	10分未満	10分～19分	20分～29分	30分～59分	60分以上	
急病		84	3,039	8,955	217	12,295
交通事故		3	168	769	74	1,014
一般負傷		11	524	1,816	80	2,431
その他		64	719	1,132	76	1,991
合計		162	4,450	12,672	447	17,731

※ 「その他」とは、火災、自然災害、水難、労働災害、運動競技、加害、自損行為、転院搬送等をいう。

3 医療機関別搬送状況

区分 事故種別	医療機関									その他の場所	合計
	救急医療機関					その他の医療機関					
	国・公立	公的	私的		計	国・公立	公的	私的			
		病院	診療所				病院	診療所			
急病	5,844	571	5,711		12,126			80	89	169	12,295
交通事故	338	28	604		970			3	41	44	1,014
一般負傷	917	71	1,386		2,374			13	44	57	2,431
その他	1,149	148	664		1,961	2		19	9	30	1,991
合計	8,248	818	8,365		17,431	2		115	183	300	17,731

※ 「その他」とは、火災、自然災害、水難、労働災害、運動競技、加害、自損行為、転院搬送等をいう。

4 傷病程度別搬送状況

事故種別 \ 傷病程度	火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
死亡				7	1		8		9	218	2	245
重症	3			62	13		119	1	38	1,345	225	1,806
中等症	2			134	29	8	709	6	26	4,037	1043	5,994
軽症	10	1		811	142	89	1,595	40	50	6,695	253	9,686
その他												
合計	15	1		1,014	185	97	2,431	47	123	12,295	1,523	17,731

※ 事故種別の「その他」とは、転院搬送、医師搬送、医療資器材輸送等をいう。

死亡 初診時において死亡が確認されたもの。

重症 傷病の程度が3週間以上の入院加療を必要とするもの。

中等症 傷病の程度が重症又は軽症以外のもの。

軽症 傷病の程度が入院加療を必要としないもの。

その他 医師の診断がないもの及び搬送先がその他の場所へ搬送したもの。

5 時間帯別搬送状況

事故種別 \ 時間帯別内訳	火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
0～2				15			71	10	11	654	27	788
2～4				20	2		70		8	546	9	655
4～6	1			17	5		77	3	5	581	7	696
6～8				90	5		164	1	6	977	6	1,249
8～10	1			135	33	8	336	4	5	1,479	126	2,127
10～12	3			119	38	29	324	1	11	1,404	374	2,303
12～14	3			123	28	24	291	4	10	1,206	303	1,992
14～16				120	33	16	281	3	12	1,210	172	1,847
16～18		1		144	26	9	255	2	15	1,198	247	1,897
18～20				125	8	4	267	9	13	1,193	138	1,757
20～22	1			68	5	6	184	5	18	1,043	71	1,401
22～24	6			38	2	1	111	5	9	804	43	1,019
合計	15	1		1,014	185	97	2,431	47	123	12,295	1,523	17,731

※ 「その他」とは、転院搬送、医師搬送、医療資器材輸送等をいう。

6 救急隊員の行った応急処置

事故種別	急病	交通事故	一般負傷	左記以外	合計
処置項目	12,294	1,014	2,431	1,991	17,730
止血	52	39	196	40	327
固定	133	267	422	110	932
人工呼吸	127	1	2	6	136
心肺蘇生	277	9	12	15	313
うち自動式	196	3	6	10	215
酸素吸入	2,699	92	149	463	3,403
気道確保	550	14	21	32	617
うち1	21		2	9	32
うち2	61	4	9	1	75
うち3	211	3	6	8	228
うち4	2		2		4
保温	374	35	38	44	491
被覆	58	150	532	91	831
在宅療法継続	92		5	5	102
I	9			2	11
II	83		5	3	91
除細動	25	1		1	27
静脈路確保	191	5	8	1	205
A	70	2	5	1	78
B	121	3	3		127
薬剤投与	96		4	2	102
a	66		4	2	72
b	30				30
血糖測定	178		1	2	181
エピペン投与					
血圧測定	11,741	988	2,336	1,938	17,003
聴診器による心音・呼吸音等の聴取	4,517	407	405	372	5,701
血中酸素飽和度の測定	12,020	1,003	2,402	1,972	17,397
心電図	11,505	682	1,966	1,728	15,881
その他の応急処置	12,253	1,006	2,424	1,958	17,641
合計	56,888	4,699	10,923	8,780	81,290

- 気道確保
- 1 経鼻エアウェイを使用した件数
 - 2 喉頭鏡・鉗子等を使用して異物除去を行った件数
 - 3 救急救命士がラリングアルマスク等を使用した件数
 - 4 救急救命士が気管挿管処置を実施して気道確保を行った件数
- 在宅療法
- I 気管切開孔又は外瘻が施されている傷病者に対し応急処置等を行った件数
 - II I以外の在宅療法継続中の傷病者に対し応急処置等を行った件数
- 静脈路確保
- A 救急救命士が心肺停止傷病者に対し行った件数
 - B 救急救命士が心肺停止前傷病者に対し行った件数
- 薬剤投与
- a 救急救命士が心肺停止傷病者に対しアドレナリンを投与した件数
 - b 救急救命士が低血糖傷病者に対しブドウ糖を投与した件数

救 助 出 動

令和6年中における救助出動件数は、228件で救助人員は103人であった。

火災、交通事故をはじめ、各種災害事象が複雑多様化しており、これら救助事案に対応するため、救助体制の高度化及び充実強化を図り万全を期している。



1 管内、管外事故種別出動状況

事故種別 所属等		火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	風 水 害 等 自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	合 計
		建 物	建 物 以 外									
出 動 件 数		6		39	6		1	86	3		87	228
活 動 件 数		6		23	6			78	3		55	171
救 助 人 員		2		25	3			43			30	103
中 消 防 署	本 署			7 (3)	4 (4)			30 (26)			23 (15)	64 (48)
	北 分 署	1 (1)		2 (2)	1 (1)			8 (7)	1 (1)		12 (10)	25 (22)
	花園出張所			1 (1)				3 (2)			2 (1)	6 (4)
	小 計	1 (1)		10 (6)	5 (5)			41 (35)	1 (1)		37 (26)	95 (74)
東 消 防 署	本 署	2 (2)		6 (1)				14 (14)	1 (1)		13 (8)	36 (26)
	南 分 署	2 (2)		4 (1)				16 (16)			11 (6)	33 (25)
	青野出張所			3 (2)				2 (2)			9 (5)	14 (9)
	額田出張所			3 (3)							1 (1)	4 (4)
	本宿出張所			2 (1)			1	4 (2)			5 (3)	12 (6)
	形埜出張所			1 (1)	1 (1)							2 (2)
	小 計	4 (4)		19 (9)	1 (1)		1	36 (34)	1 (1)		39 (23)	101 (72)
西消防署本署	1 (1)		9 (8)				9 (9)	1 (1)		11 (6)	31 (25)	
管 外			1									1
合 計	6 (6)		39 (23)	6 (6)			1	86 (78)	3 (3)		87 (55)	228 (171)

()は活動件数

2 発生場所別出動状況

事故種別 発生場所		火	災	交	水	風	機	建	ガ	破	そ	合
		建	建									
		物	物以外	通	難	水	械	物	ス	裂	の	計
屋	住居	6						82			30	118
	その他の屋内							3			3	6
屋	道			3								3
	路			23							1	24
外	内水面 (湖川沼等)				6							6
	山岳										3	3
	その他の屋外			13			1	1	3		25	43
その他											25	25
合計		6		39	6		1	86	3		87	228

3 発生場所別活動状況

事故種別 発生場所		火	災	交	水	風	機	建	ガ	破	そ	合
		建	建									
		物	物以外	通	難	水	械	物	ス	裂	の	計
屋	住居	6						74			13	93
	その他の屋内							3			2	5
屋	道			2								2
	路			16							1	17
外	内水面 (湖川沼等)				6							6
	山岳										3	3
	その他の屋外			5			1	3			20	29
その他											16	16
合計		6		23	6			78	3		55	171

4 発生場所別救助人員

事故種別 発生場所		火災		交通 事故	水 難 事 故	風水 害等 自然 災害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	合 計
		建 物	建 物 以 外									
屋 内	住居	2						40			2	44
	その他の屋内							2			2	4
屋 外	道			2								2
	高速自動車 国道 その他の 道路路			17							1	18
外	内水面 (湖川沼等)				3							3
	山岳										4	4
	その他の屋外			6				1			20	27
その他											1	1
合計		2		25	3			43			30	103

5 最近10年間における出動状況

事故種別 発生年		火災		交 通 事 故	水 難 事 故	風水 害等 自然 災害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	合 計
		建 物	建 物 以 外									
平成27年		2	2	47	5		2	41	7		28	134
平成28年		8		50	3		4	45	4		47	161
平成29年		3		42	4		8	56	1		56	170
平成30年		5		63	2	2	2	49	2		53	178
令和元年		3		46	1		3	63	2		34	152
令和2年		5	1	37	6	1	2	73	3		40	168
令和3年		6		43	5		2	78	6		95	235
令和4年		3		50	16	1	7	97	4		108	286
令和5年		2	1	60	8	9	2	103	5		99	289
令和6年		6		39	6		1	86	3		87	228

6 時間帯別出動状況

事故種別 時間帯別	火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	風 水 害 等 自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	合 計
	建 物	建 物 以 外									
0 ~ 2			1				1			3	5
2 ~ 4			2				2			4	8
4 ~ 6	1		2				2			4	9
6 ~ 8			3	1			3			2	9
8 ~ 10			6				10	1		13	30
10 ~ 12	2		5				13			8	28
12 ~ 14			3				11			10	24
14 ~ 16			6	1		1	13			13	34
16 ~ 18			3	2			15			13	33
18 ~ 20	1		5	2			5	1		9	23
20 ~ 22	1		2				6	1		5	15
22 ~ 24	1		1				5			3	10
合 計	6		39	6		1	86	3		87	228

7 救助工作車事故種別出動件数

区分 出動車両	事 故 種 別 救 助 出 動 件 数											そ の 他 出 動	※ 火 災 出 動	総 合 計
	火 災	交	水	風	機	建	ガ	破	そ	合				
	建	建	通	難	水	械	物	ス	裂	の	計			
	物	物	事	事	害	に	等	及	事	他				
		以	故	故	等	よ	に	び	故	の				
		外			自	る	よ	酸		事				
					然	事	る	欠		故				
					災	故	事	事						
					害		故	故						
中救助工作車	4		13	6			48			46	117	29	16	162
東救助工作車	2		15	2		1	22	1		28	71	28	15	114
西救助工作車	1		11	5			16	2		19	54	5	8	67
合 計	7		39	13		1	86	3		93	242	62	39	343

※火災出動は救助活動を行っていない事案のみ計上。

高速道路救急救助出場

1 東名高速道路

令和6年中の東名高速道路における救急出場件数は24件で、前年と比較すると3件の減少、また救助出動件数は0件で、前年と比較して2件の減少となった。

(1) 救急出場状況（前年との比較）

区分 年別	出 場 件 数	搬 送 件 数	不 搬 送 件 数	搬 送 人 員	種 別 (件)		
					交 通 事 故	急 病	そ の 他
令和5年	27	26	1	28	15	11	(1) 1
令和6年	24	20	4	25	(1) 10	(3) 12	2
増減数	△3	△6	3	△3	△5	1	1

※ () 内は、不搬送件数、△は、減を示す。

(2) 区間別救急出場状況

区分	区 間 K P 件数 人員	豊田市 豊田ジャンクション ~ 302.6		岡崎市 302.6~ 293.4		岡崎市 岡崎インター 293.4 293.4		岡崎市 293.4~ 283.9		豊川市 283.9~ 音羽蒲郡インター		合 計	
		件数	人員	件数	人員	件数	人員	件数	人員	件数	人員	件数	人員
上り線													
下り線				9	13							9	13
その他		2	2			1	1	12	9			15	12
合計		2	2	9	13	1	1	12	9			24	25

※ 「その他」とは、インターチェンジ、ジャンクション、パーキングエリア等をいう。

(3) 最近10年間の救急、救助出場件数

年 別	区 分	救 急 件 数	救 助 件 数
平成 27 年	上 り 線	34	5
	下 り 線	35	5
	そ の 他	25	
	合 計	94	10
平成 28 年	上 り 線	13	
	下 り 線	11	
	そ の 他	13	
	合 計	37	
平成 29 年	上 り 線	7	1
	下 り 線	11	
	そ の 他	16	
	合 計	34	1
平成 30 年	上 り 線	5	1
	下 り 線	9	
	そ の 他	6	
	合 計	20	1
令和 元 年	上 り 線	2	
	下 り 線	10	1
	そ の 他	15	
	合 計	27	1
令和 2 年	上 り 線	4	
	下 り 線	5	
	そ の 他	9	
	合 計	18	
令和 3 年	上 り 線	4	1
	下 り 線	7	1
	そ の 他	14	
	合 計	25	2
令和 4 年	上 り 線	8	2
	下 り 線	16	1
	そ の 他	16	
	合 計	40	3
令和 5 年	上 り 線	6	1
	下 り 線	8	1
	そ の 他	13	
	合 計	27	2
令和 6 年	上 り 線		
	下 り 線	9	
	そ の 他	15	
	合 計	24	

2 新東名高速道路

令和6年中の新東名高速道路における救急出場件数は55件で、前年と比較すると12件の減少、また救助出動件数は3件で、前年と比較して1件の減少となった。

(1) 救急出場状況（前年との比較）

区分 年別	出 場 件 数	搬 送 件 数	不 搬 送 件 数	搬 送 人 員	種 別 (件)		
					交 通 事 故	急 病	そ の 他
令和5年	67	57	10	65	(6) 33	(4) 28	
令和6年	55	48	7	61	(4) 26	(2) 25	(1) 4
増減数	△12	△9	△3	△4	△7	△3	△2

※ () 内は、不搬送件数、△は、減を示す。

(2) 区間別救急出場状況

区分	区 間 K P	豊田市 253.1～ 251.4		岡崎市 251.4～ 236.5		岡崎市 岡崎東イン ター 236.5		岡崎市 236.5～ 230.1		豊川市 230.1～ 210.3		合 計	
		件数	人員	件数	人員	件数	人員	件数	人員	件数	人員	件数	人員
上り線								8	9	10	15	18	24
下り線		2	1	9	12							11	13
その他				24	22	2	2					26	24
合計		2	1	33	34	2	2	8	9	10	15	55	61

※ 「その他」とは、インターチェンジ、ジャンクション、パーキングエリア等をいう。

(3) 最近5年間の救急、救助出場件数

年 別	区 分	救 急 件 数	救 助 件 数
令 和 2 年	上 り 線	7	1
	下 り 線	3	
	そ の 他	11	
	合 計	21	1
令 和 3 年	上 り 線	20	3
	下 り 線	6	1
	そ の 他	11	
	合 計	37	4
令 和 4 年	上 り 線	14	3
	下 り 線	6	1
	そ の 他	17	
	合 計	37	4
令 和 5 年	上 り 線	19	2
	下 り 線	13	2
	そ の 他	35	
	合 計	67	4
令 和 6 年	上 り 線	18	3
	下 り 線	11	
	そ の 他	26	
	合 計	55	3

救急法の講習会

令和6年中に、普通救命講習、上級救命講習及び救命入門コースを合わせて385回開催し、3,907人が参加され、職場、家庭、学校などでの心肺蘇生法やAEDの使用法等について理解と認識を深めることができた。

今後も、市民等に対する応急手当の普及啓発を積極的に行いたい。

講習区分	講習内容	回数	人数
普通救命講習Ⅰ (講習時間180分)	応急手当の重要性、心肺蘇生法（主に成人）、AEDの使用法、異物除去法、止血法	198	1,039
普通救命講習Ⅱ (講習時間240分)	応急手当の重要性、心肺蘇生法（主に成人）、AEDの使用法、異物除去法、止血法、心肺蘇生法に関する知識の確認及び実技の評価		
普通救命講習Ⅲ (講習時間180分)	応急手当の重要性、心肺蘇生法（主に小児、乳児、新生児）、AEDの使用法、異物除去法、止血法	44	264
上級救命講習 (講習時間480分)	応急手当の重要性、心肺蘇生法（成人、小児、乳児、新生児）、AEDの使用法、異物除去法、止血法、傷病者管理法、外傷の手当要領、搬送法、心肺蘇生法に関する知識の確認及び実技の評価	9	81
救命入門コース (講習時間45分)	応急手当の重要性、心肺蘇生法（主に成人）、AEDの使用法	130	2,463
救命入門コース (講習時間90分)	応急手当の重要性、心肺蘇生法（主に成人）、AEDの使用法	4	60
合計		385	3,907



消 防 団



消 防 団

本市の消防団は多団制で、21消防団、106部、1,459人で編成し、消防ポンプ車（A-2級）1台、小型動力ポンプ付積載車（B-2級）34台、小型動力ポンプ積載車55台、軽積載車21台、小型動力ポンプ83台をもって編成している。

1 消防団現勢

令和7年4月1日

種別 団別	面積 (k m ²)	定員	人 員							機 械				
			実員	団長	副団長	部長	副部長	班長	消防員	ポンプ自動車	小型動力ポンプ付積載車	積載車	軽積載車	小型動力ポンプ
広幡	6.235	96	89	1	1	7	7	17	56		3	3	1	4
連尺	2.081	58	53	1	1	4	4	10	33		2	2		2
梅園	6.243	40	38	1	1	3	3	7	23		1	2		2
根石	4.465	40	32	1	1	3	3	7	17		1	2		2
三島	3.307	50	49	1	1	4	4	9	30		1	3		3
六名	2.705	50	50	1	1	4	4	9	31		1	3		3
羽根	2.754	50	44	1	1	4	4	9	25		1	2	1	3
岡崎	3.259	60	48	1	1	5	5	11	25		1	3	1	4
美合	9.700	50	49	1	1	4	4	9	30		1	1	2	3
男川	11.838	50	50	1	1	4	4	9	31		1	3		3
福岡	5.200	60	60	1	1	5	5	11	37		1	3	1	4
竜谷	9.580	40	38	1	1	3	3	7	23		1	2		2
藤川	4.610	40	40	1	1	3	3	7	25		1	1	1	2
山中	15.420	40	40	1	1	3	3	7	25		1	1	1	2
本宿	14.640	40	40	1	1	3	3	7	25		1		2	2
河合	20.912	60	60	1	1	5	5	11	37		1	4		4
常磐	29.898	80	80	1	1	7	7	15	49		1	5	1	6
岩津	36.731	164	160	1	1	13	13	30	102		4	6	3	9
矢作	20.091	105	100	1	1	5	5	15	73		5			
六ツ美	17.301	84	83	1	1	4	4	12	61		4			
額田	160.270	185	181	1	1	13	13	30	123	1	1	9	7	23
機能別団員		75	75						75					
合計	387.200	1,517	1,459	21	21	106	106	249	956	1	34	55	21	83

2 消防団員階級別勤務年数調

令和7年4月1日

階級 年 数	団 長	副 団 長	部 長	副 部 長	班 長	消 防 員	合 計
1 年 未 満					1	86	87
1 年以上 5 年未満			4	6	53	239	302
5 " 10 "		1	40	47	105	193	386
10 " 15 "	2	2	29	29	51	183	296
15 " 20 "	4	6	18	16	18	112	174
20 " 25 "	2	5	8	4	10	67	96
25 " 30 "	4	3	4	3	7	46	67
30 " 35 "	4	3	1		3	21	32
35 " 40 "	3	1	1	1	1	5	12
40 年 以 上	2		1			4	7
合 計	21	21	106	106	249	956	1,459

3 消防団員階級別年齢調

令和7年4月1日

階級 年 齢	団 長	副 団 長	部 長	副 部 長	班 長	消 防 員	合 計
20 歳 未 満					1	4	5
20 歳以上 25 歳未満					2	30	32
25 " 30 "			2	3	15	59	79
30 " 35 "			7	9	33	98	147
35 " 40 "			24	23	64	195	306
40 " 45 "	1	4	37	34	62	175	313
45 " 50 "	4	6	19	18	37	164	248
50 " 55 "	3	6	8	12	23	113	165
55 " 60 "	4	3	6	4	6	61	84
60 歳 以 上	9	2	3	3	6	57	80
合 計	21	21	106	106	249	956	1,459
平 均 年 齢	56.8	50.9	43.1	42.5	40.7	42.7	42.7

消防団員報酬

令和7年4月1日

区 分	団 長	副団長	部 長	副部長	班 長	消防員	消防員 (機能別団員)
報酬の額	82,500円	69,000円	50,500円	45,500円	37,000円	36,500円	12,000円

出 動 報 酬

令和7年4月1日

種 別	区 分		種 別	区 分	
	回数等	金 額		回数等	金 額
地震、水害その他の自然災害	1 日	8,000円	警戒	1 日	2,500円
	4時間未満	4,000円	訓練等	1 日	2,500円
火災又は上記以外の災害	1 回	8,000円	広報	1 日	1,200円
	4時間未満	4,000円	消防ポンプ整備	1 日	1,200円

消防団員退職報償金

令和7年4月1日

階 級	勤 務 年 数						
	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上	35年以上
団 長	239,000円	344,000円	459,000円	594,000円	779,000円	979,000円	1,079,000円
副 団 長	229,000円	329,000円	429,000円	534,000円	709,000円	909,000円	1,009,000円
部 長	219,000円	318,000円	413,000円	513,000円	659,000円	849,000円	949,000円
副 部 長	214,000円	303,000円	388,000円	478,000円	624,000円	809,000円	909,000円
班 長	204,000円	283,000円	358,000円	438,000円	564,000円	734,000円	834,000円
消 防 員	200,000円	264,000円	334,000円	409,000円	519,000円	689,000円	789,000円

公務災害補償基礎額

令和7年4月1日

階 級	勤 務 年 数		
	10 年 未 満	10年以上20年未満	20 年 以 上
団長及び副団長	12,900円	13,700円	14,500円
部長及び副部長	11,300円	12,100円	12,900円
班長及び消防員	9,700円	10,500円	11,300円

消防団員等救慰金

1 障害者救慰金

令和7年4月1日

障 害 の 程 度	抜群の功労があり他の模範となると認められるもの	特に著しい功労があると認められるもの	著しい功労があると認められるもの	功労があると認められるもの
第1級	25,200,000円	18,700,000円	13,600,000円 ~ 9,000,000円	7,000,000円 ~ 4,500,000円
第2級	23,300,000円	15,500,000円	12,100,000円 ~ 7,900,000円	6,200,000円 ~ 4,000,000円
第3級	20,200,000円	13,600,000円	10,700,000円 ~ 7,100,000円	5,500,000円 ~ 3,600,000円
第4級	17,600,000円	12,100,000円	9,500,000円 ~ 6,400,000円	4,900,000円 ~ 3,300,000円
第5級	15,100,000円	10,300,000円	8,200,000円 ~ 5,500,000円	4,200,000円 ~ 2,800,000円
第6級	12,600,000円	9,000,000円	7,000,000円 ~ 4,700,000円	3,600,000円 ~ 2,400,000円
第7級	11,400,000円	7,600,000円	5,900,000円 ~ 4,100,000円	3,000,000円 ~ 2,100,000円
第8級	10,100,000円	6,400,000円	4,900,000円 ~ 3,400,000円	2,500,000円 ~ 1,700,000円
第9級	8,900,000円	5,700,000円	4,400,000円 ~ 3,000,000円	2,200,000円 ~ 1,500,000円
第10級	8,400,000円	5,100,000円	4,100,000円 ~ 2,800,000円	2,100,000円 ~ 1,400,000円
第11級	8,000,000円	4,700,000円	3,600,000円 ~ 2,400,000円	1,800,000円 ~ 1,200,000円
第12級	7,400,000円	4,200,000円	3,000,000円 ~ 2,100,000円	1,500,000円 ~ 1,100,000円
第13級	6,800,000円	4,000,000円	2,500,000円 ~ 1,700,000円	1,300,000円 ~ 900,000円
第14級	6,400,000円	3,400,000円	2,000,000円 ~ 1,300,000円	1,000,000円 ~ 700,000円

2 負傷者等救慰金

令和7年4月1日

療養期間が4箇月未満のもの	500,000円以内で市長が定める額
療養期間が4箇月以上のもの	1,260,000円以内で市長が定める額

3 殉職者救慰金

令和7年4月1日

抜群の功労があり他の模範となると認められるもの	25,200,000円
特に著しい功労があると認められるもの	18,700,000円
著しい功労があると認められるもの	13,600,000円～9,000,000円
功労があると認められるもの	7,000,000円～4,500,000円

4 殉職者特別救慰金

令和7年4月1日

消防団員が災害に際し、命を受け、特に生命の危険が予想される現場へ出動し、生命の危険を顧みることなくその職務を遂行し、そのため死亡し、その功労が特に抜群と認められる場合	30,000,000円
---	-------------

岡崎消防 令和6年 消防年報
令和7年7月刊行
編集・刊行 岡崎市消防本部
〒444-0022 岡崎市朝日町3丁目4番地
問合せ先 消防本部 総務課 総務係
TEL0564-21-9836 / FAX0564-21-9821
E-mail shobohonbu@city.okazaki.lg.jp

この資料の内容は、以下の岡崎市ホームページからも御覧いただけます。

[http://www.city.okazaki.lg.jp/1550/1572/1653/
okazakishisyoubuhonbu-gaiyou.html](http://www.city.okazaki.lg.jp/1550/1572/1653/okazakishisyoubuhonbu-gaiyou.html)

